

邑楽町国民健康保険 ポテンシャル分析

令和5年7月
株式会社データホライゾン

第1章 医療費分析及び提案の骨子		
1. 取り組みの背景		5
2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業		6
(1) 特定保健指導事業		6
(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業		6
(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		6
(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業		7
(5) 高血圧重症化予防事業		7
(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業		7
(7) メンタル疾患の発症予防事業		8
(8) 受診行動適正化指導事業		8
(9) ジェネリック医薬品差額通知事業		8
(10) COPD早期発見を目的とする啓発事業		9
(11) 薬剤併用禁忌防止事業		9
(12) 服薬情報通知事業		9
(13) ロコモティブシンドローム対策事業		9
3. 医療費等統計の分析結果まとめ		10
4. 分析方法		13
第2章 医療費等分析及び医療費適正化事業・保健事業に向けて		
1. 特定保健指導事業		15
(1) 指導対象者のグループ化		15
(2) 特定保健指導対象者集団の特定		16
(3) 指導実施方法		17
(4) 成果の確認方法		17
2. 健診異常値放置者受診勧奨事業		18
(1) 受診勧奨対象者のグループ化		18
(2) 健診異常値放置者集団の特定		19
(3) 受診勧奨実施方法		21
(4) 成果の確認方法		21
3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		22
(1) 受診勧奨対象者のグループ化		22
(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定		23
(3) 受診勧奨実施方法		25
(4) 成果の確認方法		25
4. 糖尿病性腎症重症化予防事業		26
(1) 人工透析患者の実態		26
(2) 指導対象者集団の特定		29
(3) 適切な指導実施方法の確立		33
(4) 成果の確認方法		33
5. 高血圧重症化予防事業		34
(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析		34
① 高血圧症及び関連疾病の医療費等分析		34

②健康診査データによる高血圧該当状況分析	36
(2) 指導対象者集団の特定	38
(3) 適切な指導実施方法の確立	42
(4) 成果の確認方法	42
6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業	43
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数	43
(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定	44
(3) 適切な指導実施方法の確立	45
(4) 成果の確認方法	45
7. メンタル疾患の発症予防事業	46
(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合	46
(2) 年齢階層別の医療費と有病率	47
(3) 適切な対策実施方法の確立	47
8. 受診行動適正化指導事業	48
(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向	48
(2) 指導対象者集団の特定	51
(3) 適切な指導実施方法の確立	53
(4) 成果の確認方法	53
9. ジェネリック医薬品差額通知事業	54
(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル	54
(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法	56
10. COPD早期発見を目的とする啓発事業	57
(1) COPDの認知度及びCOPD患者の実態	57
(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状	58
(3) 早期発見に向けた啓発事業	60
(4) 成果の確認方法	60
11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて	61
(1) 薬剤併用禁忌分析	61
(2) 活用方法	62
12. 服薬情報通知事業	63
(1) 服薬に係る分析	63
(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法	64
13. ロコモティブシンドローム対策事業	65
(1) ロコモティブシンドロームの現状	65
(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態	66
(3) 適切な指導実施方法の確立	67
(4) 成果の確認方法	67
第3章 保健事業の費用対効果	
1. 糖尿病性腎症重症化予防事業	68
2. 受診行動適正化指導事業	70
第4章 医療費等統計	
1. 基礎統計	72

2. 高額レセプトの件数及び医療費	77
(1) 高額レセプトの件数及び割合	77
(2) 高額レセプトの年齢階層別統計	78
(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向	80
3. 大分類による疾病別医療費統計	82
(1) 邑楽町国民健康保険全体	82
(2) 入院・入院外比較	84
(3) 男性・女性比較	85
(4) 年齢階層別比較	86
(5) 地区比較	95
4. 中分類による疾病別医療費統計	107
(1) 邑楽町国民健康保険全体	107
(2) 地区比較	114
5. 生活習慣病に係る医療費等の状況	126
(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数	126
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況	129
6. ジェネリック医薬品普及率	131
(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)	131
(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	132
(3) 年齢階層別普及率	133
7. 特定健康診査結果分析	134
(1) 有所見者割合	134
(2) 質問別回答状況	135
8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況	136
9. 健康診査データによるCKD重症度分類	137
10. 健康診査データによる糖尿病診断	138
11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費	139
12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	140
13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較	141
14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析	142
(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況	142
(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況	147
その他(参考資料)	
大分類要素別集計	148
巻末資料	
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	167
2. 疾病分類表(2013年版)	168

第1章 医療費分析及び提案の骨子

1. 取り組みの背景

我が国では、急速な高齢化や疾病構造の変化に対応した健康施策が喫緊の課題となっており、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」と掲げられた。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」(平成16年厚生労働省告示第307号)の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと」と定められた。データヘルス計画は平成30年度から第2期へ移行し、被保険者の健康寿命延伸に向けて、データを活用した実効的な保健事業の一層の推進・強化が保険者に求められている。

このような現況を踏まえ、本ポテンシャル分析では、精度の高い健康・医療情報データベースを作成して多様な角度から現状を分析し、課題の洗い出しを行う。事業計画の策定とその評価の材料として活用されることで事業の実効性を高め、PDCAサイクルに沿った保健事業の円滑な推進に寄与することを作成の目的としている。

■データ分析期間

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
単年分析
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業

(1) 特定保健指導事業…健康診査結果より、特定保健指導の対象者と特定された人を対象に指導を行う。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診受診者数 2,376人 ●特定保健指導対象者 297人 積極的支援の対象者は64人 動機付け支援の対象者は233人 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定保健指導 <p>厚生労働省のガイドラインに沿って、指導を実施する。</p>

(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業…健康診査結果より、医療機関への受診が必要と思われる対象者を特定し、対象者が医療機関への受診を行っていない場合、適切な検査・治療を促し重症化予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●異常値放置者は432人 このうち、効率の良い候補者は339人 	<ul style="list-style-type: none"> ●異常値放置者への医療機関受診勧奨 <p>健康診査検査値の推移並びに糖尿病や脳血管疾患の今後の発症予測を記載した医療機関受診勧奨通知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●効果実績は平均10%であり、対象者のうち34人の医療機関受診が見込める。 <p>※効果実績…データ分析会社の実績から算出。</p>

(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業…生活習慣病の治療を行っていたにもかかわらず、現在治療を中断している患者に対し、医療機関への受診を促し、重症化の予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●治療中断者 26人 このうち、効率の良い候補者は24人 <p>※過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を治療中断者とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●治療中断者への医療機関受診勧奨 <p>治療を中断することによる重篤な疾患の発症リスクを説明し、医療機関への受診を促す通知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●効果実績は平均15%であり、対象者のうち4人の医療機関受診が見込める。 <p>※効果実績…データ分析会社の実績から算出。</p>

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業…糖尿病の重症化を防ぐことで患者のQOLを維持するとともに、新規人工透析患者を抑制し、高額な医療費の発生を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果						
<p>●人工透析患者33人のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から悪化し透析に至った患者は24人であった。</p> <p>一人当たりの医療費は約521万円/12カ月間</p> <p>●腎症の治療が確認できる患者は247人</p> <p>このうち、重症化予防に適した病期で指導が効果的な患者(※)は77人</p> <p>※糖尿病起因以外の腎臓病患者や生活習慣起因以外の糖尿病患者を除き、更に指導効果の高い患者に絞り込む。</p>	<p>●糖尿病性腎症の重症化予防指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導実施対象者：8人(指導同意率10%考慮) ・指導実施完了者：7人(脱落・指導中止者10%考慮) <p>透析移行阻止率別の10年間の医療費予想は、</p> <table border="0"> <tr> <td>0%阻止</td> <td>約5,363万円</td> </tr> <tr> <td>75%阻止</td> <td>約2,639万円</td> </tr> <tr> <td>94%阻止</td> <td>約2,134万円</td> </tr> </table> <p>●透析移行を75%阻止した場合、10年間で約2,724万円削減が期待できる。(5,363万円-2,639万円=2,724万円)</p>	0%阻止	約5,363万円	75%阻止	約2,639万円	94%阻止	約2,134万円
0%阻止	約5,363万円						
75%阻止	約2,639万円						
94%阻止	約2,134万円						

(5) 高血圧重症化予防事業…血圧を良好にコントロールすることで、高血圧悪化による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化の予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<p>●高血圧症医療費患者数 9,679万円 2,370人</p> <p>●特定健診受診者のうち、高血圧該当者 757人</p> <p>●指導候補者1,625人 このうち、効率のよい候補者は936人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち、二次予防(※) 684人 ・うち、三次予防(※) 252人 <p>※二次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の発症予防対象者</p> <p>※三次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の重症化予防、再発予防対象者</p>	<p>●高血圧悪化による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化リスクを持つ対象者に対して、高血圧のリスクを説明し、服薬管理、食事療法等の保健指導を実施する。</p>

(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業…脳梗塞の発症・再発を防ぐことで、疾患によるまひ等のQOLの低下、死亡の抑制、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
<p>●脳梗塞医療費患者数 約2,495万円 308人</p> <p>受診勧奨候補者 12人 発症予防候補者 13人 再発予防候補者 186人</p> <p>●脳内出血医療費患者数 約1,016万円 67人</p> <p>●くも膜下出血医療費患者数 約133万円 14人</p>	<p>●脳梗塞の発症予防・再発予防事業</p> <p>●脳梗塞を発症したにもかかわらず、定期的な医療機関受診を行っていない候補者に対する受診勧奨通知を行う。</p>

(7)メンタル疾患の発症予防事業…メンタル疾患の発症状況を把握し、さらなる発症者を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
メンタル疾患として定義した疾患の医療費。	<p>●メンタル疾患発症率の高い地域を特定し、原因を想定した上で対策を実施する。</p> <p>※不眠症、アルコール使用障害は、気分障害(うつ病等)の発症と関連が深いと考えられる。</p>
●気分障害(うつ病等) 約3,622万円	
●神経症、ストレス関連等 約1,556万円	
●不眠症 約2,633万円	
●アルコール使用障害 約206万円	

(8)受診行動適正化指導事業…受診回数が多すぎるとと思われる患者に指導を行い、医療費適正化を図る。

現状	必要な対策とその効果
●重複受診者 (同一疾患で複数の医療機関に受診している対象者) 40人	<p>●重複受診、頻回受診、重複服薬と思われる患者に対して指導を実施する。</p> <p>・必要な医療の可能性がある場合は除外 ・効果、効率を重視した対象群を特定</p> <p>・受診行動適正化指導が効果的な候補者 2人</p> <p>●行動変容率と「一人当たりひと月分の削減医療費」を用いて試算すると、全体で年間約10万円の医療費削減効果となる。</p>
●頻回受診者 (医療機関の受診回数が多すぎるとと思われる対象者) 54人	
●重複服薬対象者 (同一薬の処方が同一月に複数ある対象者) 119人	
実人数 203人	
除外対象を除いた人数 70人	

(9)ジェネリック医薬品差額通知事業…ジェネリック医薬品の普及率を上げるとともに、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
●ジェネリック医薬品普及率 78.4% (数量ベース)	<p>●ジェネリック医薬品の普及促進</p> <p>個人宛のジェネリック医薬品促進通知書を本人自己負担額の軽減効果額が高い被保険者から順に通知する。 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の削減可能額も記載する。</p> <p>●ジェネリック医薬品への切り替えにより削減できるポテンシャルは約1,267万円/12カ月間</p>
<p>※令和3年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、「後発医薬品の数量シェアを、2023年度末までに全ての都道府県で80%以上とする」という目標が明記された。</p> <p>https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2021/decision0618.html (アクセス日:令和4年3月31日)</p>	

(10) COPD早期発見を目的とする啓発事業…COPD早期発見のため、ハイリスク者へ医療機関受診を促す。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●COPD投薬治療患者 40人 ●潜在患者数 800人 	<ul style="list-style-type: none"> ●COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者に対し、啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知を行う。

(11) 薬剤併用禁忌防止事業…複数の医療機関または保険薬局で処方された薬剤の併用禁忌発生件数を削減する。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●薬剤併用禁忌発生件数 267件 ●薬剤併用禁忌対象者 69人 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機関に対し、処方状況の情報提供を行う。 <p>一人の患者に対し複数の医療機関で医薬品を処方された場合、その実態を医療機関側が全て把握するのは困難である。一人の患者の全てのレセプトが集まる保険者だからこそ把握できる情報といえる。保険者が医療機関・薬局へ情報提供することで、薬害防止に努める。</p>

(12) 服薬情報通知事業…長期多剤服薬者に通知し、適切な服薬を促す。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●長期服薬者数 791人 ●長期多剤服薬者数 368人 	<ul style="list-style-type: none"> ●長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。 <p>薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクが伴う可能性がある。服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者を特定し、通知書を送付する。</p>

(13) ロコモティブシンドローム対策事業…対象者へロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能向上のための施策を実施して発症を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●ロコモティブシンドローム原因疾患患者 1,221人 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者にロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能改善を促す。 <p>ロコモティブシンドローム原因疾患患者に対し、ロコモティブシンドロームになる可能性のあることを周知し、運動機能測定会を実施する。対象者が自宅にてロコモティブシンドローム対策の運動を実施するように促す。</p>

3. 医療費等統計の分析結果まとめ

レセプトデータ及び健康診査データから算出した医療費等統計の主要な分析結果を示す。

【基礎統計】

医療費	2,038,756,330円
-----	----------------

【高額(5万点以上)レセプト分析】

高額レセプト件数	686件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	32.2%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	364,393,866円	17.9%
2位	循環器系の疾患	281,734,484円	13.8%
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	203,732,870円	10.0%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,137人
2位	循環器系の疾患	3,035人
3位	消化器系の疾患	2,721人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	441,852円
2位	新生物<腫瘍>	222,463円
3位	精神及び行動の障害	160,309円

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	139,775,415円	6.9%
2位	糖尿病	123,895,339円	6.1%
3位	腎不全	118,349,565円	5.8%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,388人
2位	糖尿病	2,281人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,864人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	3,175,992円
2位	白血病	1,378,120円
3位	妊娠高血圧症候群	612,883円

【生活習慣病医療費の状況】

生活習慣病医療費	470,844,558円
----------	--------------

【特定健康診査結果分析】

有所見者割合が高い検査項目		有所見者割合
1位	LDLコレステロール	52.3%
2位	収縮期血圧	49.0%
3位	HbA1c	47.8%

メタボリックシンドローム該当状況		該当割合
基準該当		21.2%
予備群該当		11.8%

【骨折予防・骨粗鬆症重症化予防事業に係る分析】

	男女合計	男性	女性
骨折医療費	38,826,133円	15,573,991円	23,252,142円
骨折患者数	252人	75人	177人
患者一人当たりの骨折医療費	154,072円	207,653円	131,368円

	男女合計	男性	女性
骨粗鬆症患者数	616人	83人	533人
骨粗鬆症治療薬服用中患者数	464人	46人	418人
骨粗鬆症治療中断患者数	33人	5人	28人
治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合	7.1%	10.9%	6.7%

4. 分析方法

邑楽町国民健康保険におけるレセプト及び健康診査データを用いてデータベースを作成し、分析する。データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。
レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)	調剤レセプト
	(2) 狭心症	
	(3) うつ病	
	(4) 高コレステロール血症	
	(5) 2型糖尿病	
	(6) 急性上気道炎	
	(7) アレルギー性鼻炎	
12 再診		
13 時外		
60 糖Hb		
80 処方		
決定点数	2,688	

医科レセプトの記載		コード化	
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107	本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007	狭心症
(3)	うつ病	2961003	うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004	高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015	2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007	急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004	アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム(特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかつた患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかつた、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

1. 特定保健指導事業

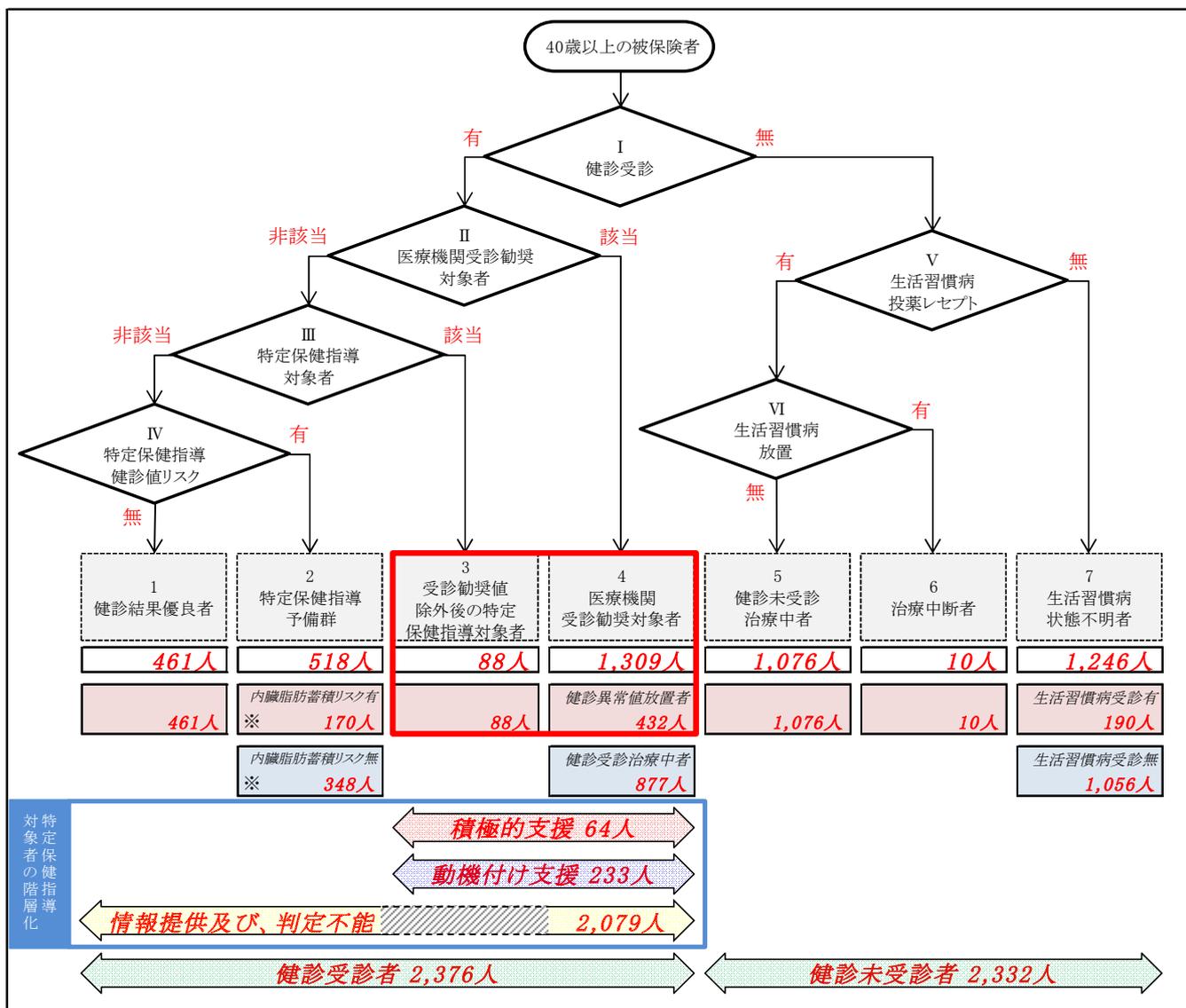
特定保健指導の対象者は、被保険者個々の診療実態をレセプトにより見極める必要がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「指導対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「指導実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 指導対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定保健指導対象者集団の特定

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

前項の分析にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は297人である。このうち、積極的支援の対象者は64人、動機付け支援の対象者は233人である。

生活習慣病は、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けることにより予防可能な疾患である。特定保健指導の対象者に効果的な指導を実施することで、生活習慣病への移行を防ぐことを目指す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			297人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	5人	64人 22%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	10人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	3人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	3人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	12人	
	●		●			血糖+脂質	6人	
		●	●			血圧+脂質	9人	
	●			●		血糖+喫煙	4人	
		●		●		血圧+喫煙	3人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	5人	
	●					血糖	1人	
		●				血圧	1人	
				●	因子数0	脂質	0人	
				喫煙		0人		
				なし		0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	6人	233人 78%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	22人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	8人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	5人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	44人	
	●		●			血糖+脂質	9人	
		●	●			血圧+脂質	12人	
	●			●		血糖+喫煙	2人	
		●		●		血圧+喫煙	6人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	1人	
	●					血糖	27人	
		●				血圧	62人	
			●		因子数0	脂質	15人	
			●	喫煙		2人		
				なし		7人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下のとおりとする。

①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
(空腹時血糖とHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)

②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満

④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

(3) 指導実施方法

指導対象者集団の特定をした後は、その対象者に対して適切な指導を行う必要がある。特定保健指導では厚生労働省のガイドラインに沿った指導を行う。

(4) 成果の確認方法

特定保健指導の実施状況と実施率を定期的に確認する。また、指導実施前と実施後で、問診項目の回答状況や健康診査検査値を比較し、生活習慣の改善度を確認する。

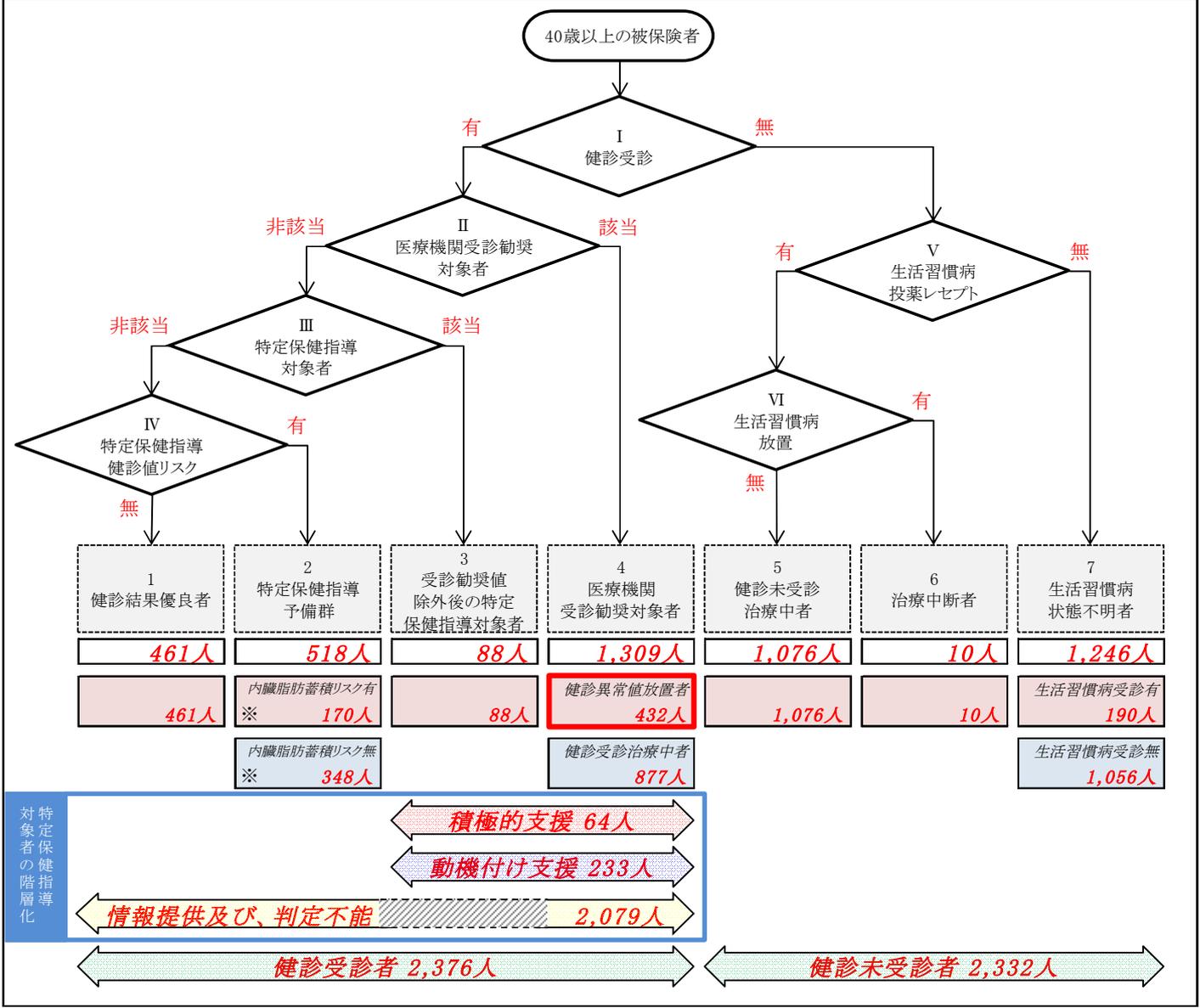
2. 健診異常値放置者受診勧奨事業

健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。その結果、生活習慣病が進行し、重症化してしまう可能性があるため、これらの対象者をレセプトにより見極める。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 健診異常値放置者集団の特定

前項の分析において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する432人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

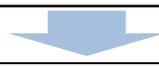
条件設定により対象となった候補者数	432 人
-------------------	--------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	93 人
		
除外患者を除いた候補者数		339 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者339人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とする。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1 人	候補者C 4 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 15 人	候補者D 69 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 47 人	候補者F 203 人
		喫煙	非喫煙
		←高 リスク 低→	
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			339 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(3) 受診勧奨実施方法

データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者は健康診査データ・レセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

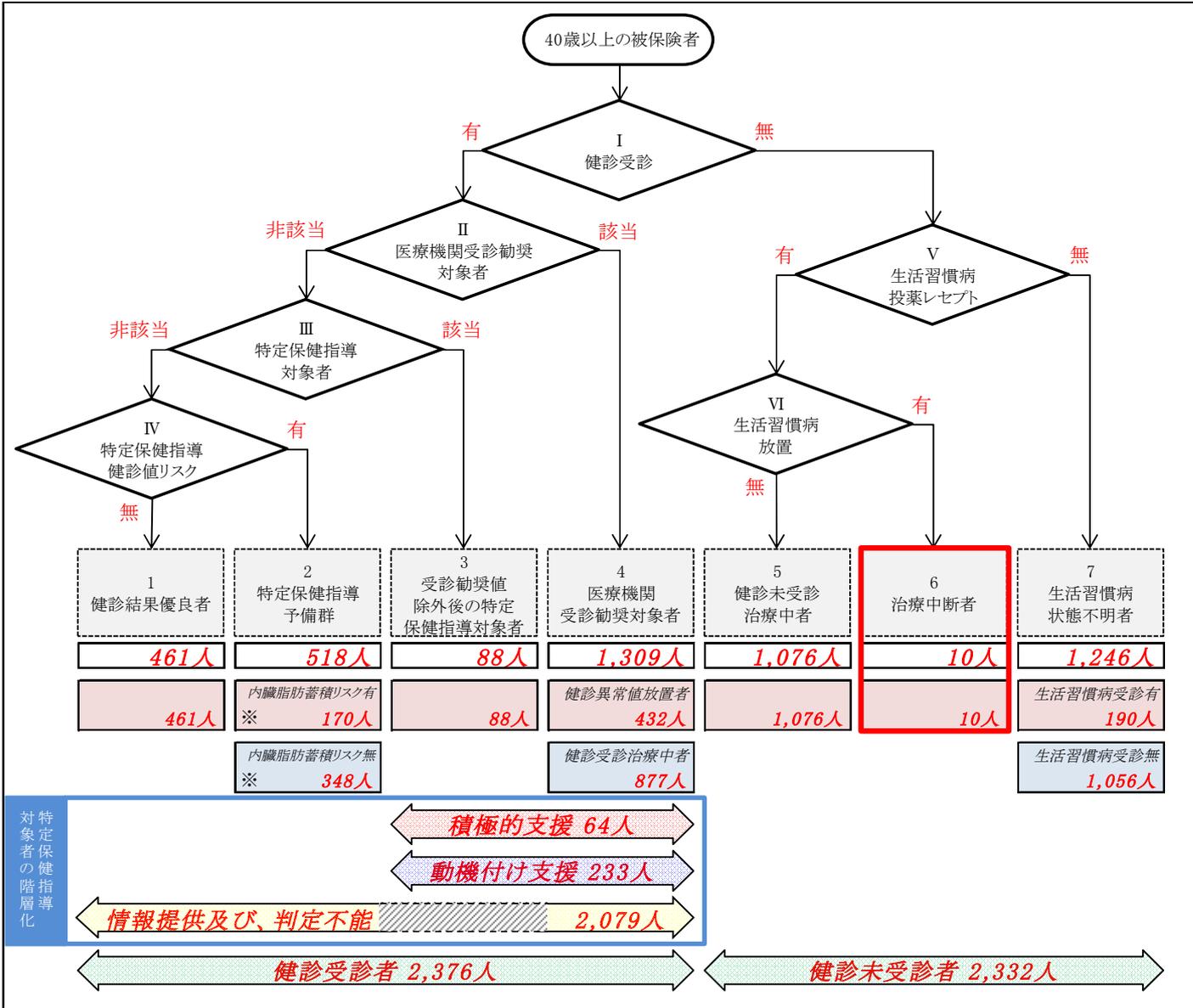
3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定

前項の分析において治療中断が発生している患者26人が対象となる。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化するおそれが高い。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	10 人
	上記以外のグループ	16 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		26 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。前項のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。
「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。
①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有」(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	2 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		24 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者24人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とする。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 7人	候補者B3 1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 2人	候補者C2 10人	候補者C3 4人
	毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診	
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				24人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

(3) 受診勧奨実施方法

ここでは、データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関での生活習慣病に関連する受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

4. 糖尿病性腎症重症化予防事業

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めている。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的である。

(1) 人工透析患者の実態

邑楽町国民健康保険における人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数は33人である。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

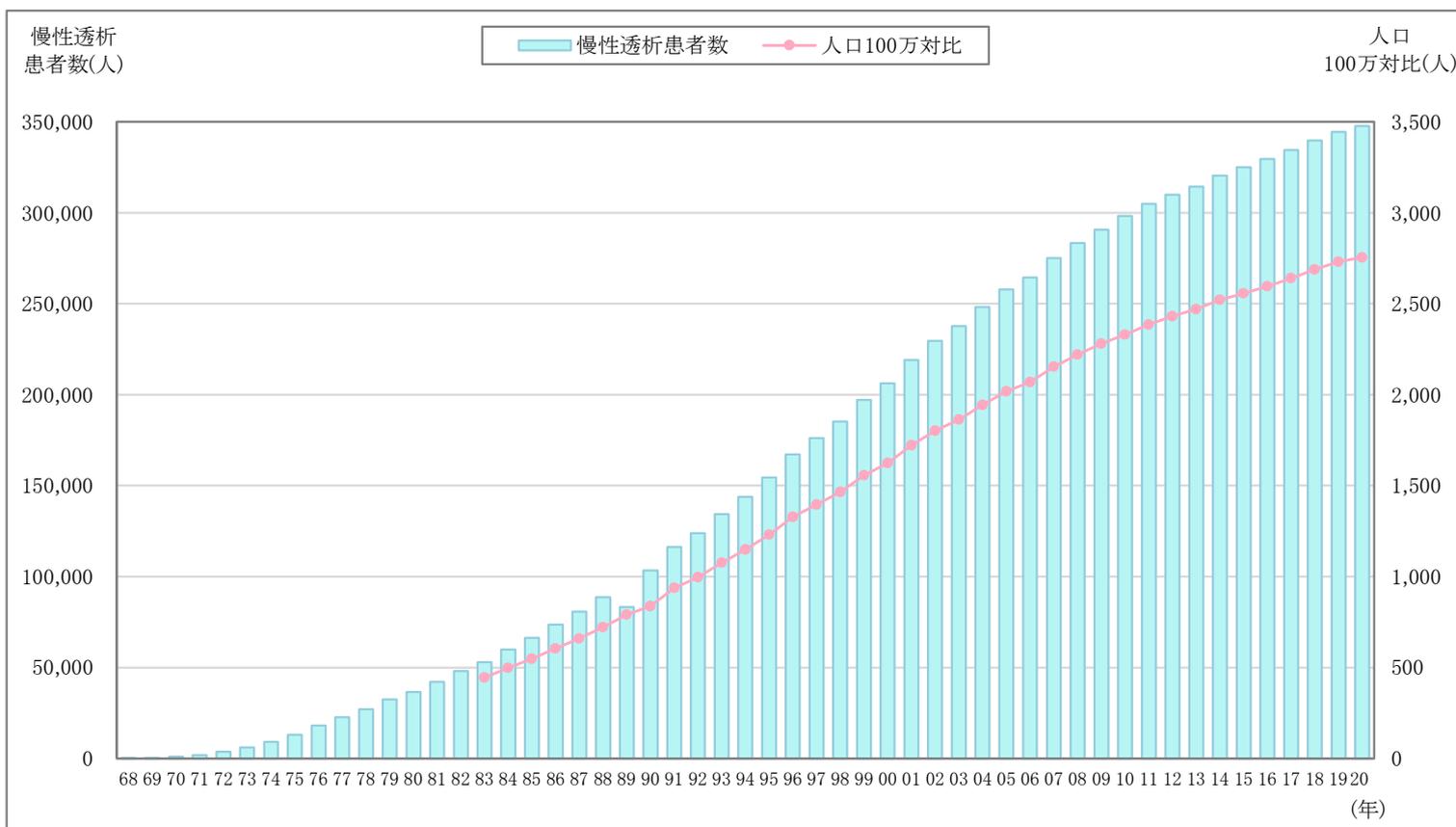
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	33
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	33

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

[参考資料] 日本の慢性透析患者数と有病率(人口100万対比)の推移



出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況(2020年12月31日現在)」 施設調査による集計

※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。人口100万対比は回収率86%で補正。

次に、人工透析に至った起因を、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定した。ただし、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

起因が明らかとなった患者のうち、75.8%が生活習慣を起因とするものであり、72.7%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 II型糖尿病	24	72.7%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	2	6.1%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	1	3.0%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	起因が特定できない患者 ※	6	18.2%	-	-
透析患者合計		33			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

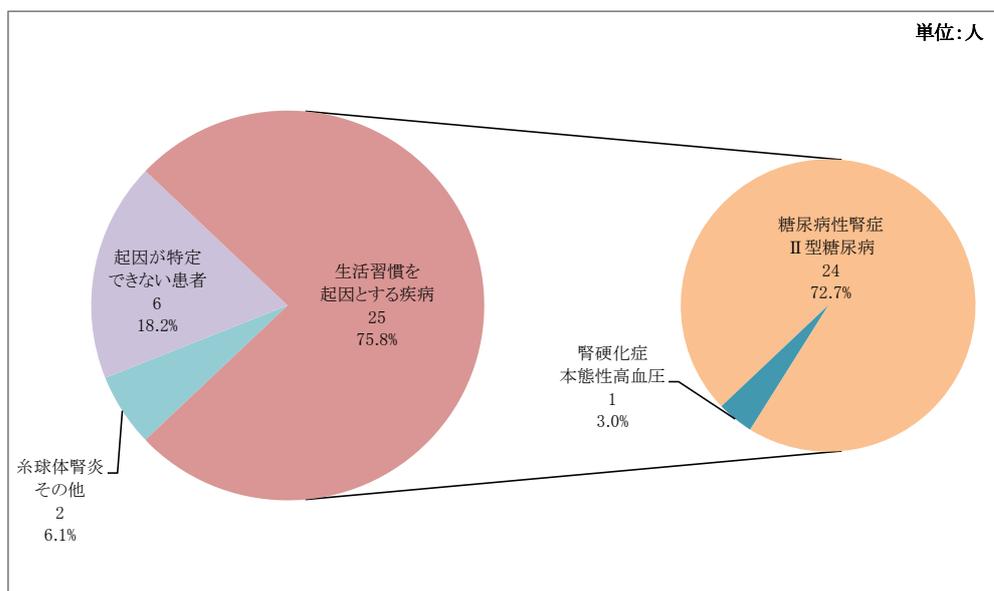
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者6人のうち高血圧症が確認できる患者は6人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は0人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者33人を対象に、以下のとおり医療費を分析した。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は521万円程度、このうち透析関連の医療費が467万円程度、透析関連以外の医療費が54万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	24	72.7%	111,116,160	13,267,800	124,383,960	4,629,840	552,825	5,182,665	385,820	46,069	431,889
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	2	6.1%	7,145,540	3,997,120	11,142,660	3,572,770	1,998,560	5,571,330	297,731	166,547	464,278
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	1	3.0%	4,736,640	0	4,736,640	4,736,640	0	4,736,640	394,720	0	394,720
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 起因が特定できない患者 ※	6	18.2%	30,964,510	563,120	31,527,630	5,160,752	93,853	5,254,605	430,063	7,821	437,884
透析患者全体	33		153,962,850	17,828,040	171,790,890						
患者一人当たり 医療費平均			4,665,541	540,244	5,205,785						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			388,795	45,020	433,815						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

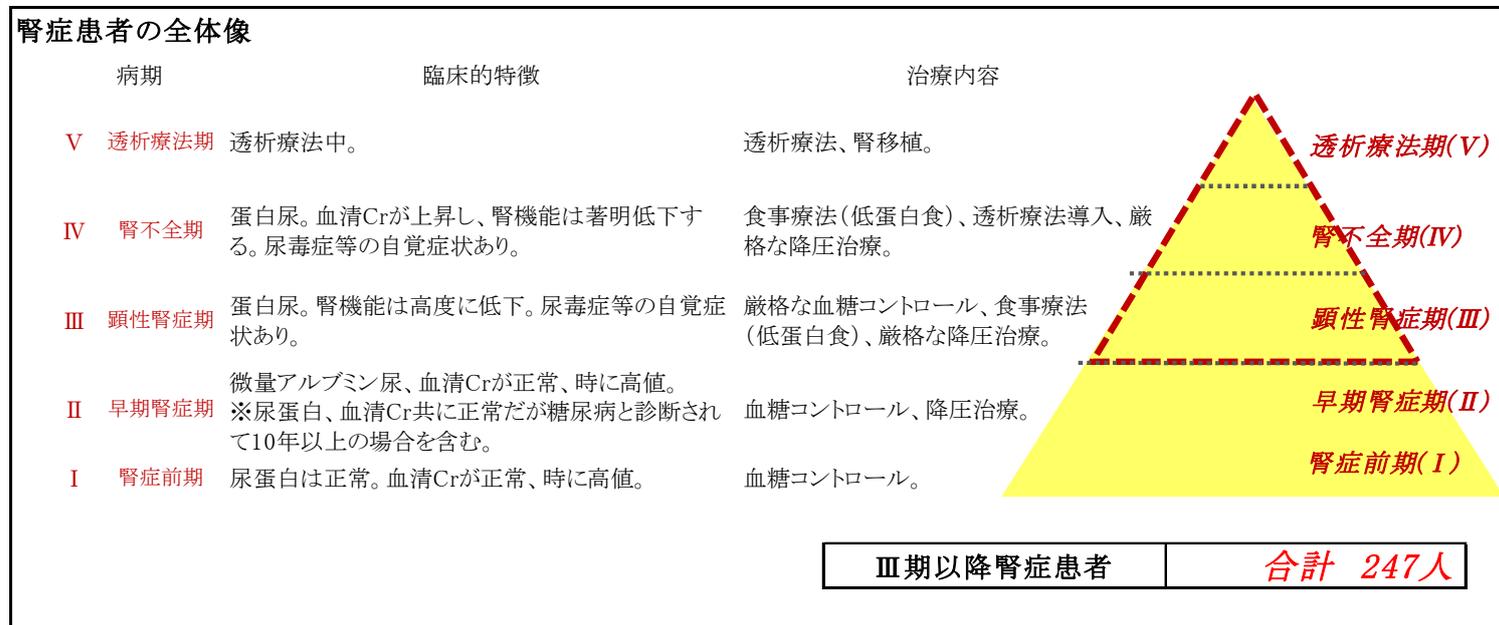
生活習慣を起因とする糖尿病患者に対し、腎症の悪化を遅延させるため、早期に保健指導を行い生活習慣の改善を目指す。

(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者247人中77人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



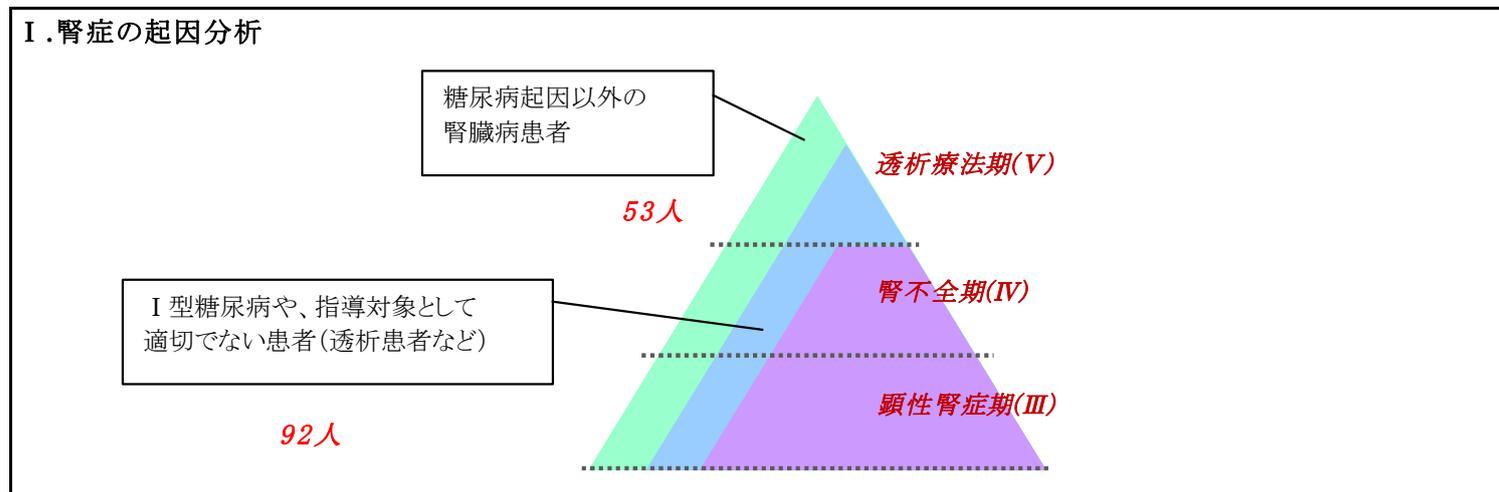
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、53人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、92人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

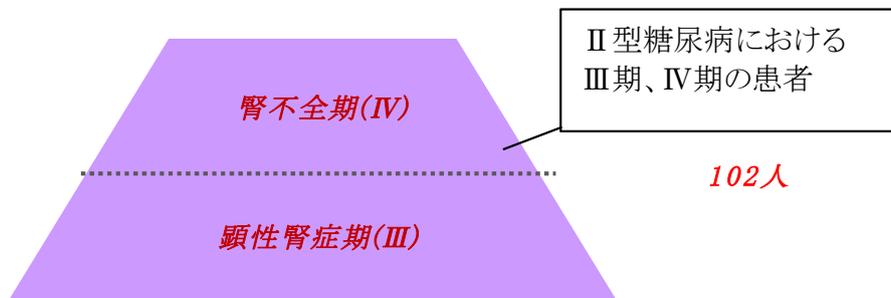
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下のとおり示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて102人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ. Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

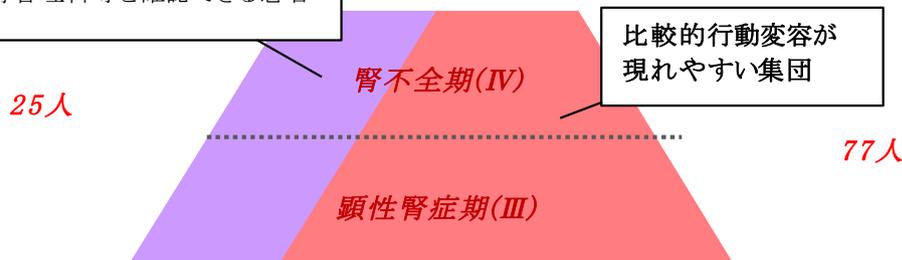
次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。102人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、25人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、77人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

Ⅲ. 保健指導対象者の優先順位

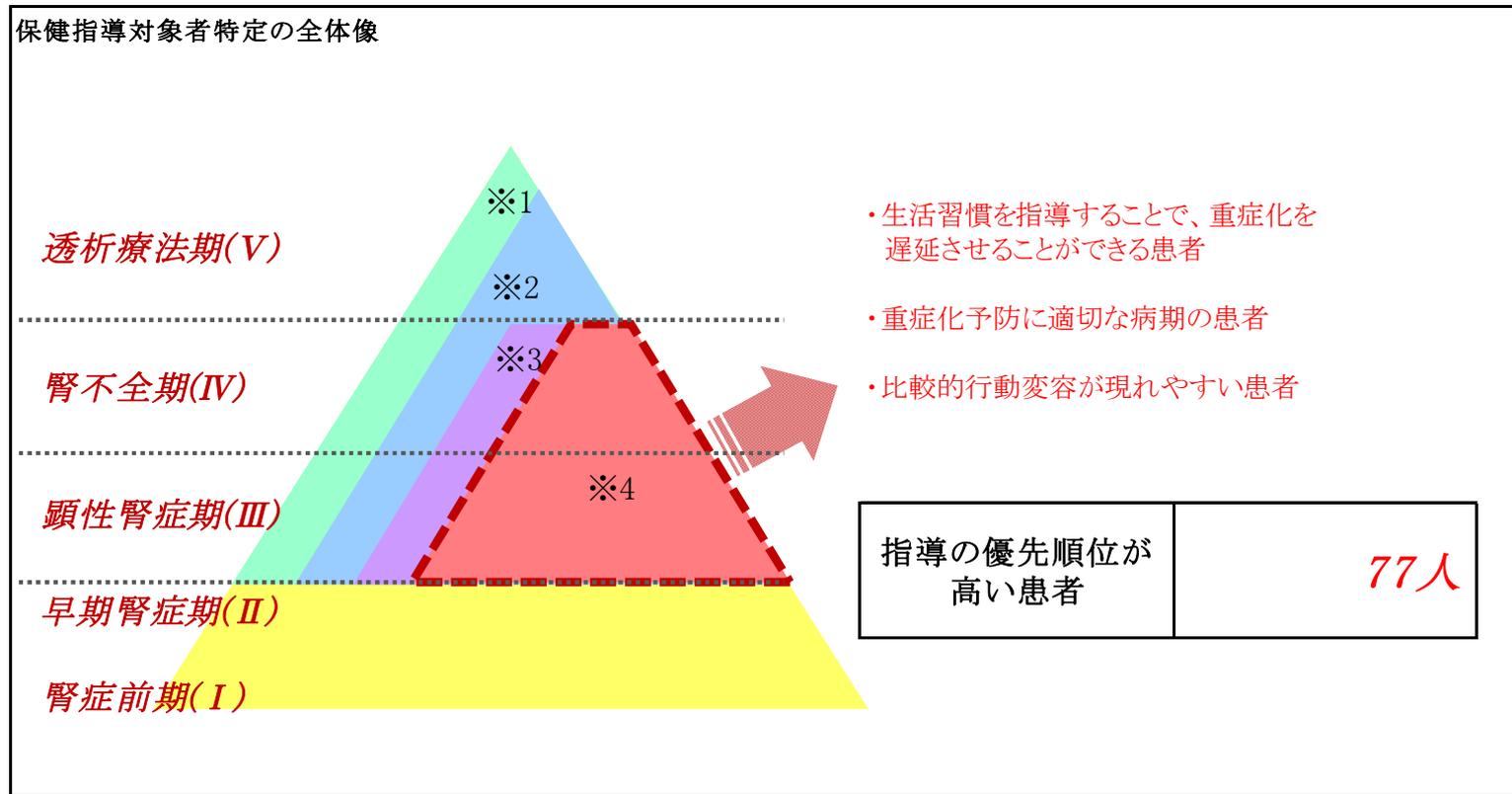
複雑なケースが含まれる集団
がん、難病、精神疾患、認知症、シャント、
透析予防指導管理料等を確認できる患者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、77人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

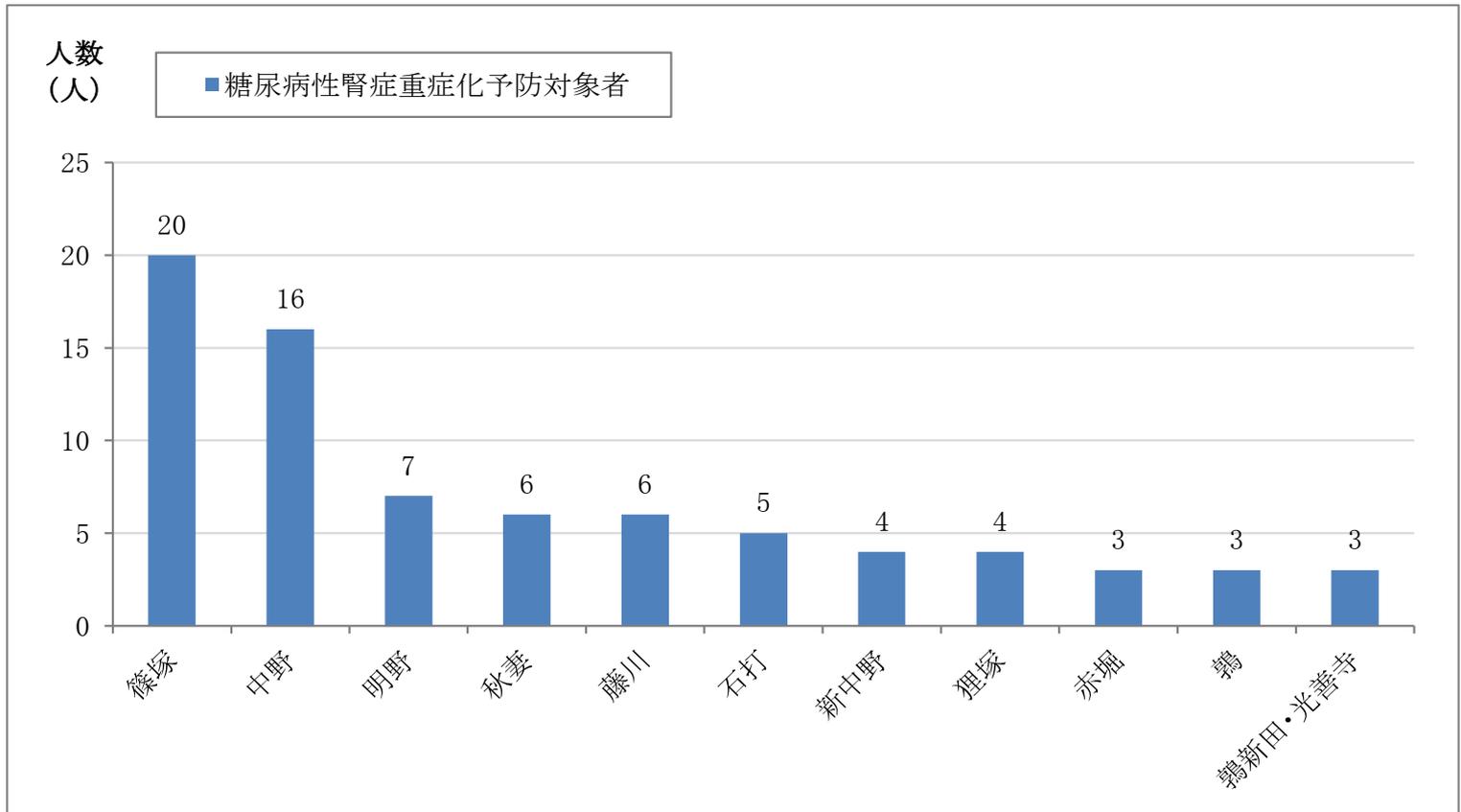
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

指導の優先順位が高い患者を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから糖尿病性腎症重症化予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健康診査データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(糖尿病性腎症重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、血清クレアチニン、eGFR、HbA1c、空腹時血糖」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわないので持参が無い場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

5. 高血圧重症化予防事業

高血圧性疾患は疾病中分類における医療費、患者数においていずれも上位にある。その罹患率の高さと自覚症状の低さから軽視される傾向にあるが、高血圧は脳心血管病(脳卒中及び心疾患)の最大の危険因子であり、慢性腎臓病(CKD)、末期の腎障害の発症リスクを上昇させる(高血圧治療ガイドライン2014より)。高血圧の悪化による脳心血管病及び腎疾患等の発症、再発及び重症化を防ぐことが本事業の目的である。

(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析

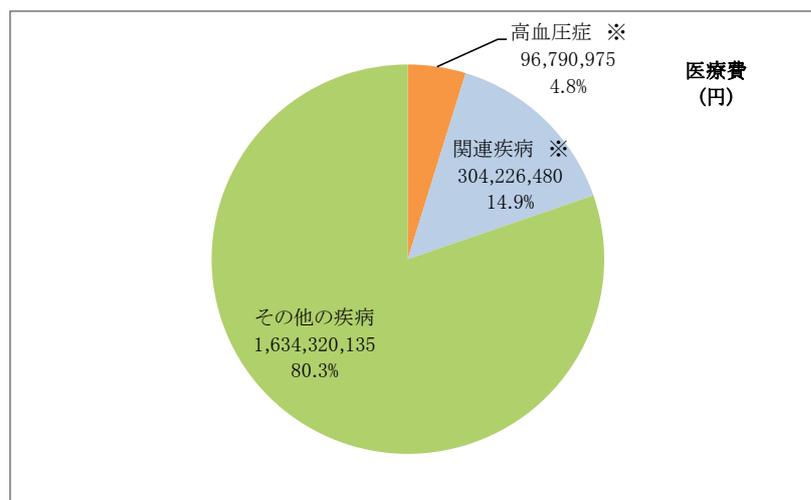
①高血圧症及び関連疾病の医療費等分析

高血圧症、及び高血圧により発症や重症化のリスクが高まる脳心血管病、腎疾患等の重篤な疾病(以下、「関連疾病」という)に係る医療費等の状況について分析を行った。

高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況

疾病項目	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)
高血圧症及び関連疾病	401,017,455	19.7%	3,053
高血圧症 ※	96,790,975	4.8%	2,370
関連疾病 ※	304,226,480	14.9%	1,882
脳血管障害	42,984,985	2.1%	509
心疾患	118,231,998	5.8%	1,331
腎疾患	123,510,448	6.1%	344
血管疾患	19,499,049	1.0%	568
その他の疾病	1,634,320,135	80.3%	5,663
合計	2,035,337,590		5,717

医療費全体に占める高血圧症及び関連疾病の医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

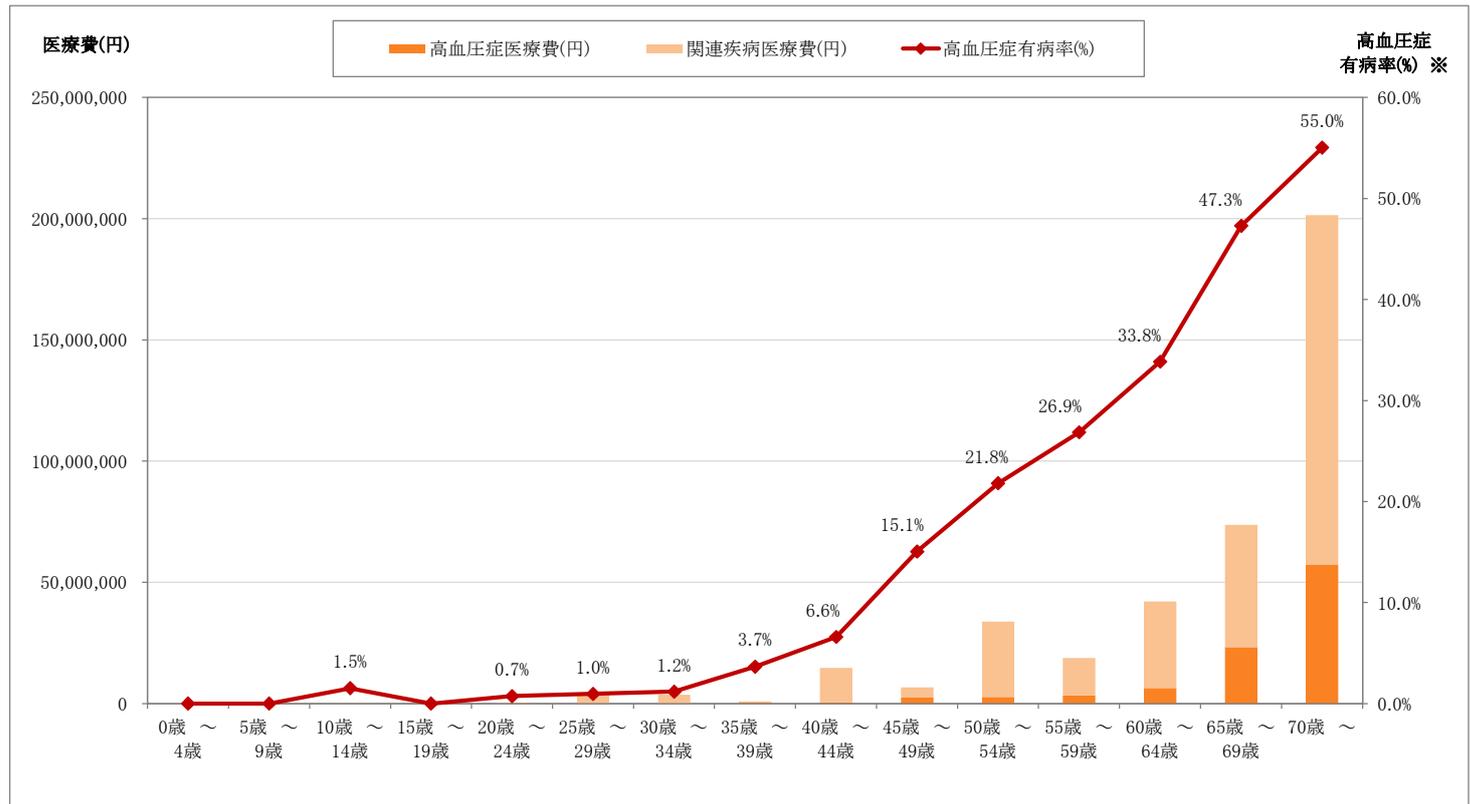
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

高血圧症は特に高年齢層において患者数が増え医療費も増大する傾向にある。

年齢階層別 高血圧症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症有病率…被保険者数に占める高血圧症患者数の割合。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②健康診査データによる高血圧該当状況分析

40歳以上の被保険者を対象として、特定健康診査受診者における高血圧該当状況及び降圧薬服薬状況について示す。特定健康診査受診者の31.9%に当たる757人が高血圧に該当し、そのうち374人に高血圧症の投薬レセプトが有る。特定健康診査受診者の68.1%に当たる1,619人が正常域血圧に該当し、そのうち607人に高血圧症の投薬レセプトが有る。

健診及びレセプトによる高血圧該当状況

血圧値の分類	検査値範囲		該当者数 (人)	高血圧症 ※ 投薬レセプト有	高血圧症 ※ 投薬レセプト無	高血圧症及び 関連疾病 ※ レセプト無
	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)				
高血圧			757	374	69	314
Ⅲ度高血圧	180～	かつ/または 110～	41	17	1	23
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ/または 100～109	153	83	15	55
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ/または 90～99	563	274	53	236
正常域血圧			1,619	607	204	808
正常高値血圧	130～139	かつ/または 85～89	446	214	63	169
正常値血圧	120～129	かつ/または 80～84	617	247	71	299
至適血圧	～119	かつ ～79	556	146	70	340

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

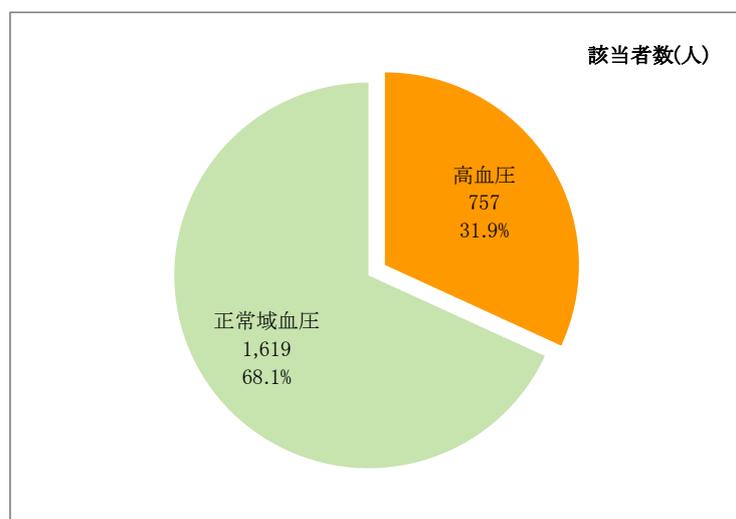
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

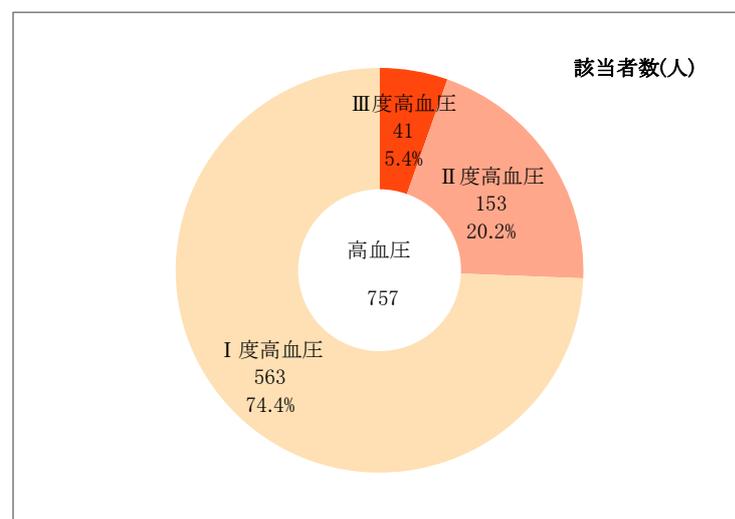
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

健診受診者に占める高血圧該当者の割合



高血圧該当者における血圧値分類別割合

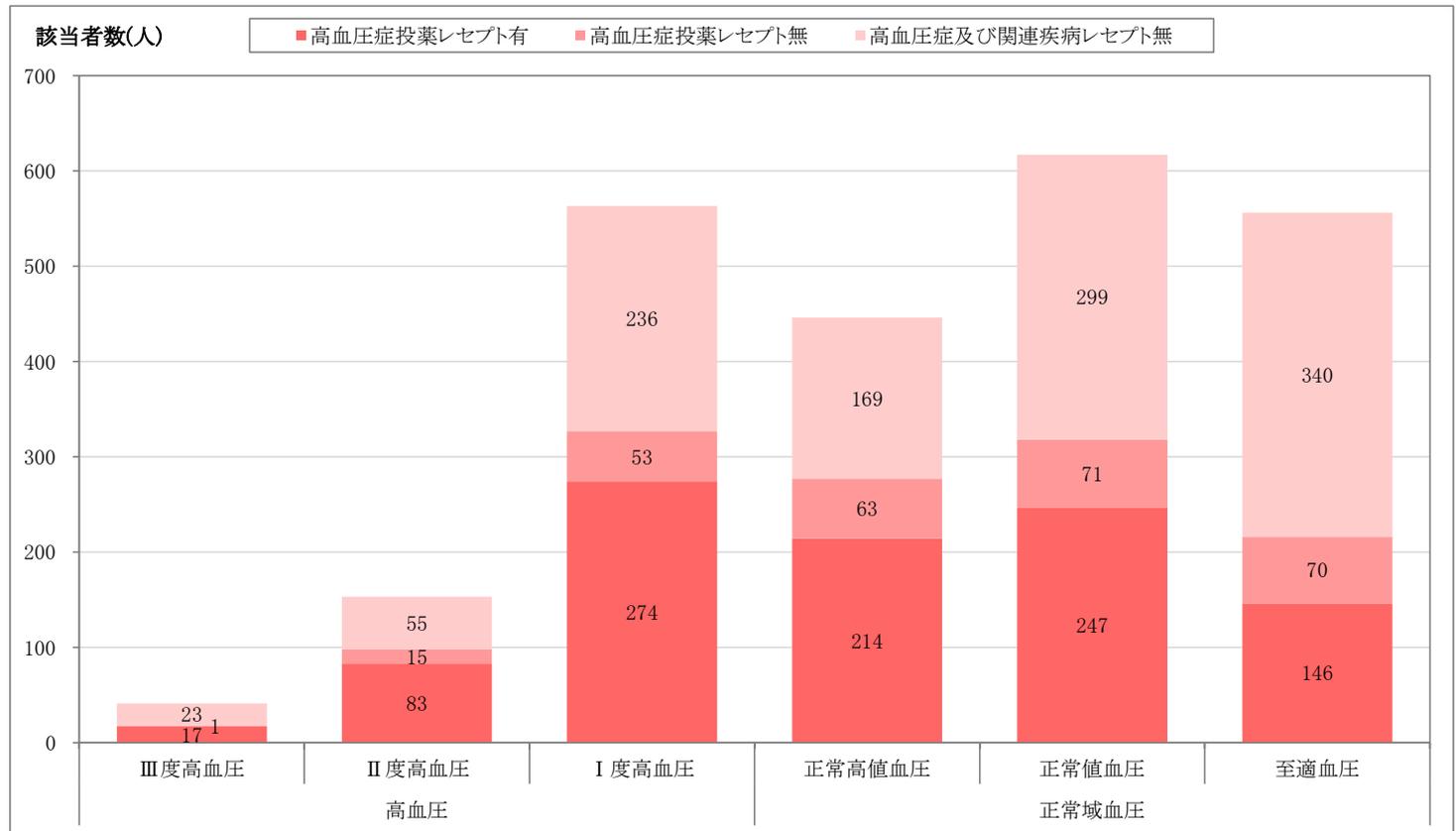


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

健診及びレセプトによる血圧値の分類別該当状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

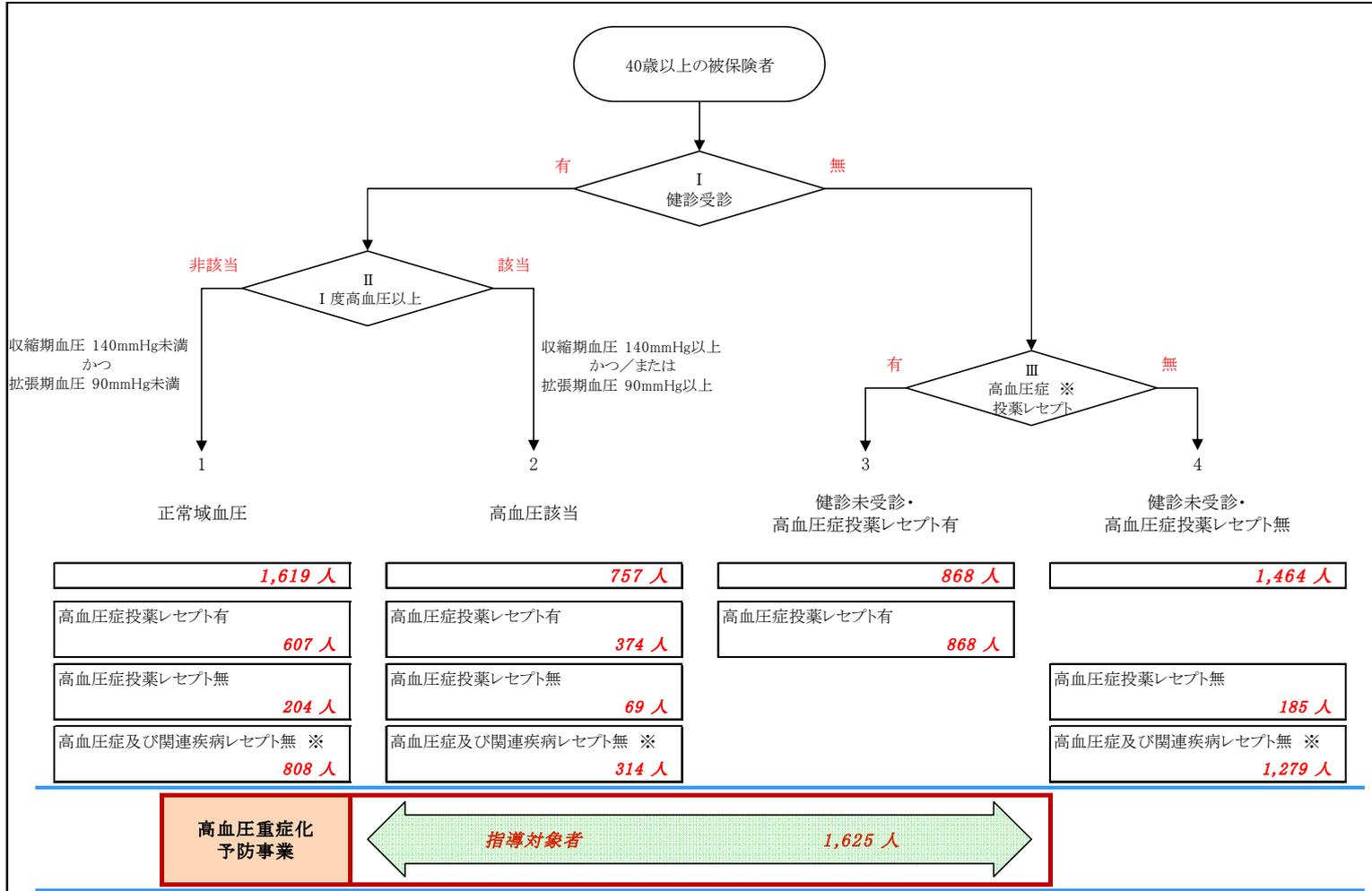
グラフの見方

	高血圧該当者	正常域血圧該当者
高血圧症及び関連疾病レセプト無	高血圧に該当するにもかかわらず、高血圧症及び関連疾病で医療機関を受診していない。	血圧値は安定しており、高血圧症及び関連疾病で医療機関を受診していない。
高血圧症投薬レセプト無	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の投薬治療は行っておらず、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の投薬治療は行っておらず、血圧値は安定している(コントロール良)。
高血圧症投薬レセプト有	高血圧症で投薬治療を受けているが、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症で投薬治療を受けており、血圧値は安定している(コントロール良)。

(2) 指導対象者集団の特定

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や血圧検査値、高血圧症に係る投薬レセプトの有無等を判定し、4つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

【フロー説明】

I 健診受診…健診受診の有無を判定。

II I度高血圧以上…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」に定められた血圧値の分類のI度高血圧以上か判定。

III 高血圧症投薬レセプト有…高血圧症で投薬治療を受けている医科レセプトの有無を判定。

分析結果より、特定健康診査受診者のうち、血圧の検査値がⅠ度高血圧以上であり「2. 高血圧該当」に分類される757人、及び特定健康診査未受診者のうち、医療機関において高血圧症に係る投薬レセプトが有り「3. 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」に該当する868人を合わせた1,625人が事業対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(高血圧重症化予防事業)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
指導対象者分析結果	2 高血圧該当	757人
	3 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有	868人
条件設定により対象となった候補者数(合計)		1,625人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。高血圧となった原因が特定されている「二次性高血圧患者」に関しては、その原因となった疾患の治療を通して血圧管理が行われると考えられる。また、「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(高血圧重症化予防事業)

II. 除外設定			実人数
除外1	二次性高血圧 ※	4人	689人
除外2	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	687人	
↓			
除外患者を除き、 候補者となった患者数	2 高血圧該当	489人	
	3 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有	447人	
	合計	936人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※二次性高血圧…疑い病名を含む。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者936人について、関連疾病を既に発症している者を三次予防対象者、残る指導対象者を二次予防対象者として分類する。また、特定健康診査受診者は血圧検査値から、特定健康診査未受診者は処方された降圧薬種類数から、対象者の重症度を判定し、分類グループ毎に指導の優先順位が高い候補者を特定した。

これら対象者は全て高血圧重症化予防事業対象者ではあるが、事業方針や規模に応じて指導対象とするグループの範囲を決定し、対象者を選択する。

優先順位(高血圧重症化予防事業)

Ⅲ. 優先順位						
2 高血圧該当(健診受診者)						
↑ 高 リスク 低 ↓	血圧値の分類	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)	二次予防 ※	三次予防 ※	
	Ⅲ度高血圧	180～	かつ/または	110～	候補者2-A 27人	候補者3-A 1人
	Ⅱ度高血圧	160～179	かつ/または	100～109	候補者2-B 90人	候補者3-B 12人
	Ⅰ度高血圧	140～159	かつ/または	90～99	候補者2-C 286人	候補者3-C 73人
候補者A～Cの人数				403人	86人	
3 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有(健診未受診者)						
↑ 高 リスク 低 ↓	降圧薬種類数 ※			二次予防 ※	三次予防 ※	
	4種類以上			候補者2-A 4人	候補者3-A 3人	
	3種類			候補者2-B 19人	候補者3-B 16人	
	2種類			候補者2-C 124人	候補者3-C 71人	
	1種類			候補者2-D 133人	候補者3-D 74人	
	なし			候補者2-E 1人	候補者3-E 2人	
候補者A～Eの人数				281人	166人	

指導対象者の分類について

対象者区分	関連疾病の レセプト有無	指導の目的と方向性
二次予防 ※	無	高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした脳心血管病、腎疾患等の関連疾病の発症を予防する。対象者自身が高血圧のリスクを認識することが重要となる。
三次予防 ※	有	関連疾病のレセプトが発生している対象者に対して、高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした関連疾病の再発、重症化を予防する。関連疾病の一つである脳梗塞や虚血性心疾患等は特に再発率が高い疾病であるため、適切な治療の継続と生活習慣の改善による慎重な血圧管理が必要となる。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

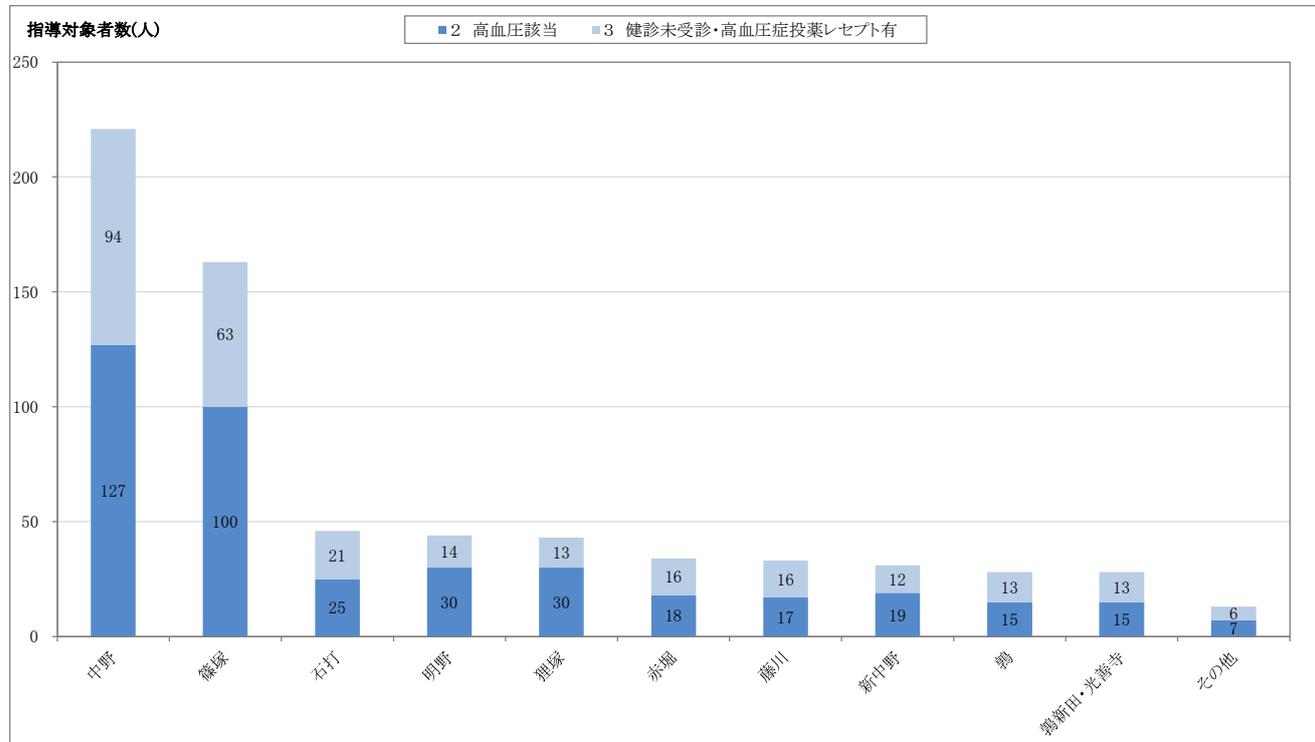
※降圧薬種類数…高血圧治療ガイドライン2014に記載の10種類の降圧薬のうち、服薬している薬剤種類数により高血圧の重症度を判定。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2014」

以下に、二次予防対象者、三次予防対象者それぞれについて、地区別の分布状況を対象者数上位順に示す。血圧検査値により対象者に分類される特定健康診査受診者と、高血圧症投薬レセプト有の特定健康診査未受診者とでグラフを色分けしている。

保健指導対象者の地区分析(二次予防対象者)※



保健指導対象者の地区分析(三次予防対象者)※



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(3) 適切な指導実施方法の確立

高血圧は生活習慣に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、その重症化による脳心血管病及び腎疾患等の発症・進行のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから、高血圧重症化予防に適切な事業対象者を特定する。データ分析会社より委託を受けた保健指導実施会社の保健師・看護師が指導対象者に同意を得て、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社から指導結果の提供を受けたデータ分析会社はこれらデータとレセプトデータ、健康診査データ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした実施例を説明する。

成果の確認方法(高血圧重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、BMI、eGFR、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。服薬・食事・運動に関する問題点を指摘し、指導計画及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業

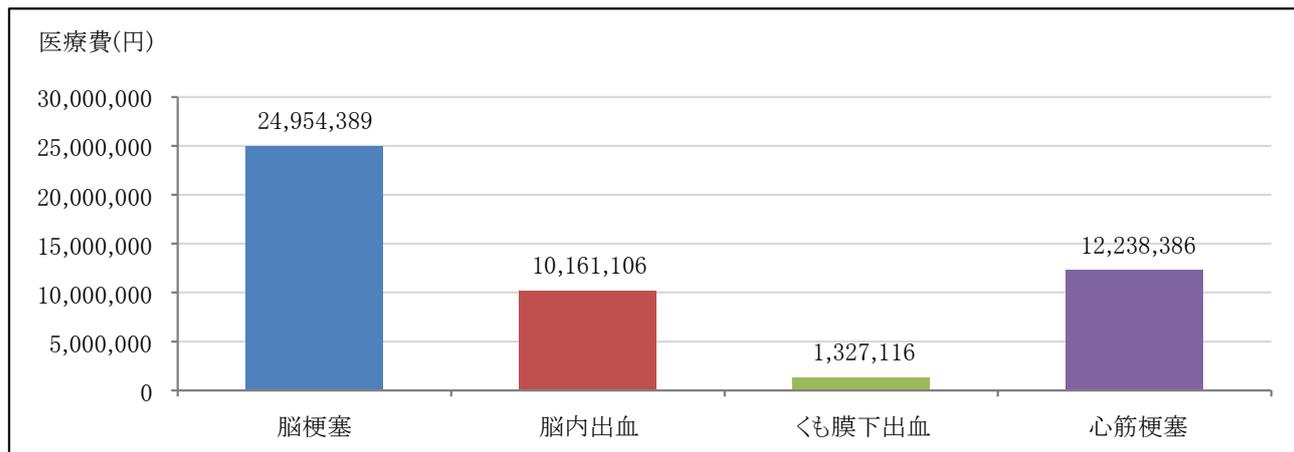
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

厚生労働省「令和2年人口動態統計」において死因順位第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中は後遺症が残るおそれがあり、厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第2位となっている。

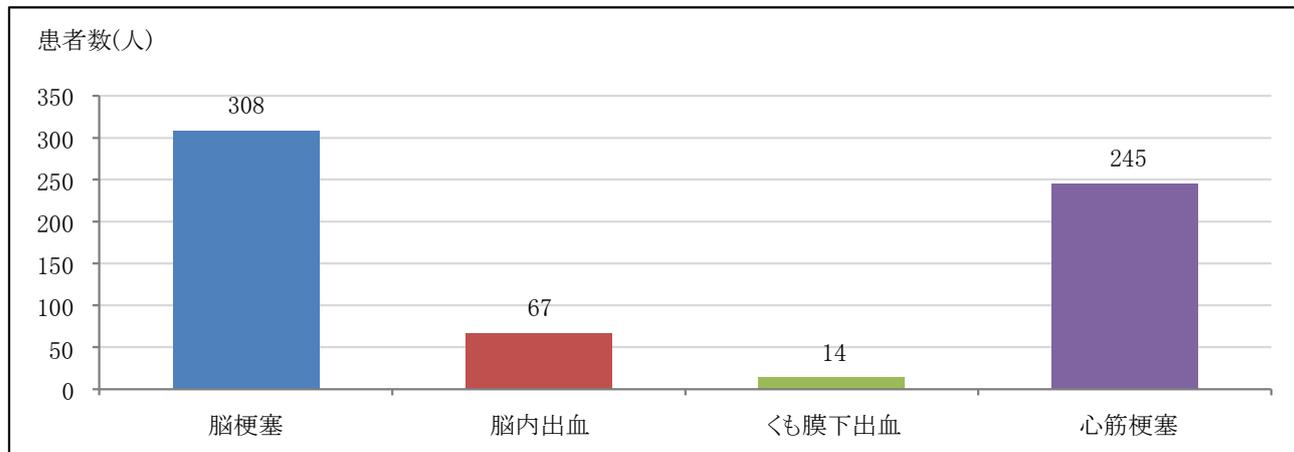
脳卒中・心筋梗塞の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。

脳卒中・心筋梗塞は再発率が高いため、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)
脳梗塞	24,954,389	308	81,021
脳内出血	10,161,106	67	151,658
くも膜下出血	1,327,116	14	94,794
心筋梗塞	12,238,386	245	49,953

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定

前項の分析結果より、患者数の多い脳梗塞は特に対策を行う必要のある疾病である。また、生活習慣に関連した疾患との関連性が強いと考えられるため、治療完了後も生活習慣に改善がみられない場合、再発するおそれが高い。再発を防ぐために適切な指導を行う必要がある。

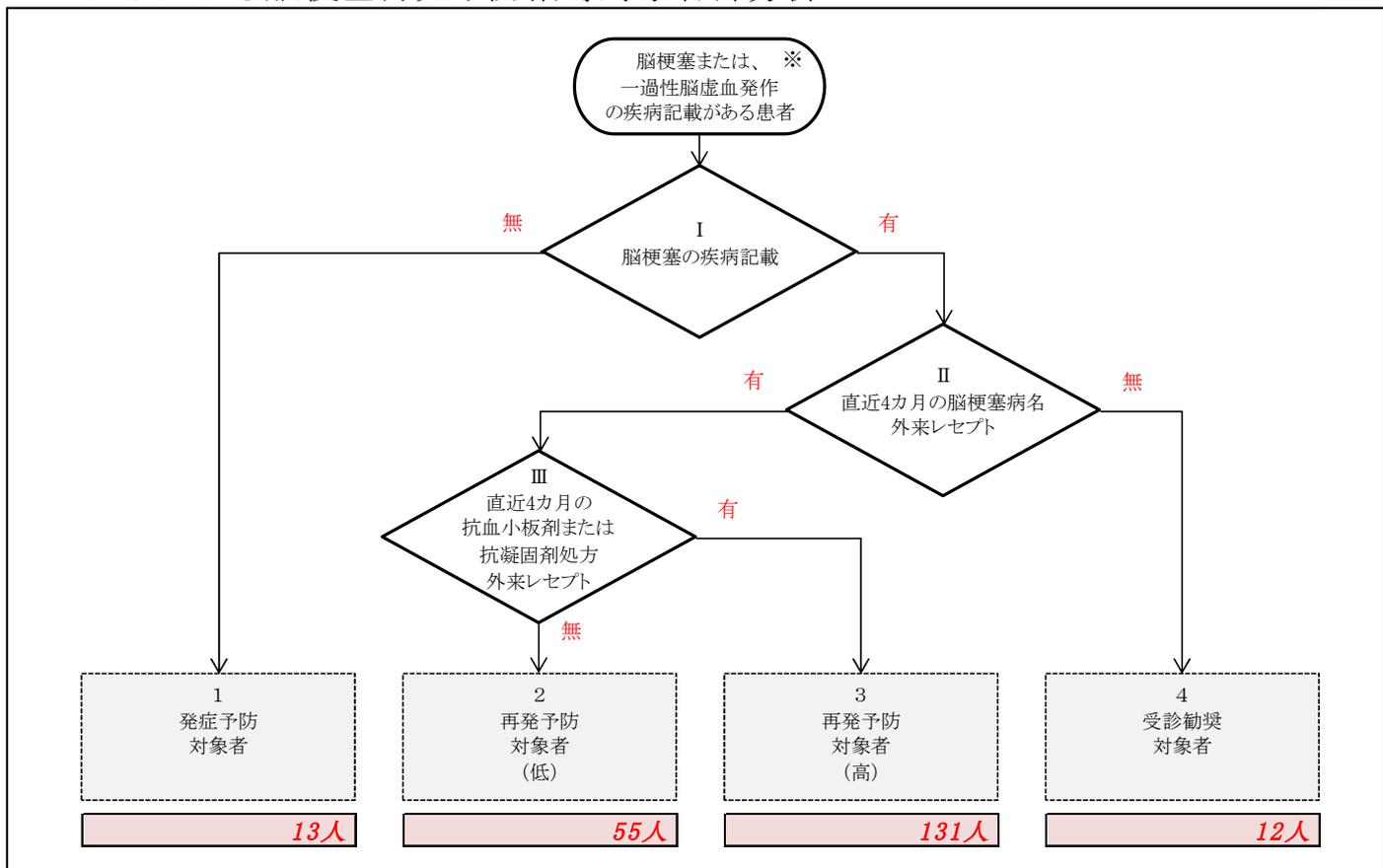
ここでは、レセプトデータより、過去に脳梗塞を発症した患者または一過性脳虚血発作を発症した患者に対し、疾病・処方医薬品・通院傾向を把握し、発症と再発を予防するための対象者分析を行う。

一過性脳虚血発作を発症した患者は、脳梗塞の発症リスクが高いと考えられるため、発症予防の対象者として分類する(1. 発症予防対象者)。

脳梗塞の疾病が確認される患者については、直近4カ月における脳梗塞の外来レセプトの有無を確認する。外来レセプトが有る場合、医療機関への受診は行われているため、再発予防の対象者とする(2. 3. 再発予防対象者)。その際「抗血小板剤または抗凝固剤」処方の有無により、優先度を設定する。

外来レセプトが無い場合、定期的な受診を促す(4. 受診勧奨対象者)。

レセプトによる脳梗塞再発予防指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中のおそれがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

一過性脳虚血発作…脳梗塞と同様の症状が一時的に起こって短時間で消失する現象。本格的な脳梗塞を起こす前兆発作といわれている。抗血小板剤または抗凝固剤…凝固因子の活性化や血小板の働きを抑えることにより血液を固まりにくくする薬。心筋梗塞や脳梗塞の予防を目的として処方されることから、ここでは高リスク者の判定材料とした。

(3) 適切な指導実施方法の確立

脳梗塞は生活習慣病に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、再発のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから脳梗塞発症予防・再発予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健診データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(脳梗塞の発症予防・再発予防事業)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

7. メンタル疾患の発症予防事業

健康寿命の延伸を実現するために、身体健康と共に重要とされるのが、メンタル疾患を予防しこころの健康を維持することである。厚生労働省は健康日本21(第二次)において、「社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標」を定め、自殺者の減少や、メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の増加を目指している。

メンタル疾患として代表的な、うつ病を含む気分障害の患者は、厚生労働省の患者調査において近年急速に増加していることが指摘されている。また、うつ病やうつ状態となると、喫煙率が高くなる・肥満になる・服薬をしなくなる等健康的な生活習慣が妨げられる傾向があり、その結果、脳卒中・心筋梗塞等の予後が悪化することが明らかとなっている。

ここでは、疾病分類の中分類における「0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」及び「0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害」(以下、「神経症、ストレス関連等」という)、うつ病と関係性が高い「睡眠障害」「アルコール使用障害」を“メンタル疾患”とし、分析する。

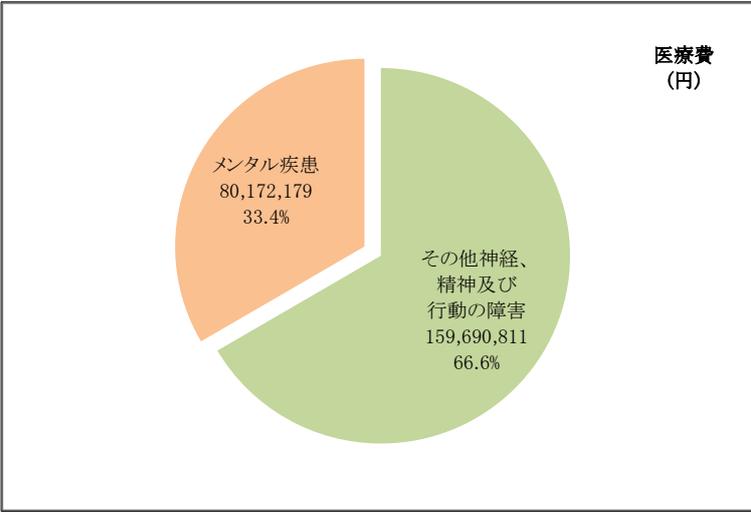
出典:「健康日本21(第二次)の推進に関する参考資料」厚生労働省 平成24年

(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合

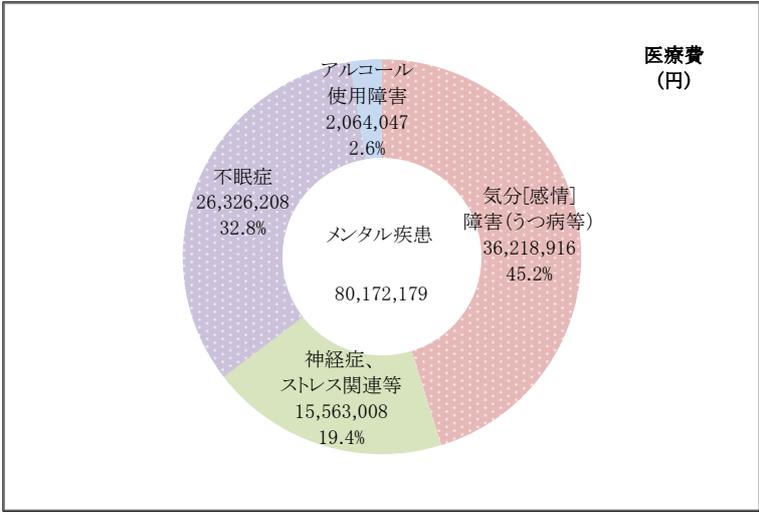
大分類による疾病別医療費をみると、医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は11.8%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると33.4%であった(※)。「気分[感情]障害(うつ病等)」、「不眠症」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

※…「V. 精神及び行動の障害」分類には認知症、統合失調症、知的障害等が含まれ、「VI. 神経系の疾患」分類にはパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん等含まれる疾病が多岐にわたる。

神経、精神及び行動の障害におけるメンタル疾患の割合



メンタル疾患の医療費割合



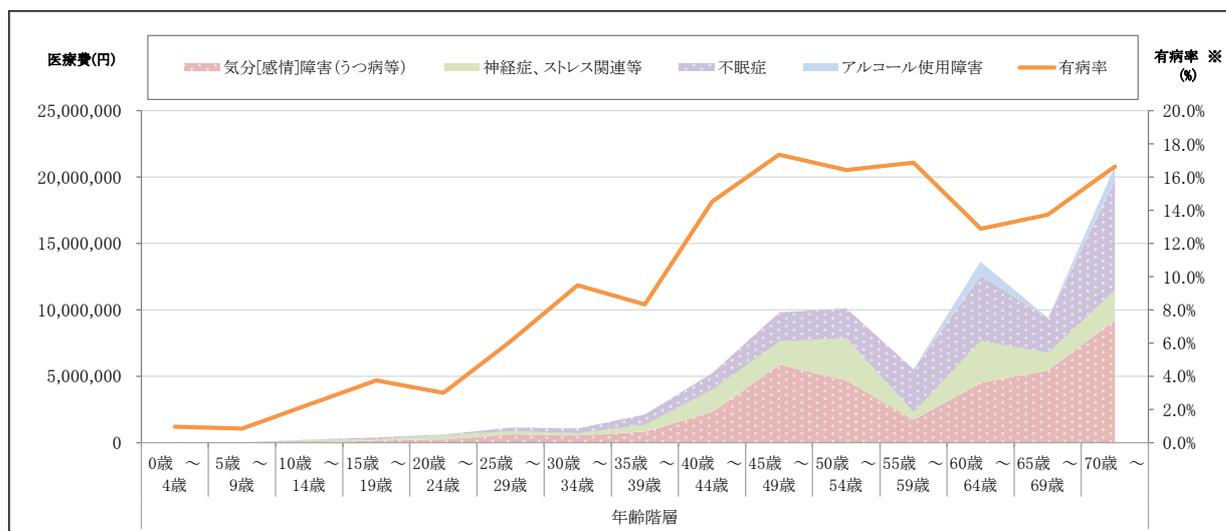
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に集計。
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 年齢階層別の医療費と有病率

次に、年齢階層別のメンタル疾患の医療費及び有病率を以下に示す。

年齢階層別被保険者における“メンタル疾患”疾病別医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内の「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に医療費を集計。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

患者の地区別内訳

順位	地区名	被保険者(人)		合計(人)
		男性	女性	
1	中野	121	162	283
2	篠塚	65	90	155
3	狸塚	18	34	52
4	鶯	20	32	52
5	明野	18	31	49
6	赤堀	19	30	49
7	石打	16	27	43
8	新中野	18	23	41
9	藤川	13	16	29
10	秋妻	11	17	28
その他		12	15	27
総計		331	477	808

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

(3) 適切な対策実施方法の確立

メンタル疾患において軽度な段階で早期発見、早期治療を行い、深刻な症状への進行を防ぐことが大切である。早期発見するために、住民を対象としたうつ病、抑うつ状態に関する意識調査、メンタルヘルスの相談が行えるように健康相談の体制の充実を図ることが重要である。また、メンタルヘルスについて理解を深めるために、勉強会を企画したり、うつ対策を進めている他都道府県、市区町村へ視察する等して、適切な対策方法を確立することが大切である。

8. 受診行動適正化指導事業

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。ここでは「多受診患者数とその傾向」を把握し、「指導対象者集団の特定」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

以下のとおり重複受診者数を集計した。ひと月平均5人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は60人、実人数は40人である。

重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	4	6	7	7	8	9	2	3	6	2	0	6
											12カ月間の延べ人数	60人
											12カ月間の実人数	40人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

重複受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	クローン病	消化器系の疾患	12.0%
2	慢性胃炎	消化器系の疾患	7.5%
3	不整脈	循環器系の疾患	6.5%
4	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.0%
5	COVID-19	特殊目的用コード	5.5%
6	便秘症	消化器系の疾患	4.0%
7	橈骨遠位端骨折	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.5%
8	アレルギー性鼻炎	呼吸器系の疾患	3.0%
9	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.0%
10	高血圧症	循環器系の疾患	3.0%

以下のとおり頻回受診者数を集計した。ひと月平均14人程度の頻回受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は168人、実人数は54人である。

頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	14	13	16	17	14	14	14	14	12	12	14	14
										12カ月間の延べ人数	168人	
										12カ月間の実人数	54人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

頻回受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	統合失調症	精神及び行動の障害	14.2%
2	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.5%
3	腰椎椎間板ヘルニア	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.5%
4	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.5%
5	高次脳機能障害	精神及び行動の障害	5.5%
6	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.0%
7	腰椎圧迫骨折	損傷、中毒及びその他の外因の影響	5.0%
8	腰痛症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.0%
9	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.6%
10	頸椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.7%

以下のとおり重複服薬者数を集計した。ひと月平均15人程度の重複服薬者が確認できる。12カ月間の延べ人数は177人、実人数は119人である。

重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	16	14	8	14	9	11	6	19	37	18	7	18
											12カ月間の延べ人数	177人
											12カ月間の実人数	119人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

重複服薬の要因となる主な上位薬品は以下のとおりである。

順位	薬品名 ※	効能	割合(%)
1	アムロジピンOD錠5mg「明治」	血管拡張剤	7.2%
2	ハルシオン0.25mg錠	催眠鎮静剤, 抗不安剤	6.7%
3	フルニトラゼパム錠2mg「アメレ」	催眠鎮静剤, 抗不安剤	6.3%
4	デパス錠0.5mg	精神神経用剤	5.9%
5	ロスバスタチン錠2.5mg「DSEP」	高脂血症用剤	5.8%
6	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤	3.7%
7	ビソプロロールフマル酸塩錠2.5mg「日医工」	不整脈用剤	2.9%
8	プレガバリンカプセル75mg「トーワ」	その他の中枢神経系用薬	2.4%
9	タケキャブ錠10mg	消化性潰瘍用剤	2.2%
10	アトルバスタチン錠10mg「サワイ」	高脂血症用剤	2.1%

※薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された薬品名。

(2) 指導対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で重複受診者は40人、頻回受診者は54人、重複服薬者は119人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性のある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

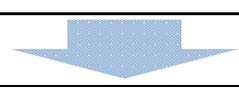
条件設定により候補者となった患者数	203人
-------------------	-------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性はある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	133人
		
除外患者を除き、候補者となった患者数		70人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者70人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から6カ月間遡ったレセプトのうち、5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とする。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは2人となった。

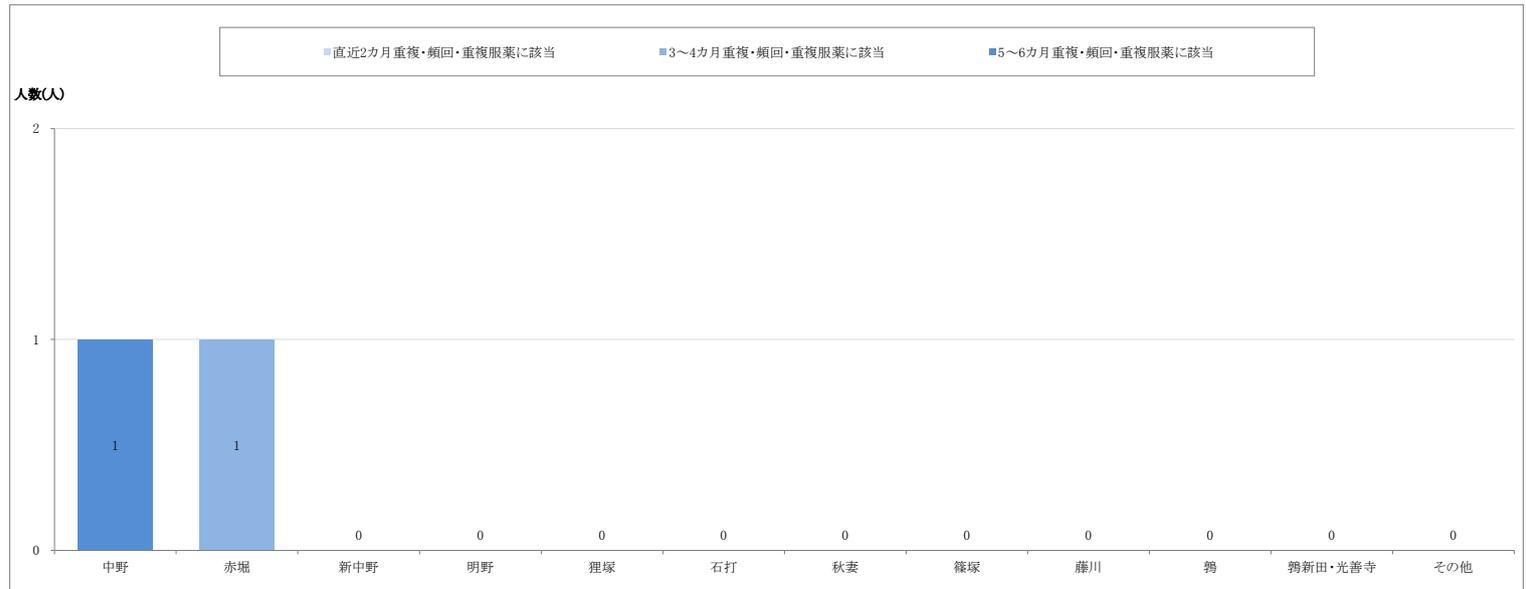
優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1人	候補者C 0人	候補者 としない
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 1人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			68人
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				2人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数を地区別に示す。

保健指導候補者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者を特定し保健事業を実施することが効果的だと考える。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから受診行動適正化指導に適切な指導対象者を特定する。その後データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、保健指導の実施報告書と指導前後のレセプトにより削減効果額を算出する。指導実施前後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

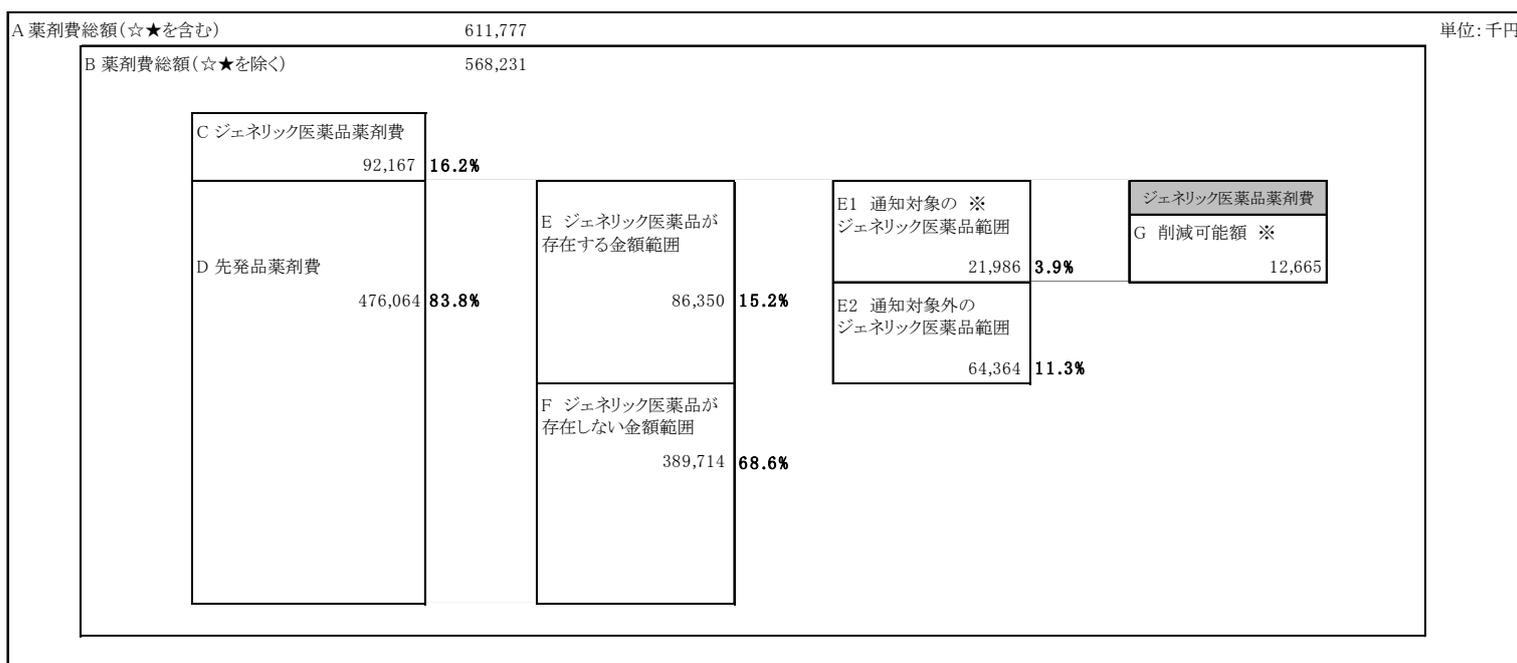
9. ジェネリック医薬品差額通知事業

(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切り替えポテンシャルを分析した。

薬剤費の内訳を以下に示す。薬剤費総額6億1,178万円(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤費総額は5億6,823万円(B)となる。以下、この金額をもとに分析を行う。先発品薬剤費は4億7,606万円(D)で83.8%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は8,635万円(E)となり、15.2%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,199万円(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能範囲となり、このうち削減可能額は1,267万円(G)となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。

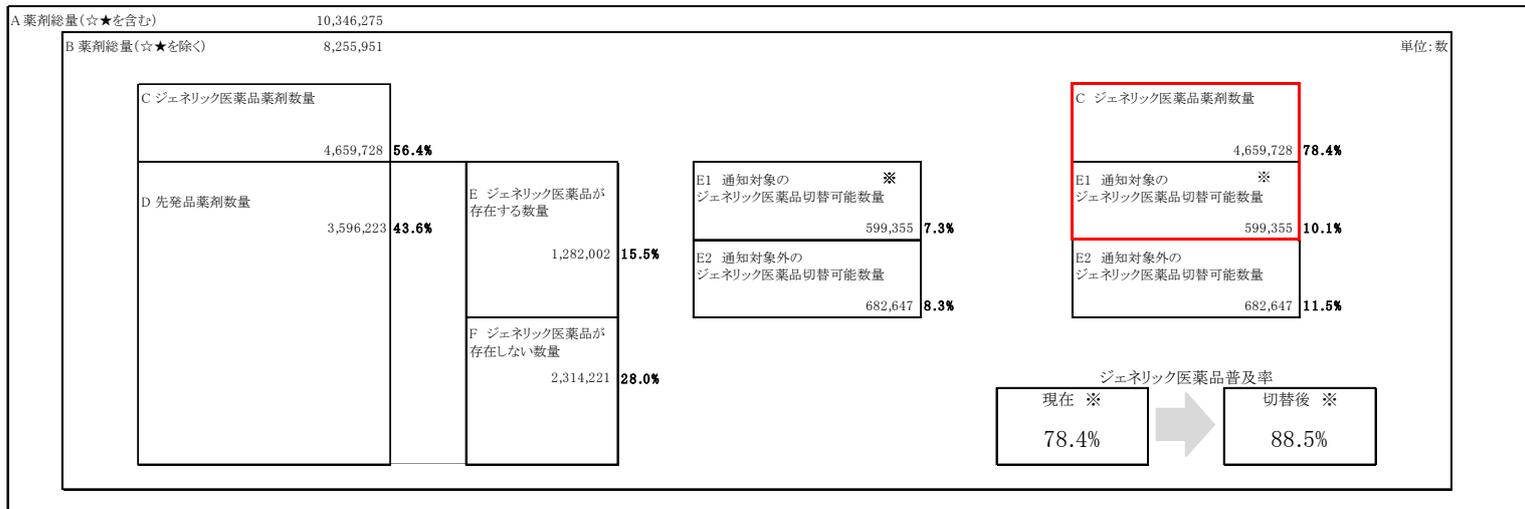
★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。

※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品範囲…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※先発品のうち削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示す。薬剤総量1,035万(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤総量は826万(B)となる。以下、この数量をもとに分析を行う。先発品薬剤数量は360万(D)で43.6%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は128万(E)となり、15.5%を占める。さらに株式会社データホライズン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、60万(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能数量となる。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、78.4%である。ジェネリック医薬品切り替え可能数量(E1)を全てジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の78.4%から88.5%となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。

★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。

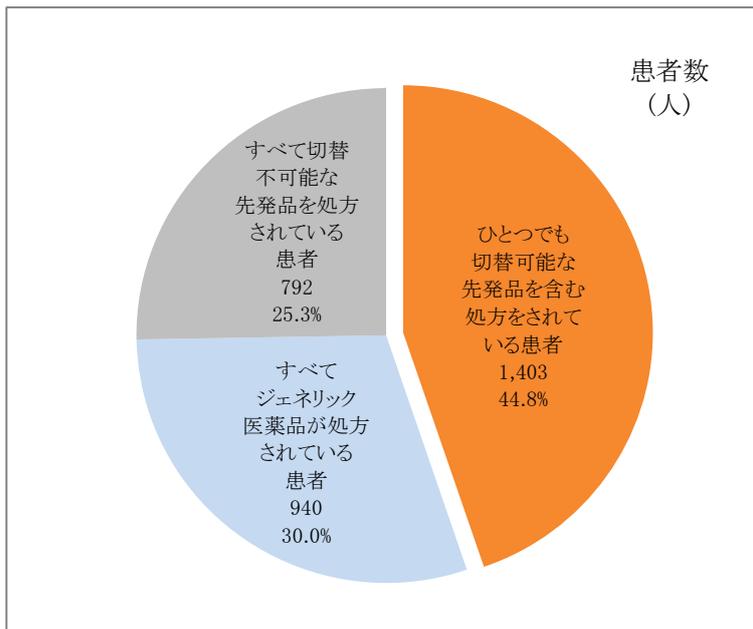
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量…株式会社データホライズン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※現在のジェネリック医薬品普及率…C ジェネリック医薬品薬剤数量/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

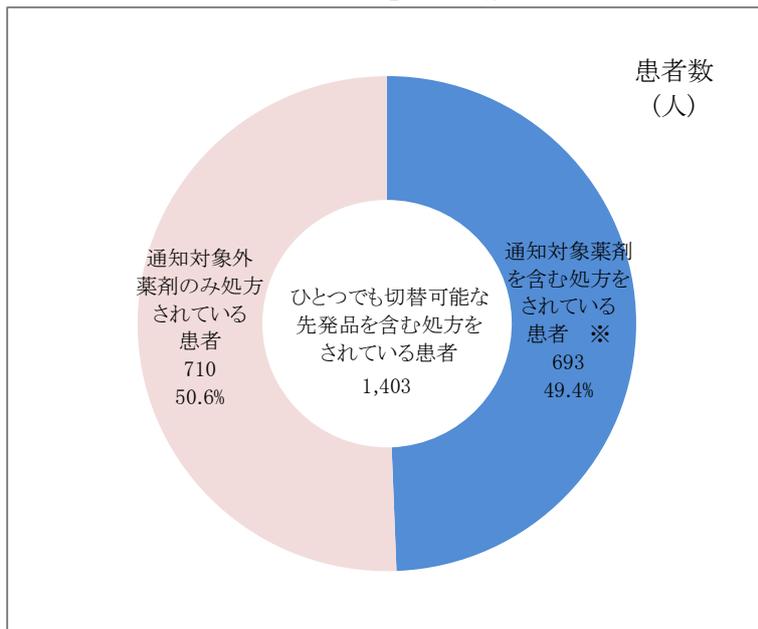
※切替後のジェネリック医薬品普及率…(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E1 通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量)/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和5年3月診療分のレセプトで患者毎の薬剤処方状況を以下に示す。患者数は3,135人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,403人で患者数全体の44.8%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、693人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の49.4%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方されている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトからジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を発送する。発送後のレセプトを用いて、ジェネリック医薬品の使用率と薬剤費削減状況を確認する。

10. COPD早期発見を目的とする啓発事業

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患である。世界的にみると、WHOファクトシート「死亡原因トップ10」において、COPDは2019年の世界死亡原因3位である。厚生労働省「令和2年人口動態統計」によると、日本のCOPDによる死亡者は1万6千人以上、うち男性は1万3千人以上で男性の死因順位第10位である。日本のたばこ消費量は近年減少傾向にあるが、過去の喫煙習慣による長期的な影響と急速な高齢化により、今後さらに罹患率、有病率、死亡率の増加が続くと予想される。

(1) COPDの認知度及びCOPD患者の実態

COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が10.9%、「名前は聞いたことがある」人が17.3%で合計28.2%と低く、厚生労働省は健康日本21(第二次)において令和4年度までに認知度を80%に向上させる目標を明らかにしている。また、日本におけるCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。

認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化しており、早期発見ができていない患者がいると推測される。COPDの認知度を向上させるため、医療機関と連携し、ハイリスク者への医療機関受診勧奨を行い、早期発見を促す必要がある。

邑楽町国民健康保険の被保険者を対象に令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は40人であった。日本における治療患者と潜在患者の比率を参考に、邑楽町国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は800人程度と想定する。

COPDの認知度状況

設問: あなたはCOPDという病気を知っていますか?		
どんな病気かよく知っている	1,088	10.9%
名前は聞いたことがある	1,730	17.3%
知らない	7,182	71.8%

出典: 一般社団法人 GOLD(Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease)日本委員会 調査
http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html (アクセス日: 令和4年3月31日)
 1万人を対象とした調査。(令和3年12月調査)

COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
邑楽町国民健康保険 被保険者	40人 内訳: 男性33人 (83%) 女性7人 (18%)	推定800人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

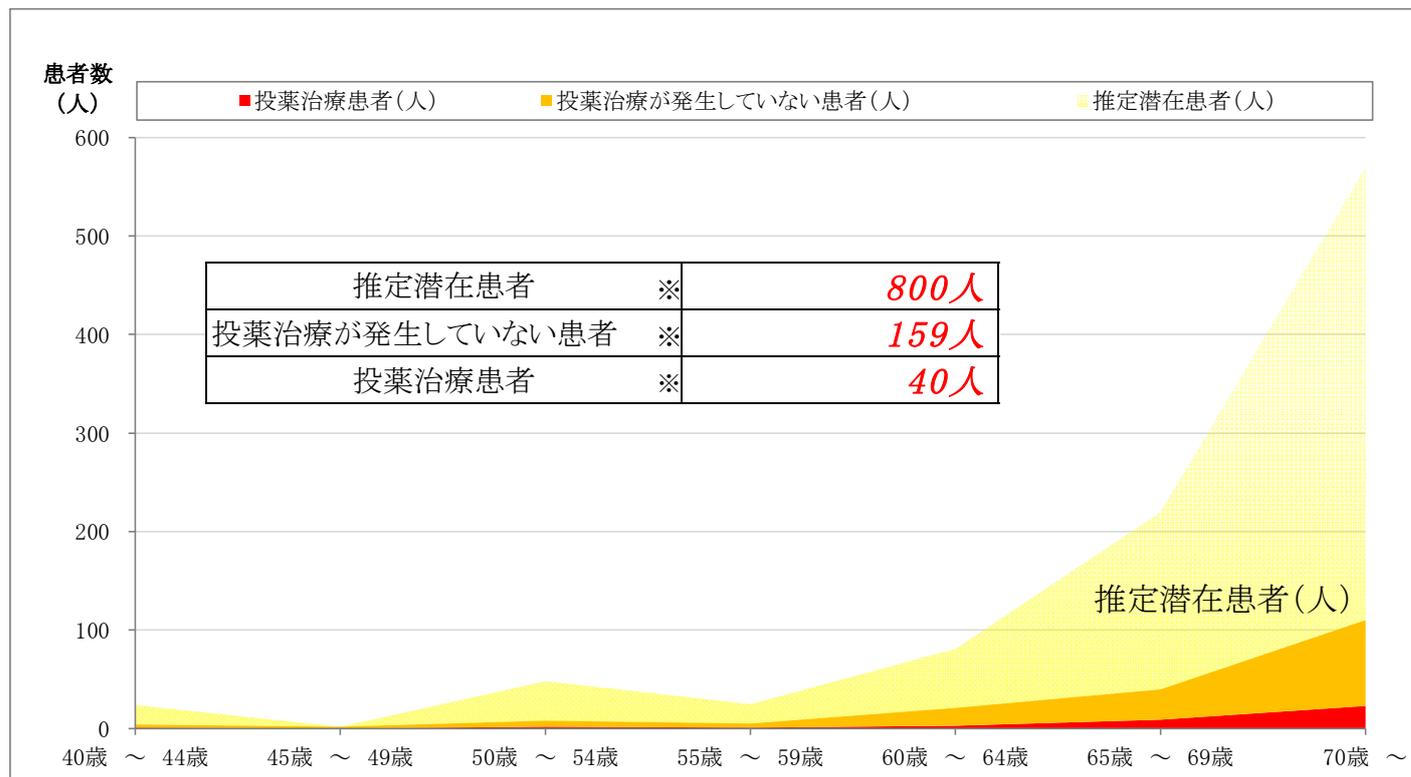
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数, 性・年齢階層×傷病小分類別)

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_listID=000001141596 (アクセス日: 令和4年3月31日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, *Respirology*. 2004Nov;9(4):458-65

以下のとおり、邑楽町国民健康保険におけるCOPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状

投薬治療患者40人と投薬が発生していない患者159人を合わせたCOPD患者全体199人の医療費を分析したところ、以下のとおりとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は105万円程度、このうちCOPD関連の医療費が5万円程度、COPD関連以外の医療費が100万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎にみると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

COPD患者全体の医療費平均

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,049,388
COPD関連	46,628
COPD関連以外	1,002,760

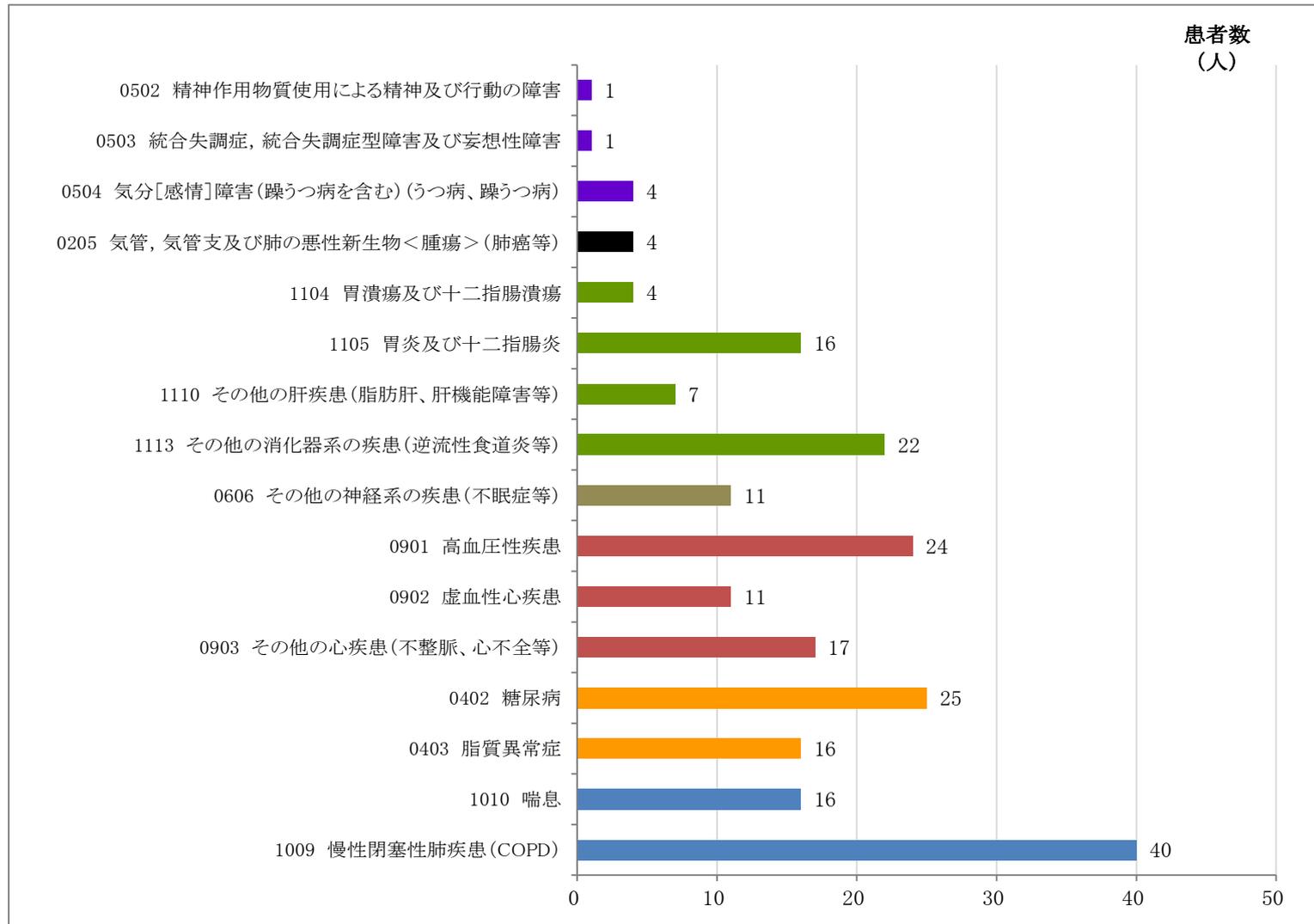
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者40人が併存している疾患を以下のとおり示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは40人のうち10.0%の4人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの全身併存症		肺の合併症
●全身性炎症	●骨粗鬆症	●喘息
●骨格筋機能障害・サルコペニア・フレイル	●心・血管疾患	●肺がん
●消化器疾患	●不安・抑うつ	●気腫合併肺線維症
●代謝性疾患		
●閉塞性睡眠時無呼吸(obstructive sleep apnea ; OSA)		

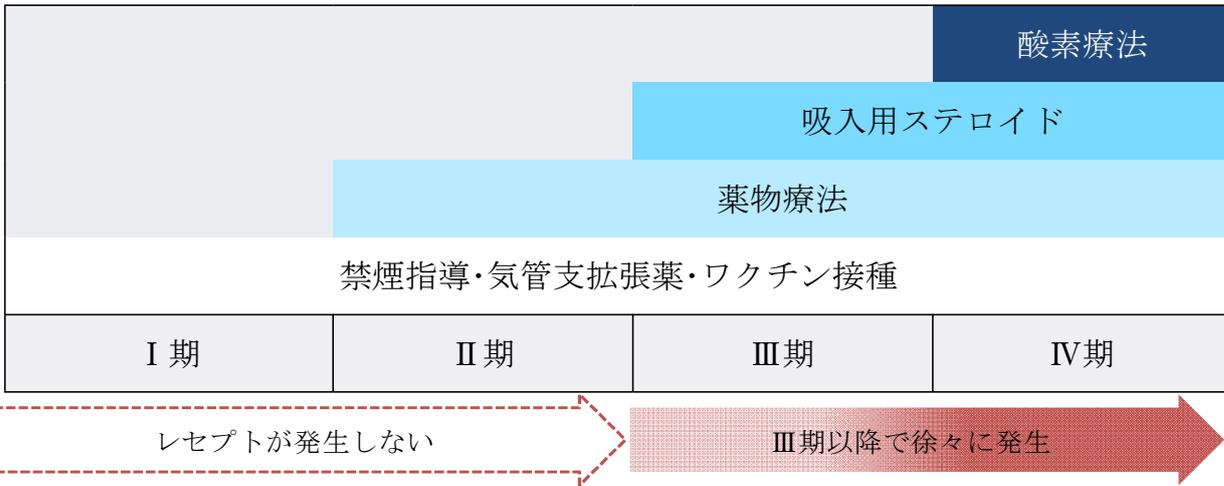
出典：日本呼吸器学会COPDガイドライン第5版作成委員会

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン2018[第5版]」

ISBN:978-4-7792-2074-6

COPDの病期は軽度のⅠ期から重度のⅣ期までであるが、Ⅰ期・Ⅱ期の段階ではレセプトはほとんど発生せず、Ⅲ期・Ⅳ期からレセプトが発生することが多い。これは早期に医療機関にかからず、重症化してからようやく医療機関にかかっていることを示している。

COPDの病期とレセプト発生状況



株式会社データホライゾン調べ

COPDの診断はスパイロメータ(呼吸機能を検査するための医療機器)による検査で行える。しかし、スパイロメータが設置されている医療機関は、呼吸器内科等ある程度限られているのが現状である。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトにおいて、スパイロメータの診療行為が発生している医療機関は26施設存在する。これらの医療機関と連携し、早期発見に向けた医療機関受診勧奨を行う必要がある。

(3) 早期発見に向けた啓発事業

「COPDの認知度及びCOPD患者の実態」及び「COPD患者の医療費と医療機関の現状」から、COPDの早期発見に向けて、啓発事業を実施することが効果的だと考える。

以下に示すのは、実施方法のフローである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者を特定する。これら対象者に対し、COPDの啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知書を送付する。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知書発送後、レセプトデータを確認し通知における効果を測定する。また、アンケートを送付し、現在の認知度調査、今後の事業展開の課題を明確にするアプローチも重要である。

11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて

(1) 薬剤併用禁忌分析

特定の薬剤の併用により、病状の悪化、深刻な副作用、効果の減少等の様々なリスクを引き起こす可能性がある。本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、併用禁忌となる薬剤の組み合わせをレセプトデータから分析する。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)で発生した併用禁忌は、267件、69人が該当する。主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	69
件数合計(件)	267

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200701	ケチアピン錠100mg「アメル」	15
2	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200801	ケチアピン錠200mg「アメル」	15
3	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170749	コントミン糖衣錠100mg	15
4	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	15
5	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620008158	リスベリドン錠3mg「サワイ」	15
6	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622200701	ケチアピン錠100mg「アメル」	15
7	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622200801	ケチアピン錠200mg「アメル」	15
8	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170749	コントミン糖衣錠100mg	15
9	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	15
10	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	620008158	リスベリドン錠3mg「サワイ」	15
11	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	9
12	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	9
13	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621498101	カフコデN配合錠	8
14	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	7
15	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	7
16	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	5
17	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
18	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
19	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
20	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	4
21	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	4
22	内服	622670101	ミネプロ錠1, 25mg	内服	620004902	アスパラカルウム錠300mg	3
23	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620160501	PL配合顆粒	2
24	内服	622556901	アセトアミノフェン錠300mg「マルイシ」	内服	622666801	トアラセット配合錠「オーハラ」	2
25	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	2
26	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	2
27	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	621498101	カフコデN配合錠	2
28	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622657101	トアラセット配合錠「トーワ」	2
29	内服	622671001	グルベス配合OD錠	内服	622338701	グリメピリドOD錠3mg「トーワ」	2
30	内服	622670201	ミネプロ錠2, 5mg	内服	620004902	アスパラカルウム錠300mg	2
31	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	1
32	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	1
33	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	1
34	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	1
35	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	621498101	カフコデN配合錠	1
36	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
37	内服	622661301	エレトリプタン錠20mg「サンド」	内服	622563201	リザトリプタンOD錠10mg「ファイザー」	1
38	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	1
39	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	1
40	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	1
41	内服	620002022	コロナール細粒20%	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
42	内服	620002022	コロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
43	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
44	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
45	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622661501	トアラセット配合錠「サンド」	1
46	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622657101	トアラセット配合錠「トーワ」	1
47	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622658501	トアラセット配合錠「日新」	1
48	内服	620006893	グルコンサンK細粒4mEq/g カリウム	内服	620005824	セララ錠25mg	1
49	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	622338701	グリメピリドOD錠3mg「トーワ」	1
50	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	621999701	グリメピリド錠1mg「YD」	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(2) 活用方法

患者がお薬手帳を持参しない場合、薬剤併用禁忌が発生しやすく、患者の健康被害につながる可能性がある。薬剤併用禁忌情報は、各医療機関側では把握しにくい情報であり、地域の情報が集まる保険者だからこそ捉えることができる情報といえる。保険者が薬剤併用禁忌情報を定期的に把握し、医療機関に情報提供することで、患者の健康被害防止につながる。また、情報提供を行うことで、地域の医師会・医療機関との連携の強化が期待できる。

12. 服薬情報通知事業

(1) 服薬に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすい。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等がある。複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要である。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は368人である。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層		対象者数(人)								合計	
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～		
被保険者数(人)		1,179	275	354	399	341	506	1,138	2,692	6,884	
薬剤種類数	2種類	8	2	2	0	4	5	9	38	68	
	3種類	11	2	4	7	1	5	24	60	114	
	4種類	11	1	4	8	0	11	32	68	135	
	5種類	10	3	1	2	3	8	24	55	106	
	6種類	2	3	3	7	4	9	25	51	104	
	7種類	3	0	1	5	7	5	20	29	70	
	8種類	3	0	6	2	1	7	15	22	56	
	9種類	1	0	2	2	1	0	6	17	29	
	10種類	1	0	1	1	2	5	5	21	36	
	11種類	1	0	1	2	0	0	3	8	15	
	12種類	0	0	1	1	3	1	3	10	19	
	13種類	0	0	2	0	2	1	4	9	18	
	14種類	0	0	0	1	0	0	0	4	5	
	15種類	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	16種類	0	1	0	2	0	0	1	1	5	
	17種類	0	0	0	1	1	0	0	1	3	
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19種類	0	0	1	0	0	1	0	1	3	
	20種類	0	0	1	0	0	1	0	1	3	
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計		51	12	30	41	29	59	171	398	791



長期多剤服薬者数(人)※	368
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日以上)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料: 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

また、長期多剤服薬者368人が被保険者全体に占める割合は5.3%、長期服薬者全体に占める割合は46.5%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	1,179	275	354	399	341	506	1,138	2,692	6,884
B	長期服薬者数(人)※	51	12	30	41	29	59	171	398	791
C	長期多剤服薬者数(人)※	11	4	19	24	21	30	82	177	368
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.9%	1.5%	5.4%	6.0%	6.2%	5.9%	7.2%	6.6%	5.3%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	21.6%	33.3%	63.3%	58.5%	72.4%	50.8%	48.0%	44.5%	46.5%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上 of 医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方 of 内服薬が6種類以上の人数。

(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトから長期多剤服薬対象者を特定し、通知書を発送する。発送後のレセプトを用いて、通知送付者の服薬状況から効果を確認する。

13. ロコモティブシンドローム対策事業

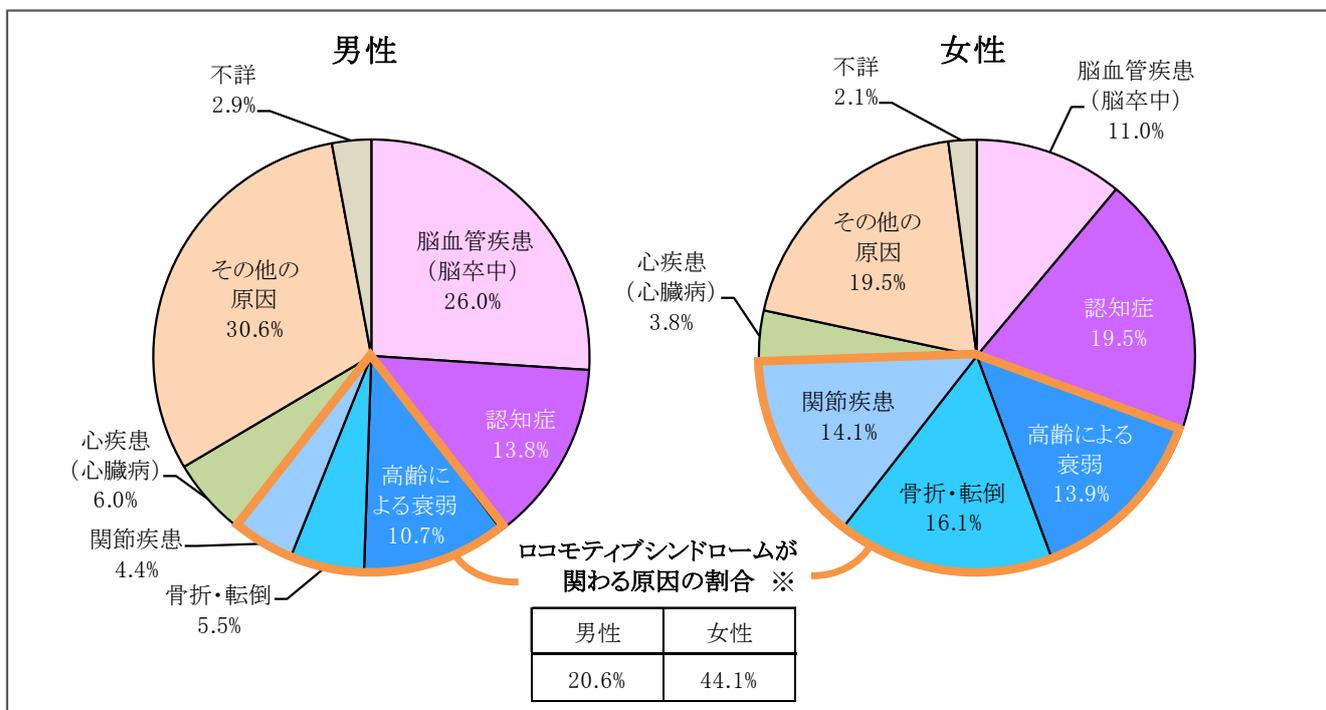
ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。ここでは全国における「ロコモティブシンドロームの現状」を示し、続いて邑楽町国民健康保険の「ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) ロコモティブシンドロームの現状

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、介護が必要となった主な原因において、ロコモティブシンドロームが関わる原因が多くを占めている。

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典: 厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」

※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 17.6	脳血管疾患(脳卒中) 16.1	高齢による衰弱 12.8
要支援者	関節疾患 18.9	高齢による衰弱 16.1	骨折・転倒 14.2
要支援1	関節疾患 20.3	高齢による衰弱 17.9	骨折・転倒 13.5
要支援2	関節疾患 17.5	骨折・転倒 14.9	高齢による衰弱 14.4
要介護者	認知症 24.3	脳血管疾患(脳卒中) 19.2	骨折・転倒 12.0
要介護1	認知症 29.8	脳血管疾患(脳卒中) 14.5	高齢による衰弱 13.7
要介護2	認知症 18.7	脳血管疾患(脳卒中) 17.8	骨折・転倒 13.5
要介護3	認知症 27.0	脳血管疾患(脳卒中) 24.1	骨折・転倒 12.1
要介護4	脳血管疾患(脳卒中) 23.6	認知症 20.2	骨折・転倒 15.1
要介護5	脳血管疾患(脳卒中) 24.7	認知症 24.0	高齢による衰弱 8.9

出典: 厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」

(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

邑楽町国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数及びロコモティブシンドローム原因疾患医療費を示す。40歳以上の男女が対象者である。

ロコモティブシンドローム原因疾患患者数及び医療費

ロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数(人)	1,221
ロコモティブシンドローム原因疾患医療費(円)	99,738,756

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

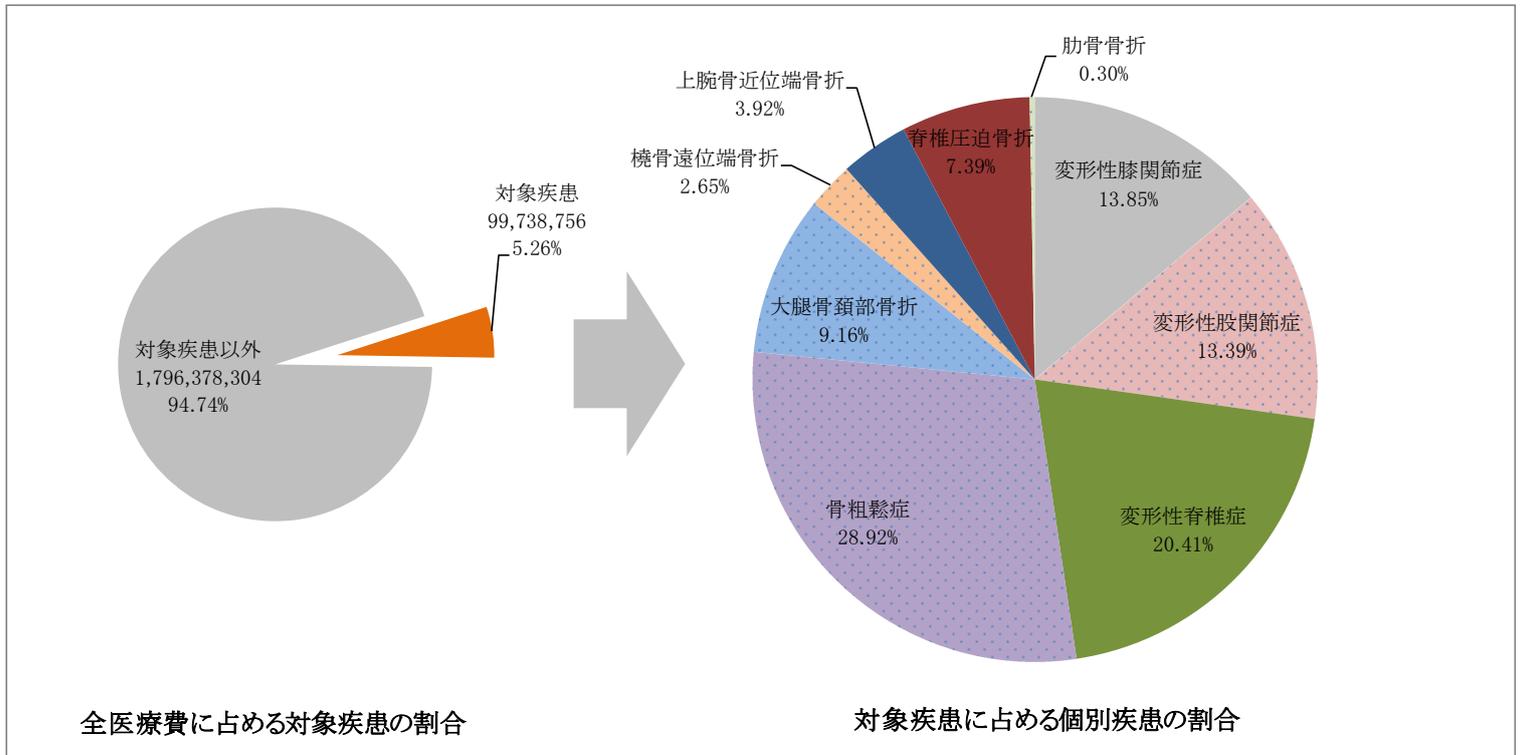
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿骨頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

次に、ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約5.26%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



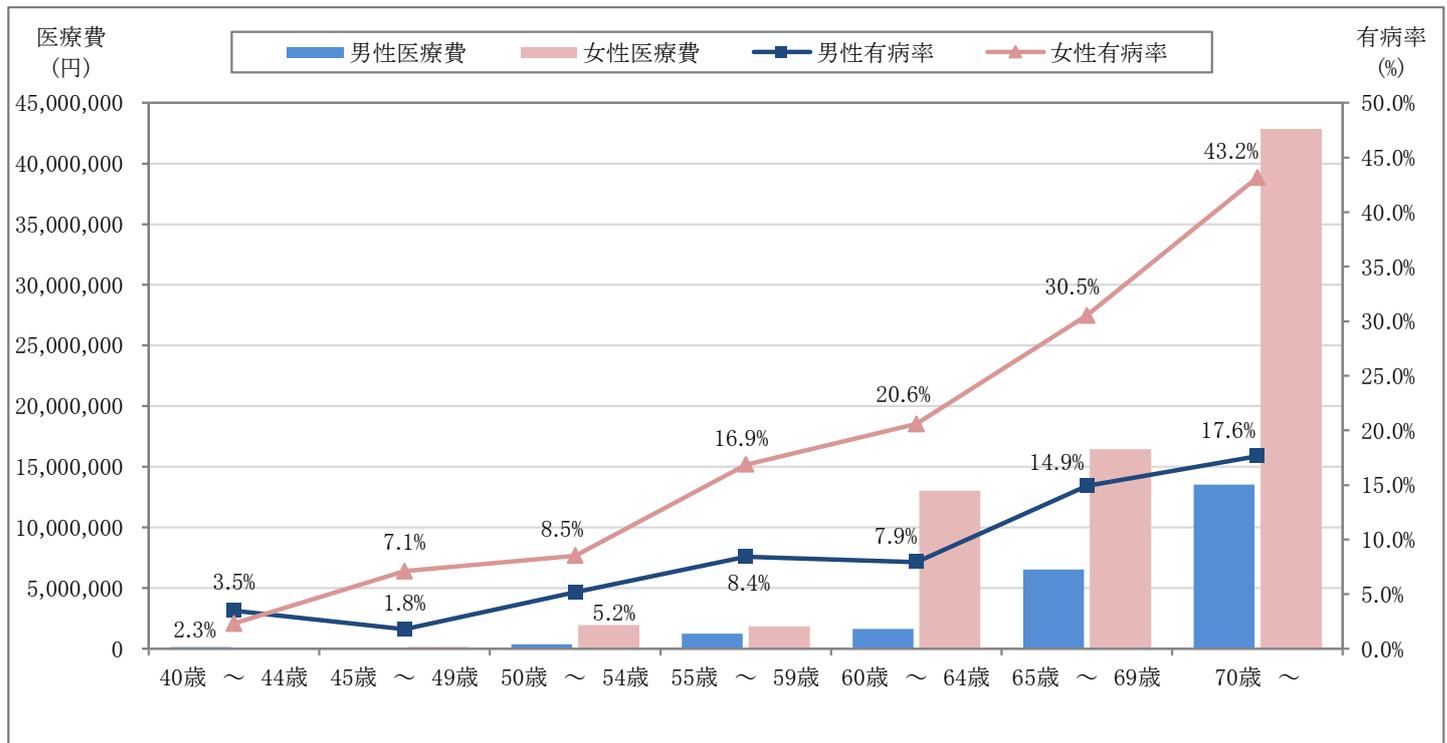
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 適切な指導実施方法の確立

データ分析会社への業者委託を前提とした実施例を、ひとつの方法として説明する。指導実施方法のフローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は受領したデータからロコモティブシンドローム対策事業に適切な対象者を特定する。保険者はこれら対象者に対し、本事業の案内及び運動機能測定会への参加を促す通知を行い、測定会を実施する。測定会参加者は自宅にて3カ月間、ロコモティブシンドローム対策の簡易な運動を実施する。運動期間終了後、保険者は終了測定会を実施し、その結果を分析会社に提出する。データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、測定会の参加者数より測定会参加率を算出する。また、自宅での運動実施者について、測定会における数値を基に運動機能改善率を算出する。さらに、レセプトを使用し、自宅での運動実施者と非実施者の翌年度における原因疾患医療費を確認する。

第3章 保健事業の費用対効果

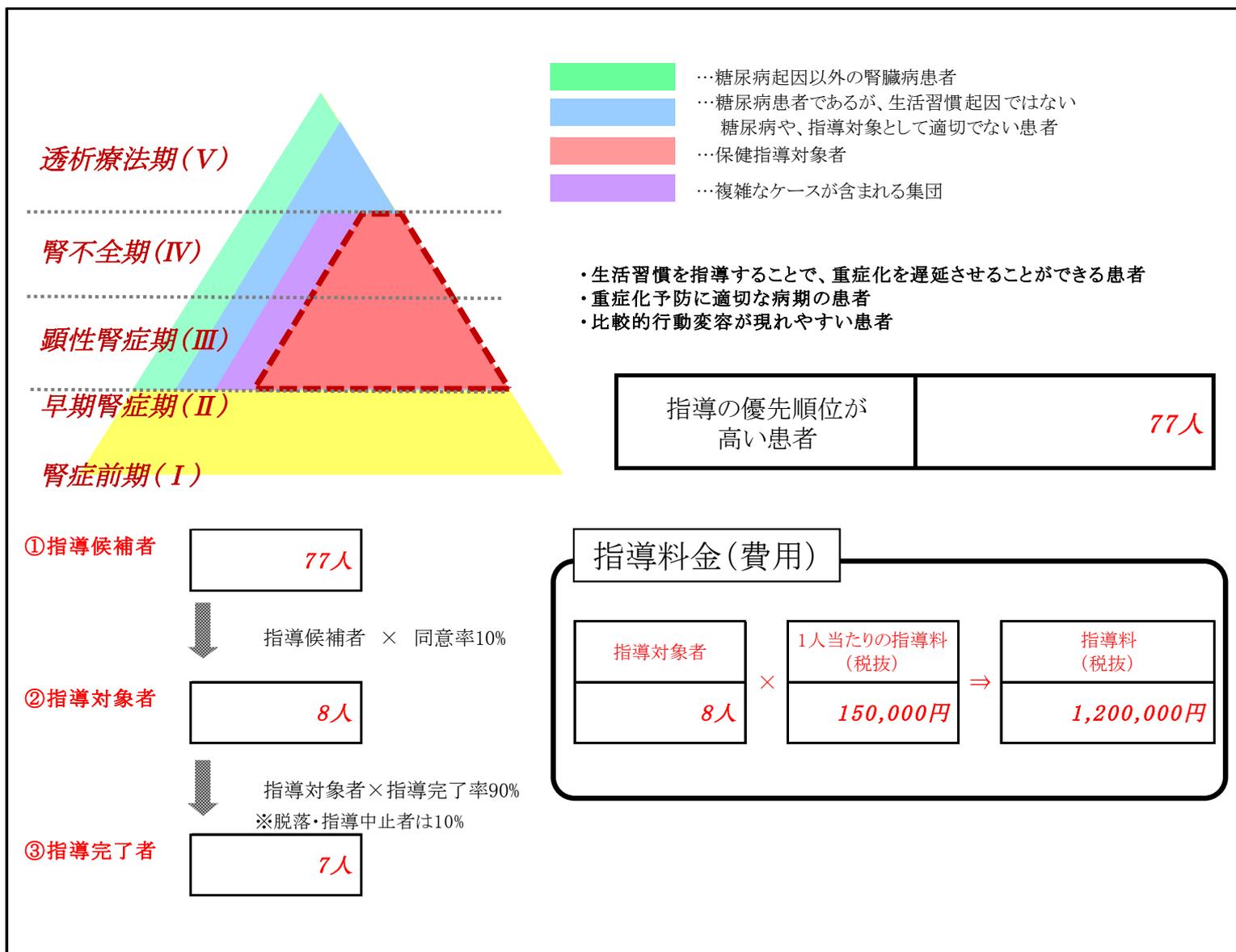
1. 糖尿病性腎症重症化予防事業

「第2章4. 糖尿病性腎症重症化予防事業」について、費用と効果金額を算出する。

費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における糖尿病性腎症重症化予防の適切な指導対象者は、8人となった。一人当たりの指導料は15万円のため、8人に対して指導を行うと指導料金(費用)は120万円となる。

費用(糖尿病性腎症重症化予防)



※記載の金額は、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な金額である。

※「対象者の特定」「効果測定」等は別途費用が必要となる。

※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。1年間で重症化する患者数割合を用い、重症化予防をした場合としなかった場合の今後10年間の医療費をシミュレーションをすると、重症化予防をしない場合、10年間の医療費合計は5,363万円となる。指導目標(75%阻止)を達成した場合2,639万円の医療費合計となり、この事業の削減効果額は、2,724万円となる。

効果(糖尿病性腎症重症化予防)

③指導完了者

7人

今後10年間の医療費 削減効果額シミュレーション

	重症化阻止率	指標	10年間の医療費合計(円)	重症化予防しなかった場合との差額: 削減効果額(円)
重症化予防しなかった場合	0%阻止		53,630,000	
重症化予防し病期の進行を阻止した場合	25%阻止		43,690,000	9,940,000
	50%阻止	保守的効果	34,470,000	19,160,000
	75%阻止	指導目標	26,390,000	27,240,000
	94%阻止 ※	過去実績	21,340,000	32,290,000
	100%阻止		20,000,000	33,630,000

※94%阻止…平成22年度～平成25年度までの4カ年分の重症化予防実績より試算



～その他の効果～

- ・患者のQOL維持、仕事を継続できる等の効果
- ・患者の家族への負担軽減

また、その他の効果として、指導対象者のQOL維持や、対象者家族への負担軽減もある。

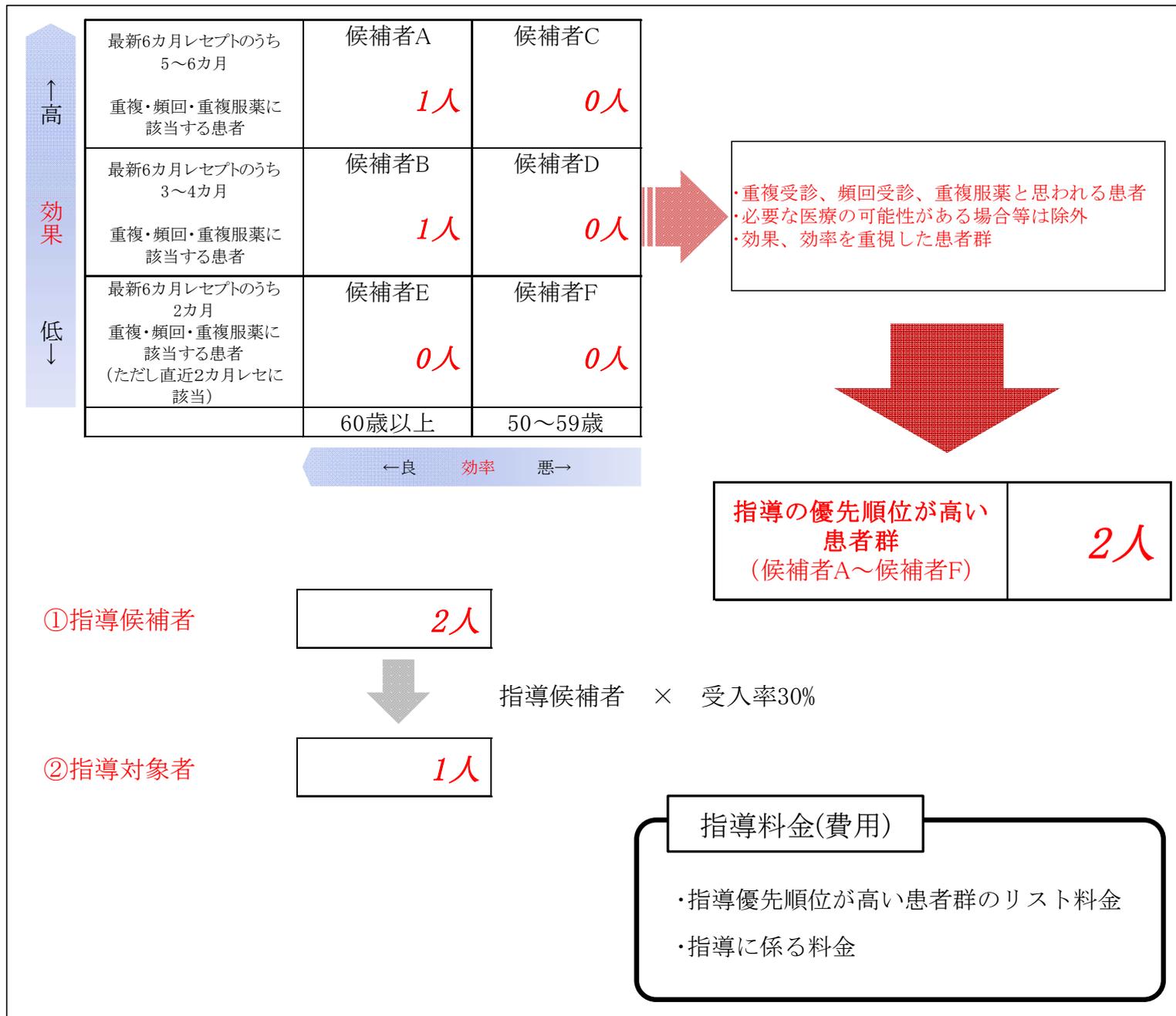
2. 受診行動適正化指導事業

「第2章8. 受診行動適正化指導事業」について、費用対効果を算出する。

費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における、受診行動適正化指導の適切な指導候補者は2人となった(①)。指導同意率の実績は30%であり、実際に訪問指導できる指導対象者は1人(②)と予測する。費用は1人に対する指導料となる。

費用(受診行動適正化)



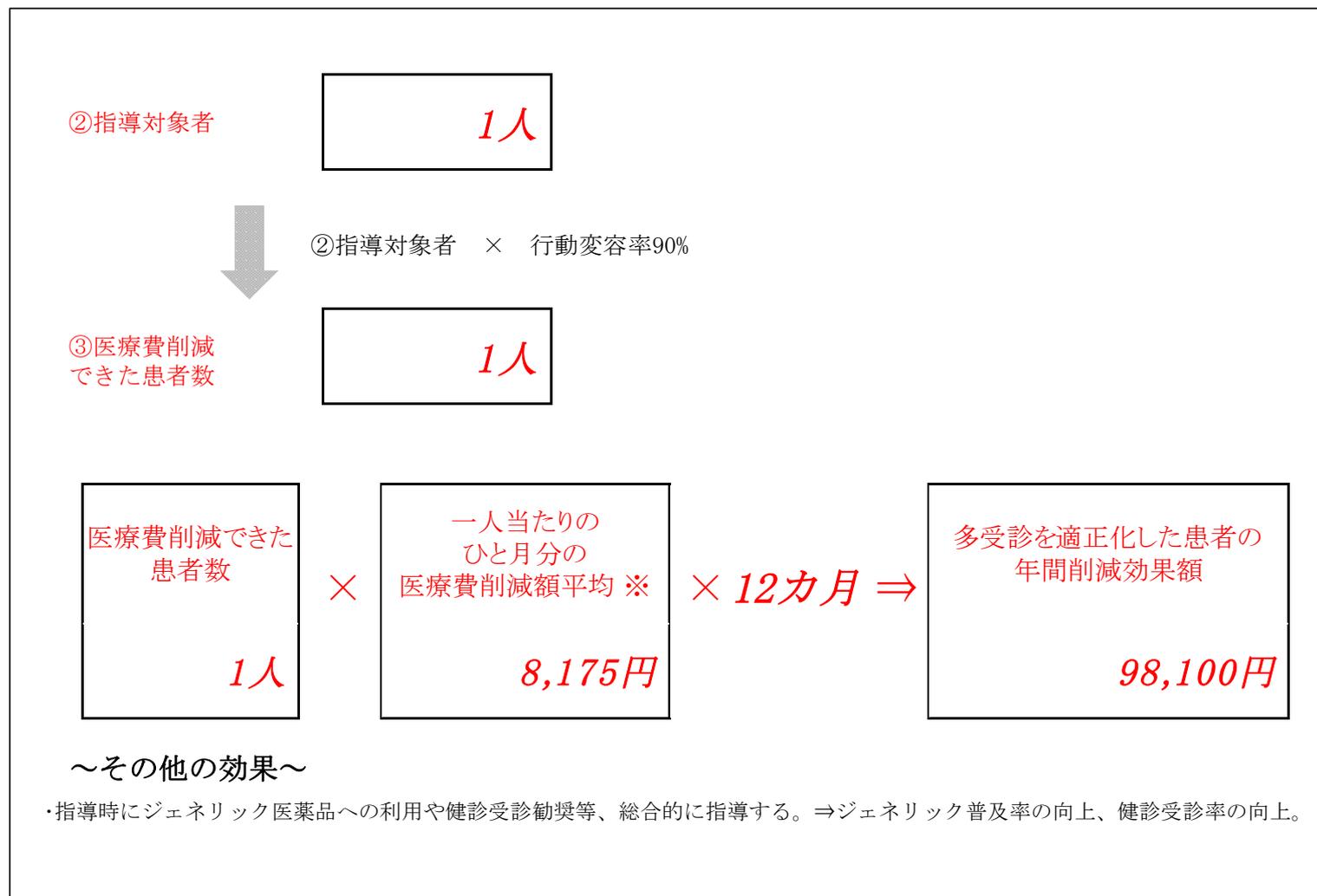
※「効果測定」等は別途費用が必要となる。

※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。指導対象者の多受診傾向が緩和する行動変容率の実績は90%であり、指導対象者1人(②)のうち医療費が削減できる患者は1人(③)と予測する。

よって、この事業の効果金額は、医療費が削減できる患者数1人(③)に、「一人当たりのひと月分の医療費削減額平均」の8,175円と、1年間分としての12を乗じた10万円程度となる。

効果(受診行動適正化)



※一人当たりのひと月分の医療費削減額平均…実績から算出した、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な削減額。

また、その他の効果として、訪問指導時にはジェネリック医薬品についての情報提供や健康診査受診の勧奨等、総合的な指導を行うため、ジェネリック医薬品普及率の向上や健診受診率の向上も期待できる。

第4章 医療費等統計

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均6,203人、レセプト件数は平均8,044件、患者数は平均3,395人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均50,046円となった。

基礎統計

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	
A	被保険者数(人)	6,483	6,393	6,355	6,333	6,242	6,229	6,204	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,042	4,756	4,970	4,937	4,871	4,886	4,817
		入院	118	117	122	101	95	102	95
		調剤	3,272	3,071	3,191	3,143	3,119	3,148	3,072
		合計	8,432	7,944	8,283	8,181	8,085	8,136	7,984
C	医療費(円) ※	166,900,940	204,678,470	184,855,650	169,716,730	175,472,630	161,839,210	165,735,040	
D	患者数(人) ※	3,557	3,446	3,469	3,484	3,434	3,423	3,384	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,744	32,016	29,088	26,799	28,112	25,982	26,714	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	19,794	25,765	22,317	20,745	21,703	19,892	20,758	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,922	59,396	53,288	48,713	51,099	47,280	48,976	
D/A	有病率(%)	54.9%	53.9%	54.6%	55.0%	55.0%	55.0%	54.5%	
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.80	0.76	0.80	0.80	0.80	0.80	0.79	
	一件当たりの日数(日) ※	1.65	1.71	1.69	1.68	1.63	1.63	1.69	
	一日当たりの医療費(円) ※	19,555	24,498	21,465	20,023	21,669	19,941	20,009	

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	6,117	6,084	6,035	5,990	5,969	6,203		
B	レセプト件数(件)	入院外	4,843	4,759	4,496	4,369	4,880	4,802	57,626
		入院	90	90	85	85	94	100	1,194
		調剤	3,168	3,229	3,027	2,964	3,301	3,142	37,705
		合計	8,101	8,078	7,608	7,418	8,275	8,044	96,525
C	医療費(円) ※	157,581,890	166,111,850	163,586,250	147,007,970	175,269,700	169,896,361	2,038,756,330	
D	患者数(人) ※	3,394	3,345	3,234	3,173	3,395	3,395	40,738	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,761	27,303	27,106	24,542	29,363	27,390		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	19,452	20,563	21,502	19,818	21,181	21,122		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,430	49,660	50,583	46,331	51,626	50,046		
D/A	有病率(%)	55.5%	55.0%	53.6%	53.0%	56.9%	54.7%		
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.81	0.80	0.76	0.74	0.83			
	一件当たりの日数(日) ※	1.63	1.66	1.60	1.61	1.65			
	一日当たりの医療費(円) ※	19,549	20,684	22,320	20,518	21,369			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)について、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に以下に示す。

受診率は被保険者一人当たりのレセプト件数である。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなる。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受ける。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表す。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

		入院	入院外	全体
被保険者一人当たりの医療費(円)		96,912	182,906	279,818
三要素	受診率(件/人) ※	0.16	7.91	8.07
	一件当たりの日数(日) ※	13.45	1.41	1.65
	一日当たりの医療費(円) ※	43,977	16,411	20,961

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下のとおり年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示す。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A	B				C	D
	被保険者数(人)	レセプト件数(件)				医療費(円) ※	患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳～4歳	106	678	8	454	1,140	15,934,890	97
5歳～9歳	121	645	1	372	1,018	7,672,890	106
10歳～14歳	131	710	10	400	1,120	12,803,500	113
15歳～19歳	187	501	3	242	746	8,930,700	120
20歳～24歳	267	602	16	338	956	17,202,880	140
25歳～29歳	312	599	15	325	939	20,091,390	149
30歳～34歳	253	658	24	393	1,075	30,955,100	134
35歳～39歳	300	955	19	622	1,596	25,954,550	160
40歳～44歳	303	1,336	16	870	2,222	52,324,350	189
45歳～49歳	392	2,116	65	1,382	3,563	84,866,240	258
50歳～54歳	408	2,499	57	1,625	4,181	110,914,750	297
55歳～59歳	350	2,404	41	1,631	4,076	96,112,560	262
60歳～64歳	520	3,994	136	2,773	6,903	193,913,650	428
65歳～69歳	1,165	11,745	212	7,884	19,841	405,414,290	1,008
70歳～	2,471	28,184	571	18,394	47,149	955,664,590	2,272
合計	7,286	57,626	1,194	37,705	96,525	2,038,756,330	5,733

年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳～4歳	150,329	13,978	164,277	91.5%	6.47	1.54	15,104
5歳～9歳	63,412	7,537	72,386	87.6%	5.34	1.29	9,178
10歳～14歳	97,737	11,432	113,305	86.3%	5.50	1.39	12,778
15歳～19歳	47,758	11,971	74,423	64.2%	2.70	1.28	13,825
20歳～24歳	64,430	17,995	122,878	52.4%	2.31	1.86	14,998
25歳～29歳	64,395	21,397	134,842	47.8%	1.97	1.69	19,412
30歳～34歳	122,352	28,795	231,008	53.0%	2.70	1.99	22,778
35歳～39歳	86,515	16,262	162,216	53.3%	3.25	1.36	19,603
40歳～44歳	172,688	23,548	276,848	62.4%	4.46	1.90	20,376
45歳～49歳	216,496	23,819	328,939	65.8%	5.56	1.92	20,318
50歳～54歳	271,850	26,528	373,450	72.8%	6.26	1.96	22,134
55歳～59歳	274,607	23,580	366,842	74.9%	6.99	1.83	21,487
60歳～64歳	372,911	28,091	453,069	82.3%	7.94	2.11	22,261
65歳～69歳	347,995	20,433	402,197	86.5%	10.26	1.54	22,024
70歳～	386,752	20,269	420,627	91.9%	11.64	1.58	20,999
合計	279,818	21,122	355,618	78.7%	8.07	1.65	20,961

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

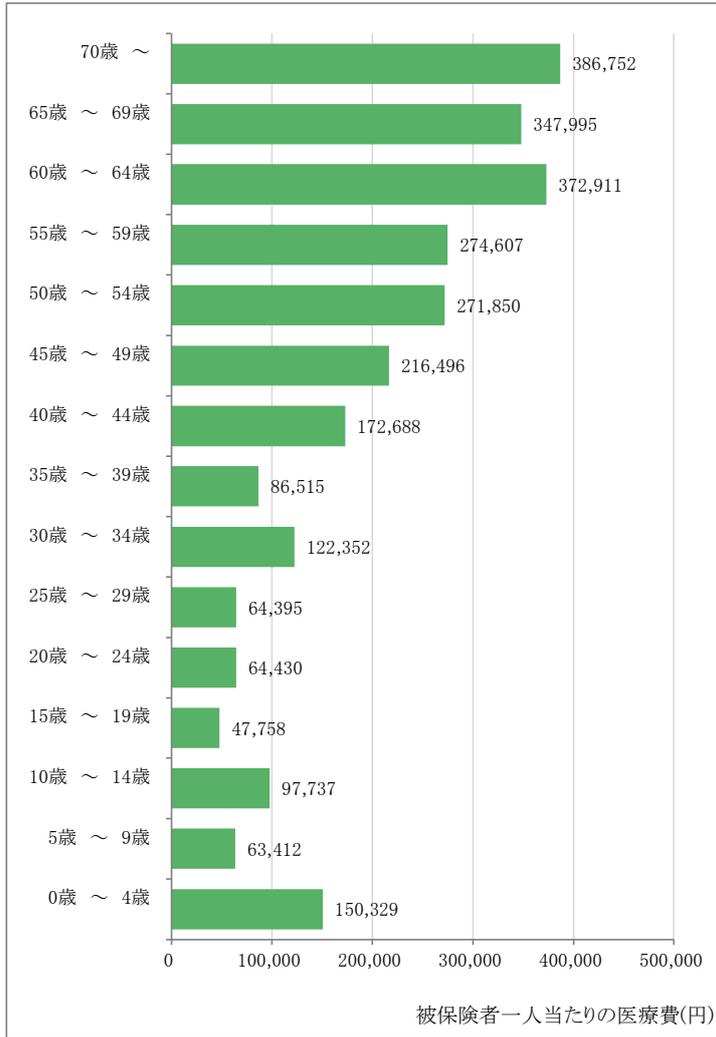
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

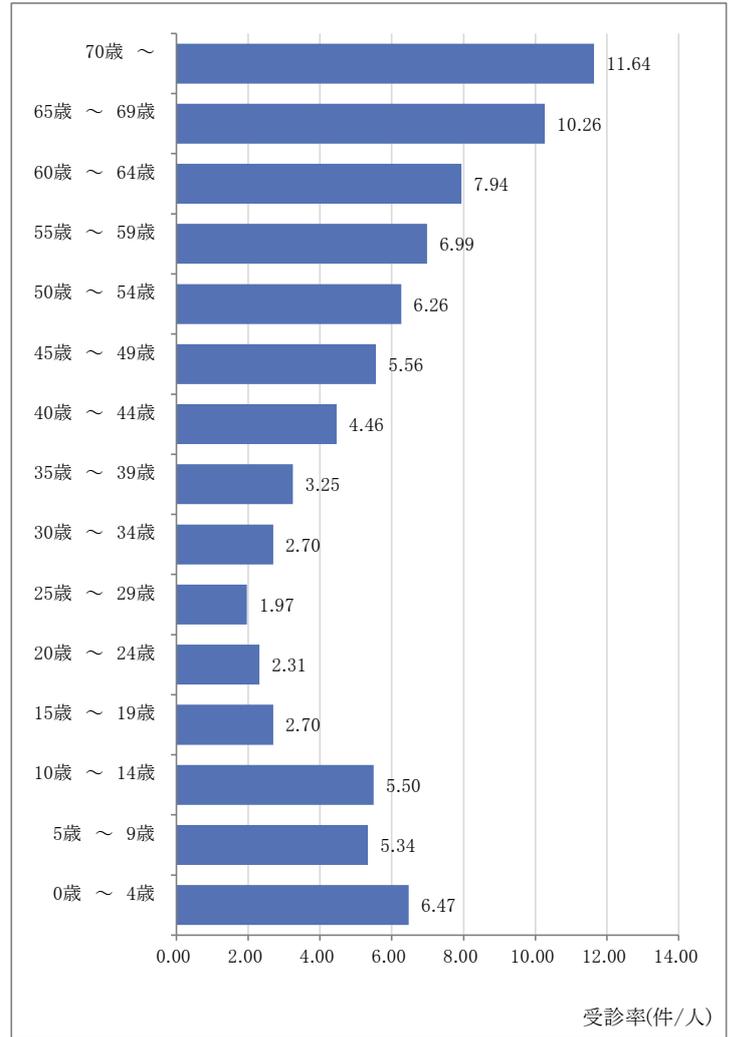
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示す。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

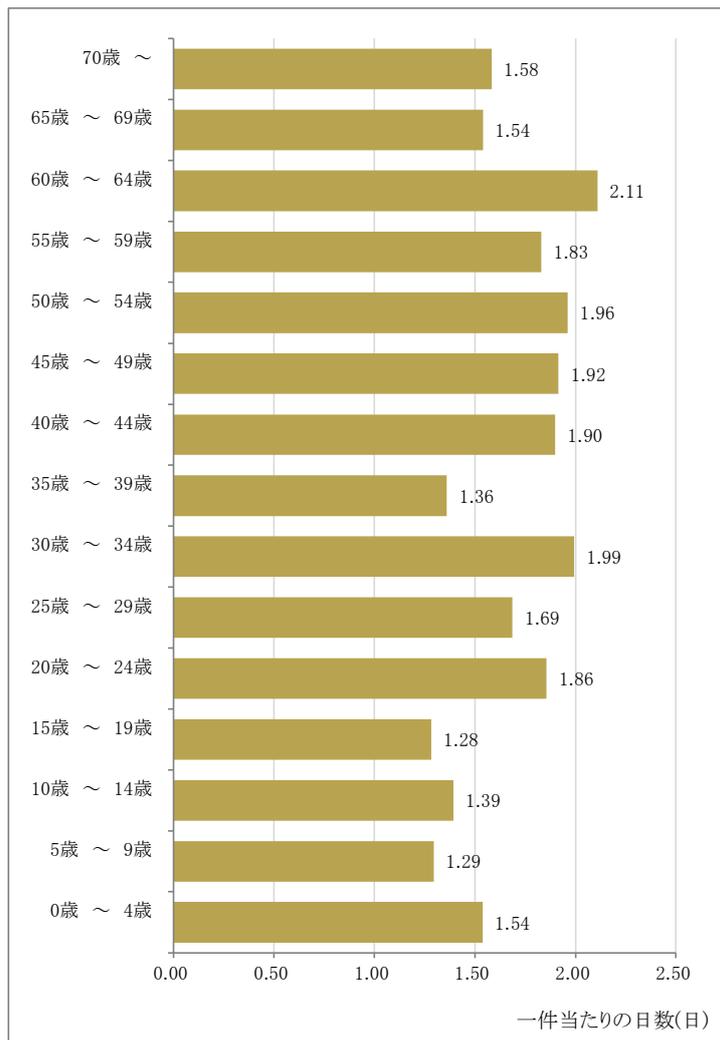


年齢階層別 受診率

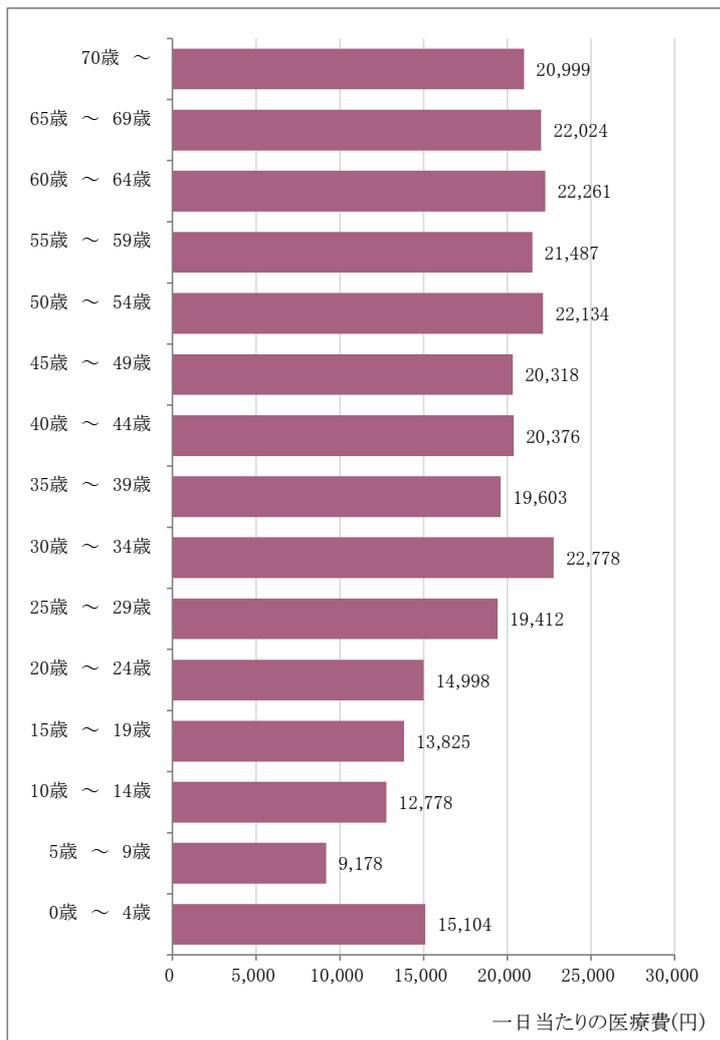


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトの件数及び医療費

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計した。高額レセプトは月間平均57件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均5,469万円程度となり、医療費全体の32.2%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月
A	レセプト件数(件)	8,432	7,944	8,283	8,181	8,085	8,136	7,984
B	高額レセプト件数(件)	57	73	75	45	59	39	62
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.9%	0.9%	0.6%	0.7%	0.5%	0.8%
C	医療費全体(円) ※	166,900,940	204,678,470	184,855,650	169,716,730	175,472,630	161,839,210	165,735,040
D	高額レセプトの医療費(円) ※	46,522,790	90,213,280	70,655,510	46,518,880	60,482,680	38,649,360	52,887,860
E	その他レセプトの医療費(円) ※	120,378,150	114,465,190	114,200,140	123,197,850	114,989,950	123,189,850	112,847,180
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.9%	44.1%	38.2%	27.4%	34.5%	23.9%	31.9%

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	8,101	8,078	7,608	7,418	8,275	8,044	96,525
B	高額レセプト件数(件)	48	59	58	52	59	57	686
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	
C	医療費全体(円) ※	157,581,890	166,111,850	163,586,250	147,007,970	175,269,700	169,896,361	2,038,756,330
D	高額レセプトの医療費(円) ※	43,635,830	54,743,120	53,832,420	42,693,540	55,409,470	54,687,062	656,244,740
E	その他レセプトの医療費(円) ※	113,946,060	111,368,730	109,753,830	104,314,430	119,860,230	115,209,299	1,382,511,590
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.7%	33.0%	32.9%	29.0%	31.6%	32.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

(2) 高額レセプトの年齢階層別統計

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	0	2,266,750	2,266,750	0.3%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	2,795,100	2,795,100	0.4%
15歳～19歳	0	0	0	0.0%
20歳～24歳	0	8,440,350	8,440,350	1.3%
25歳～29歳	0	3,649,390	3,649,390	0.6%
30歳～34歳	0	14,888,600	14,888,600	2.3%
35歳～39歳	1,620,950	2,874,960	4,495,910	0.7%
40歳～44歳	1,544,590	7,091,990	8,636,580	1.3%
45歳～49歳	4,058,560	21,977,340	26,035,900	4.0%
50歳～54歳	3,090,270	32,701,930	35,792,200	5.5%
55歳～59歳	4,020,080	17,076,540	21,096,620	3.2%
60歳～64歳	14,384,920	48,555,240	62,940,160	9.6%
65歳～69歳	26,781,680	122,591,250	149,372,930	22.8%
70歳～	69,474,150	246,360,100	315,834,250	48.1%
合計	124,975,200	531,269,540	656,244,740	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	0	2	2	0.6%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	3	3	0.9%
15歳～19歳	0	0	0	0.0%
20歳～24歳	0	2	2	0.6%
25歳～29歳	0	3	3	0.9%
30歳～34歳	0	4	4	1.2%
35歳～39歳	2	2	3	0.9%
40歳～44歳	1	5	6	1.8%
45歳～49歳	2	10	12	3.5%
50歳～54歳	4	19	22	6.5%
55歳～59歳	3	11	13	3.8%
60歳～64歳	7	26	31	9.1%
65歳～69歳	8	66	71	20.9%
70歳～	31	146	167	49.3%
合計	58	299	339	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳 ～ 4歳	0	2	2	0.3%
5歳 ～ 9歳	0	0	0	0.0%
10歳 ～ 14歳	0	4	4	0.6%
15歳 ～ 19歳	0	0	0	0.0%
20歳 ～ 24歳	0	13	13	1.9%
25歳 ～ 29歳	0	5	5	0.7%
30歳 ～ 34歳	0	17	17	2.5%
35歳 ～ 39歳	3	4	7	1.0%
40歳 ～ 44歳	2	7	9	1.3%
45歳 ～ 49歳	7	27	34	5.0%
50歳 ～ 54歳	5	35	40	5.8%
55歳 ～ 59歳	5	19	24	3.5%
60歳 ～ 64歳	20	53	73	10.6%
65歳 ～ 69歳	35	112	147	21.4%
70歳 ～	86	225	311	45.3%
合計	163	523	686	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下のとおり示す。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「重症急性呼吸器症候群 [SARS]」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「その他の循環器系の疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	重症急性呼吸器症候群	1	18,064,540	41,100	18,105,640	18,105,640
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,172,200	0	7,172,200	7,172,200
3	0912	その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤, 外腸骨動脈閉塞症	2	10,857,960	2,419,450	13,277,410	6,638,705
4	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 噴門癌	6	5,405,760	27,691,930	33,097,690	5,516,282
5	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌	2	632,810	9,809,970	10,442,780	5,221,390
6	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	3	13,854,400	805,840	14,660,240	4,886,747
7	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全, 末期腎不全	8	12,041,770	26,496,060	38,537,830	4,817,229
8	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	1	0	4,726,720	4,726,720	4,726,720
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	呼吸不全, 特発性器質性肺炎, 慢性呼吸不全	7	27,442,310	3,699,500	31,141,810	4,448,830
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺腺癌, 上葉肺癌, 上葉肺腺癌	12	24,776,690	25,816,500	50,593,190	4,216,099
11	0208	悪性リンパ腫	Tリンパ芽球性リンパ腫, 悪性リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	3	6,632,570	5,600,010	12,232,580	4,077,527
12	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, 分類不能の骨髄異形成及び骨髄増殖性腫瘍	5	13,615,200	5,506,230	19,121,430	3,824,286
13	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵体部癌, 膵頭部癌	33	52,428,500	69,012,170	121,440,670	3,680,020
14	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症, 統合失調感情障害	20	65,480,490	7,404,590	72,885,080	3,644,254
15	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症, 敗血症性ショック, MRSA敗血症	3	10,306,500	525,070	10,831,570	3,610,523
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	6	12,185,280	7,218,900	19,404,180	3,234,030
17	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 持続性心房細動	18	49,727,880	7,028,760	56,756,640	3,153,147
18	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	3	7,826,980	1,561,680	9,388,660	3,129,553
19	1307	その他の脊柱障害	脊柱側弯症	1	2,755,110	174,970	2,930,080	2,930,080
20	1602	その他の周産期に発生した病態	新生児呼吸障害	1	1,995,020	860,350	2,855,370	2,855,370

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示す。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝体部癌, 膝頭部癌	33	52,428,500	69,012,170	121,440,670	3,680,020
2	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 上腕骨近位端骨折, 腰椎圧迫骨折	24	40,805,380	7,586,910	48,392,290	2,016,345
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症, 統合失調感情障害	20	65,480,490	7,404,590	72,885,080	3,644,254
4	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 持続性心房細動	18	49,727,880	7,028,760	56,756,640	3,153,147
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺腺癌, 上葉肺癌, 上葉肺腺癌	12	24,776,690	25,816,500	50,593,190	4,216,099
5	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房上内側部乳癌	12	13,688,310	16,992,840	30,681,150	2,556,763
5	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 総胆管結石, 胆石性胆のう炎	12	11,194,200	3,796,130	14,990,330	1,249,194
8	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 虚血性心筋症	11	22,767,350	4,881,920	27,649,270	2,513,570
9	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	硬膜内髄外脊髄腫瘍, 頭蓋咽頭腫, 肺腫瘍	10	8,823,520	3,112,480	11,936,000	1,193,600
9	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞, 多発性脳梗塞	10	15,620,630	1,466,420	17,087,050	1,708,705
11	1113	その他の消化器系の疾患	S状結腸憩室穿孔, クロウン病, 潰瘍性大腸炎	9	9,423,200	9,241,800	18,665,000	2,073,889
11	1302	関節症	変形性股関節症, 一側性形成不全性変形性股関節症, 変形性膝関節症	9	18,224,620	2,668,840	20,893,460	2,321,496
13	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全, 末期腎不全	8	12,041,770	26,496,060	38,537,830	4,817,229
14	1011	その他の呼吸器系の疾患	呼吸不全, 特発性器質化肺炎, 慢性呼吸不全	7	27,442,310	3,699,500	31,141,810	4,448,830
14	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 変形性頸椎症, 変形性腰椎症	7	16,821,530	1,863,080	18,684,610	2,669,230
16	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 噴門癌	6	5,405,760	27,691,930	33,097,690	5,516,282
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	6	12,185,280	7,218,900	19,404,180	3,234,030
16	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	人工股関節周囲骨折, 上腕骨頭壊死, ANCA関連血管炎	6	12,110,460	3,864,790	15,975,250	2,662,542
16	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 下腿切断, 前十字靭帯損傷	6	9,900,650	1,491,230	11,391,880	1,898,647
20	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 盲腸癌	5	5,021,260	6,680,340	11,701,600	2,340,320

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 大分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の17.9%を占めている。「循環器系の疾患」は医療費合計の13.8%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の10.0%と高い割合を占めている。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「周産期に発生した病態」「新生物<腫瘍>」「精神及び行動の障害」等である。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	45,699,291	2.2%	12	6,053	13	1,580	10	28,924	17
II. 新生物<腫瘍>	364,393,866	17.9%	1	6,832	12	1,638	9	222,463	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	27,592,185	1.4%	16	3,266	15	794	16	34,751	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	203,732,870	10.0%	3	36,090	2	3,137	1	64,945	10
V. 精神及び行動の障害	130,491,203	6.4%	7	9,733	8	814	15	160,309	3
VI. 神経系の疾患	109,371,787	5.4%	9	15,373	5	1,406	11	77,789	7
VII. 眼及び付属器の疾患	78,368,764	3.9%	10	9,722	9	2,096	6	37,390	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,254,476	0.3%	18	1,636	18	469	17	13,336	22
IX. 循環器系の疾患	281,734,484	13.8%	2	38,917	1	3,035	2	92,828	6
X. 呼吸器系の疾患	120,663,463	5.9%	8	15,136	6	2,679	4	45,040	13
X I. 消化器系の疾患 ※	136,275,862	6.7%	6	24,801	3	2,721	3	50,083	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	37,065,785	1.8%	14	10,310	7	1,990	7	18,626	21
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	173,961,958	8.5%	4	20,747	4	2,509	5	69,335	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	154,523,137	7.6%	5	8,195	11	1,391	12	111,088	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,483,431	0.2%	19	55	21	24	20	145,143	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,651,114	0.1%	21	15	22	6	22	441,852	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,016,842	0.1%	20	326	19	74	19	40,768	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,642,443	1.9%	13	9,541	10	1,864	8	20,731	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	77,889,602	3.8%	11	3,729	14	1,116	14	69,794	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9,004,788	0.4%	17	2,166	17	381	18	23,635	18
X X II. 特殊目的用コード	29,224,030	1.4%	15	2,938	16	1,370	13	21,331	19
分類外	1,296,209	0.1%	22	59	20	20	21	64,810	11
合計	2,035,337,590			96,140		5,717		356,015	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

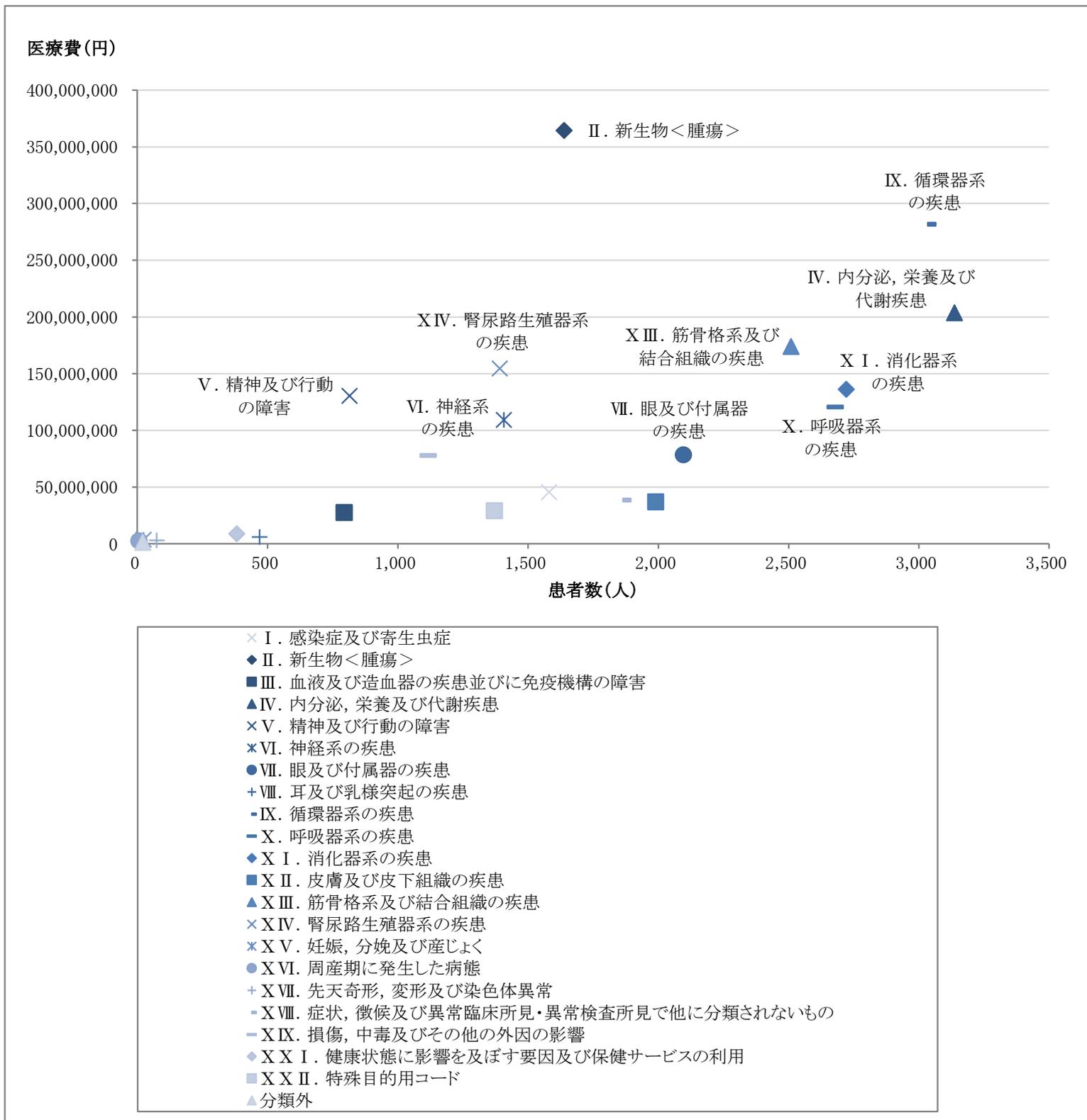
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下のとおり疾病項目毎の医療費、及び患者数を示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

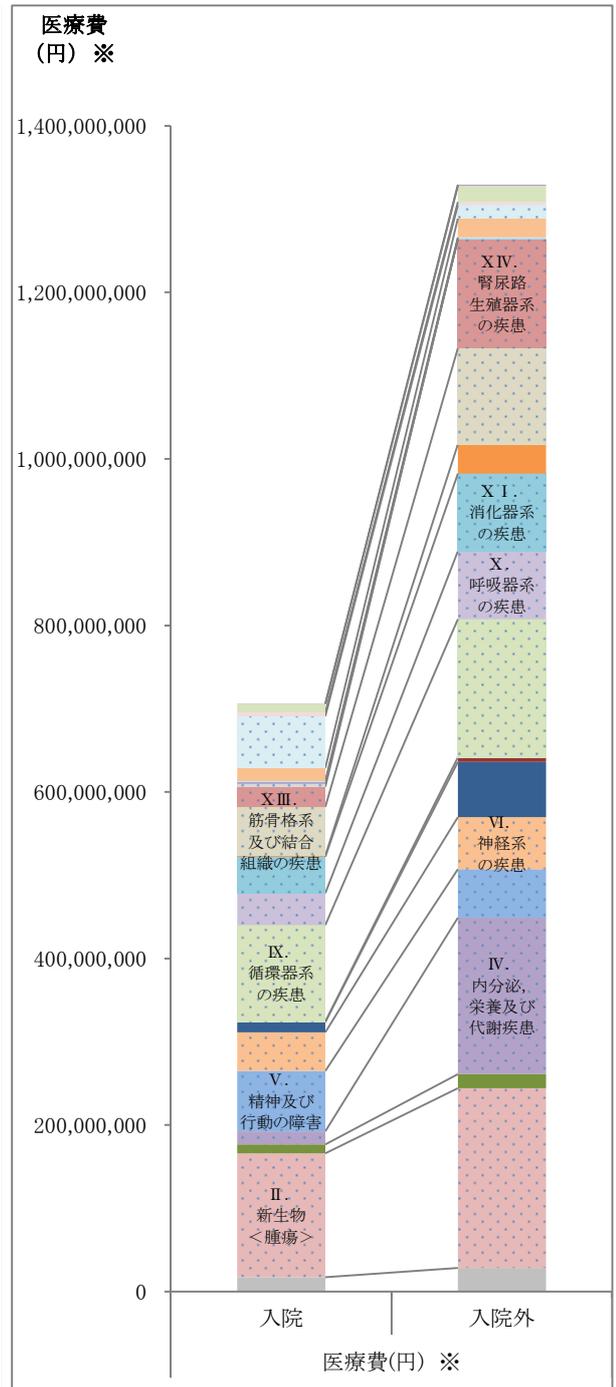
(2) 入院・入院外比較

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	17,247,361	28,451,930
II. 新生物<腫瘍>	148,696,045	215,697,821
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	10,539,303	17,052,882
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,035,498	187,697,372
V. 精神及び行動の障害	72,178,217	58,312,986
VI. 神経系の疾患	46,604,033	62,767,754
VII. 眼及び付属器の疾患	12,311,415	66,057,349
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	852,775	5,401,701
IX. 循環器系の疾患	115,752,482	165,982,002
X. 呼吸器系の疾患	38,519,649	82,143,814
X I. 消化器系の疾患 ※	43,389,615	92,886,247
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,711,762	35,354,023
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	58,275,562	115,686,396
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,262,944	130,260,193
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,255,739	227,692
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,292,030	359,084
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,107,186	1,909,656
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,011,386	22,631,057
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	61,747,514	16,142,088
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,028,776	3,976,012
X X II. 特殊目的用コード	10,281,706	18,942,324
分類外	1,422	1,294,787
合計	706,102,420	1,329,235,170



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

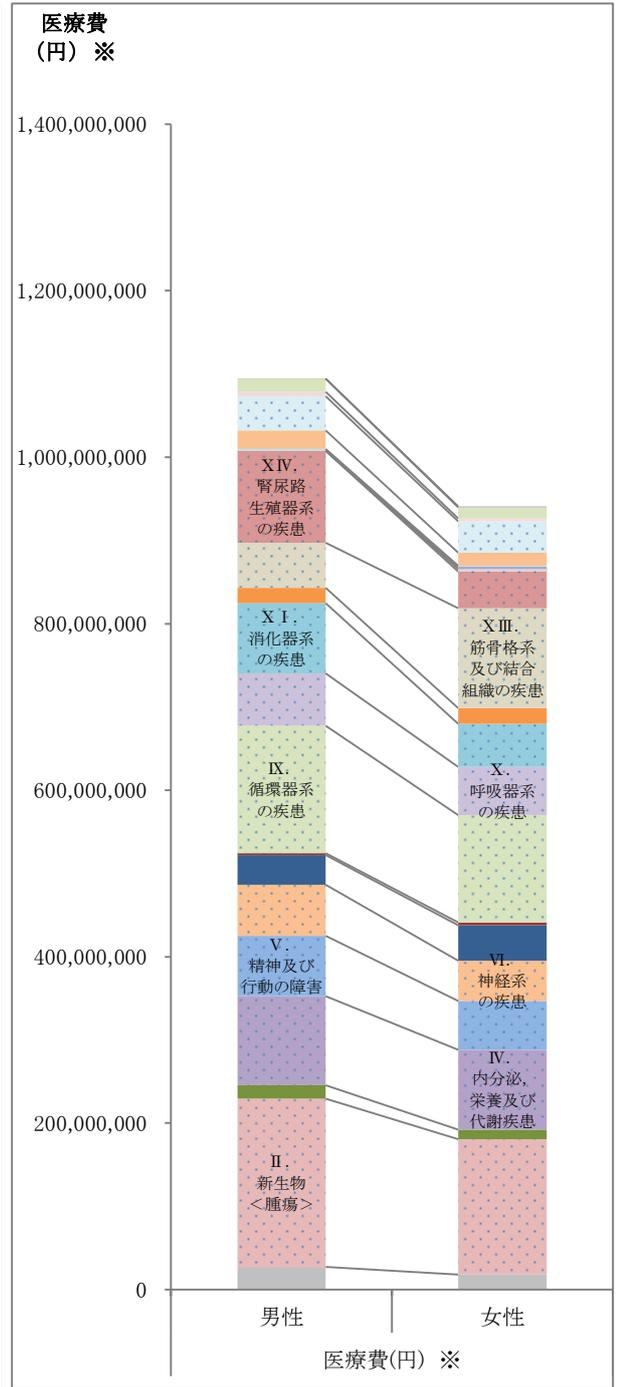
(3) 男性・女性比較

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を男女別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	27,529,895	18,169,396
II. 新生物<腫瘍>	201,828,427	162,565,439
III. 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	16,163,194	11,428,991
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	107,411,205	96,321,665
V. 精神及び行動の障害	72,067,010	58,424,193
VI. 神経系の疾患	61,335,178	48,036,609
VII. 眼及び付属器の疾患	35,705,182	42,663,582
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,453,847	3,800,629
IX. 循環器系の疾患	152,813,437	128,921,047
X. 呼吸器系の疾患	63,052,526	57,610,937
X I. 消化器系の疾患 ※	84,332,136	51,943,726
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,256,014	18,809,771
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	54,316,795	119,645,163
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	110,245,415	44,277,722
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	3,483,431
X VI. 周産期に発生した病態 ※	399,900	2,251,214
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,837,091	1,179,751
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,775,972	15,866,471
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	40,601,292	37,288,310
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,331,458	3,673,330
X X II. 特殊目的用コード	15,786,426	13,437,604
分類外	75,340	1,220,869
合計	1,094,317,740	941,019,850



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

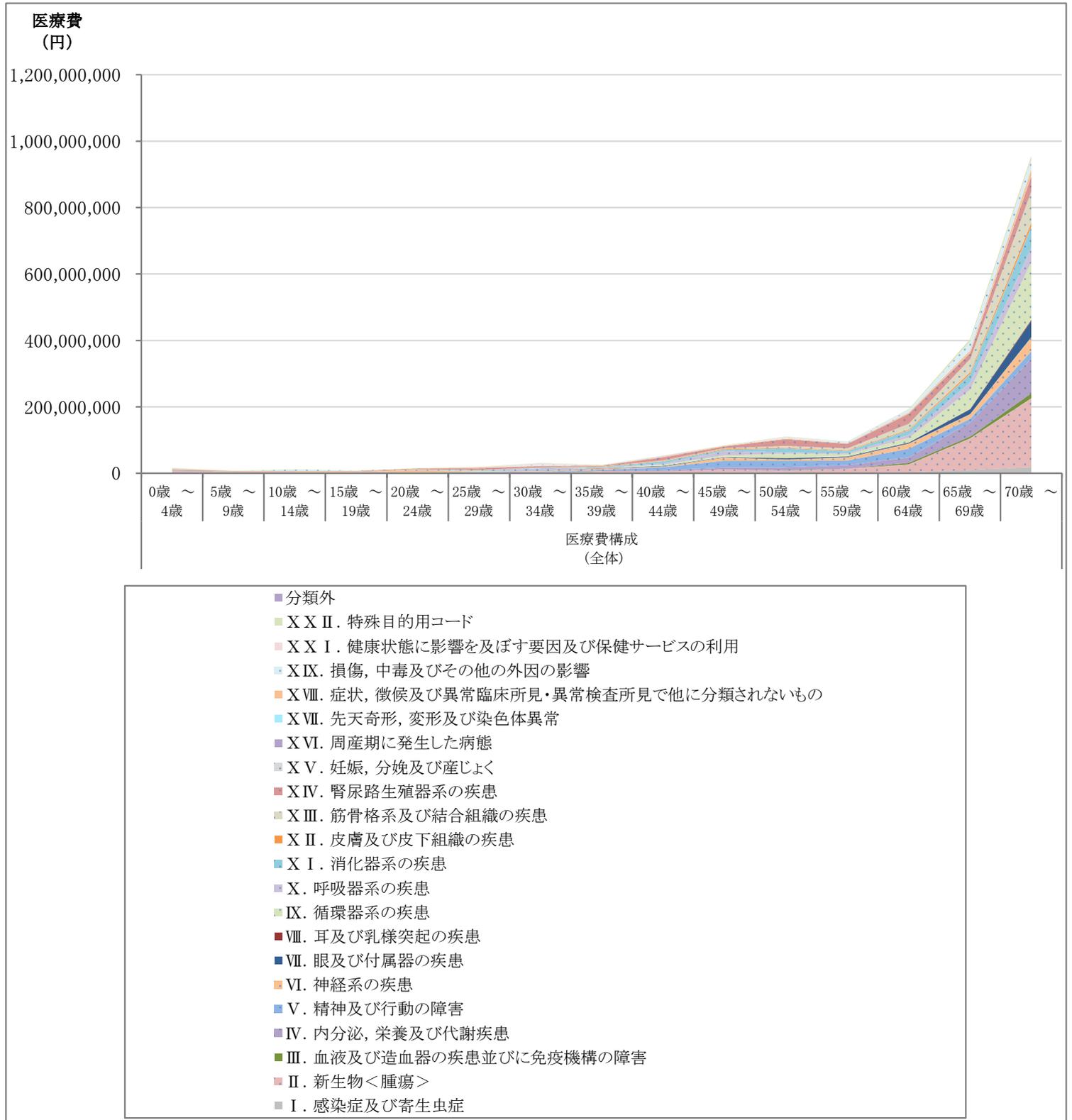
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(4) 年齢階層別比較

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

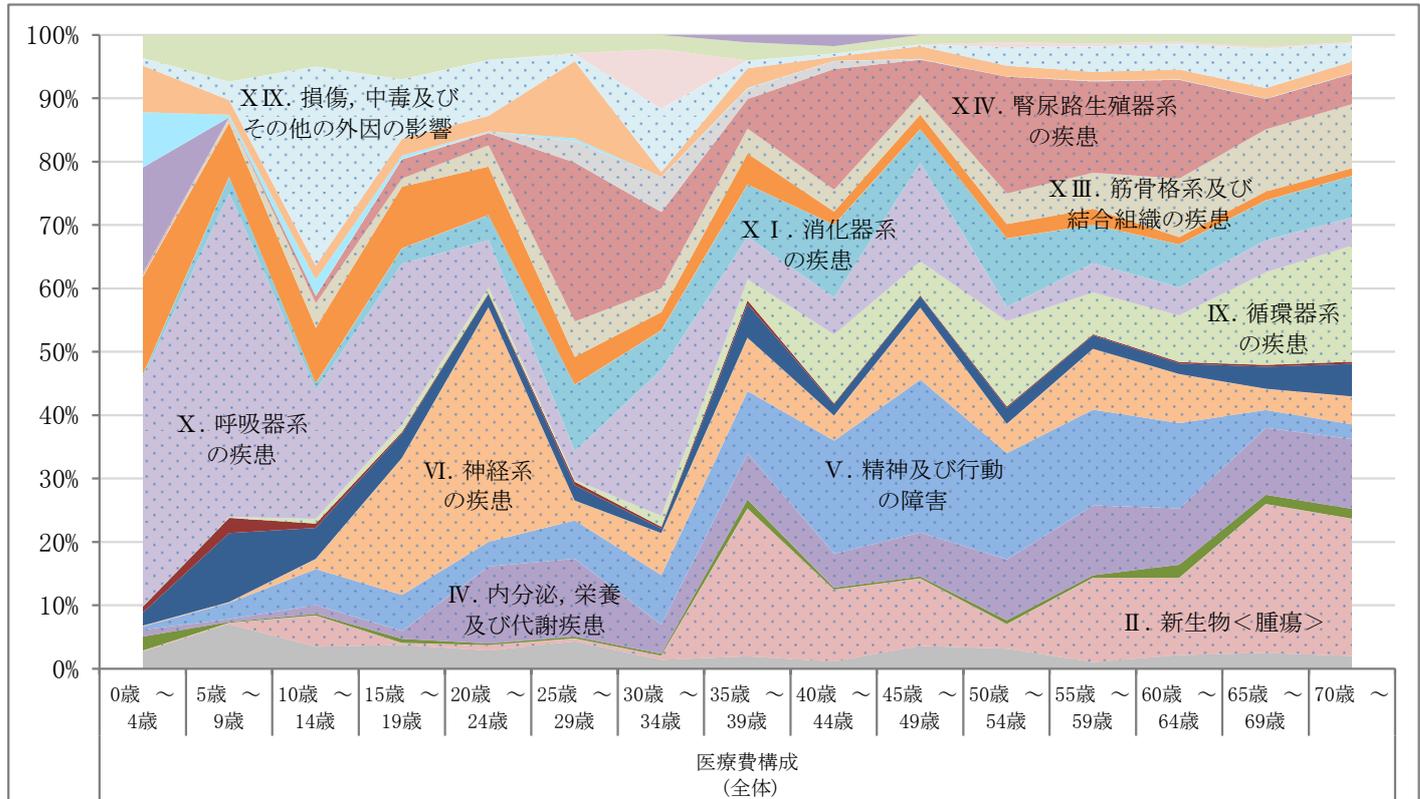
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXIII. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「腎尿路生殖器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳 ～ 4歳	X. 呼吸器系の疾患	X VI. 周産期に発生した病態	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳 ～ 9歳	X. 呼吸器系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X X II. 特殊目的用コード	I. 感染症及び寄生虫症
10歳 ～ 14歳	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X X II. 特殊目的用コード
15歳 ～ 19歳	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X X II. 特殊目的用コード
20歳 ～ 24歳	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患
25歳 ～ 29歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X I. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳 ～ 34歳	X. 呼吸器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	V. 精神及び行動の障害
35歳 ～ 39歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
40歳 ～ 44歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患
45歳 ～ 49歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
50歳 ～ 54歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
55歳 ～ 59歳	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患
60歳 ～ 64歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
65歳 ～ 69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳 ～	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

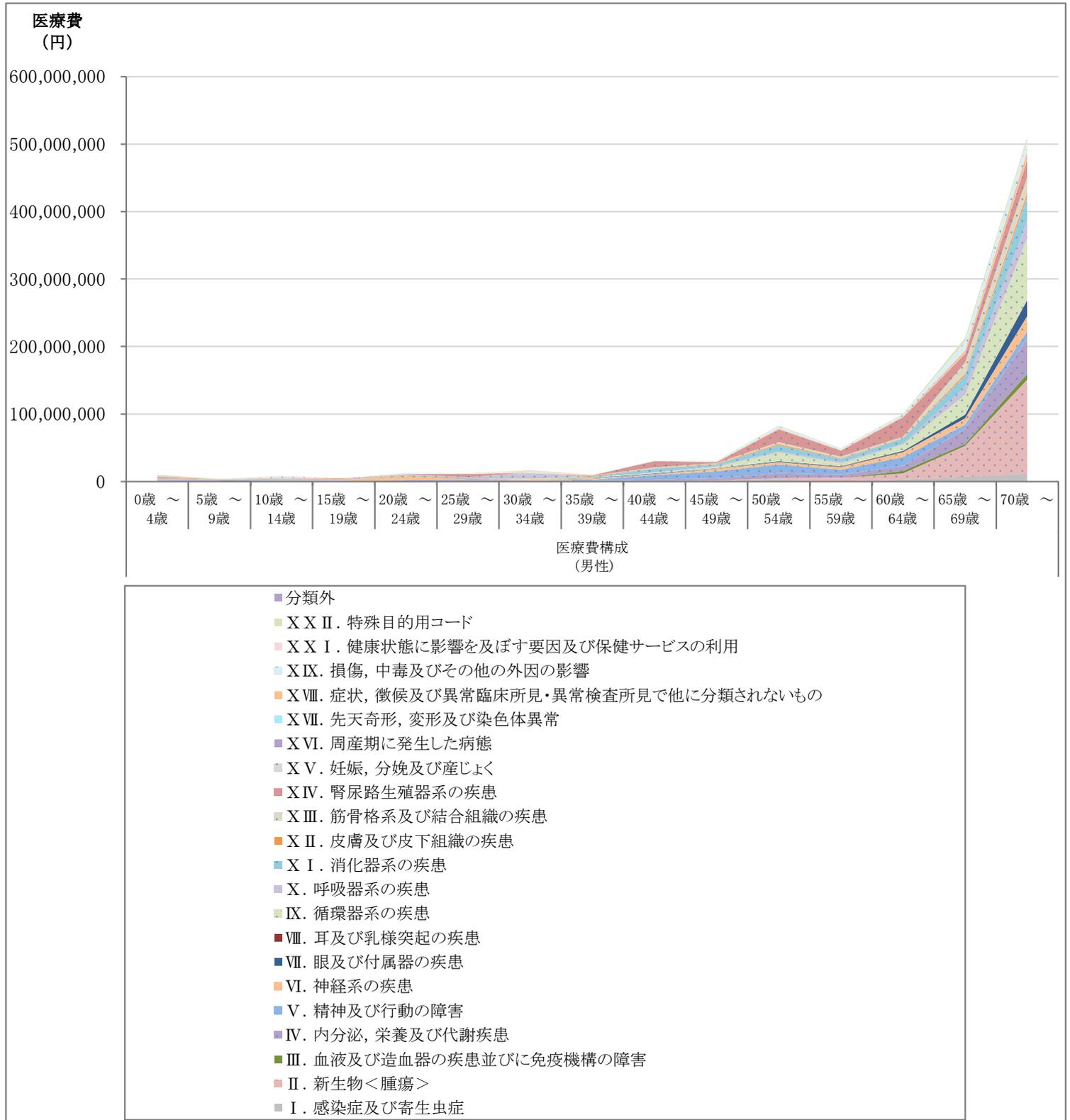
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

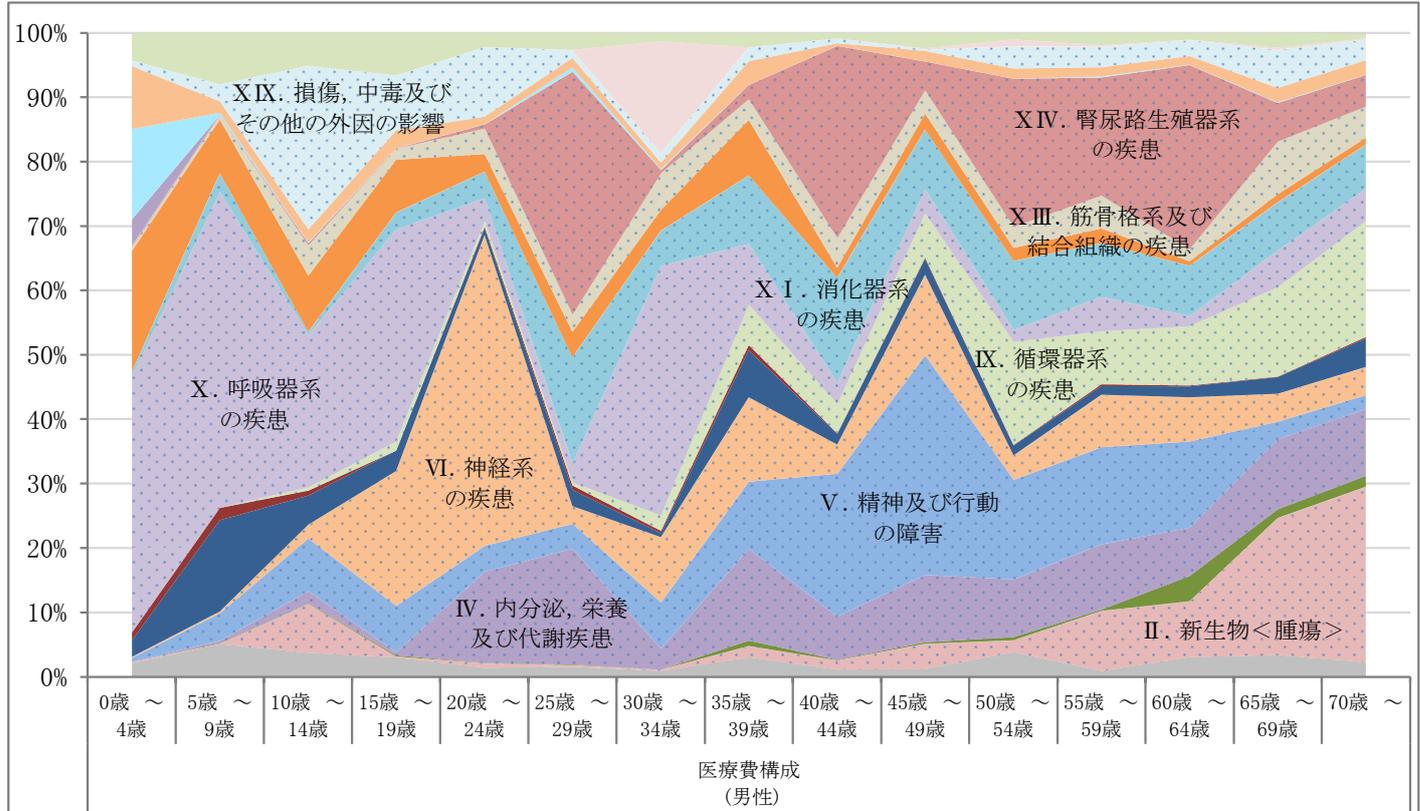
邑楽町国民健康保険の男性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(男性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(男性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXIII. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「腎尿路生殖器系の疾患」、高年層では「腎尿路生殖器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(男性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X X II. 特殊目的用コード
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X X II. 特殊目的用コード	I. 感染症及び寄生虫症
10歳～14歳	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害
20歳～24歳	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X I. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
25歳～29歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳～34歳	X. 呼吸器系の疾患	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
35歳～39歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患
40歳～44歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
50歳～54歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患
60歳～64歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳～	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

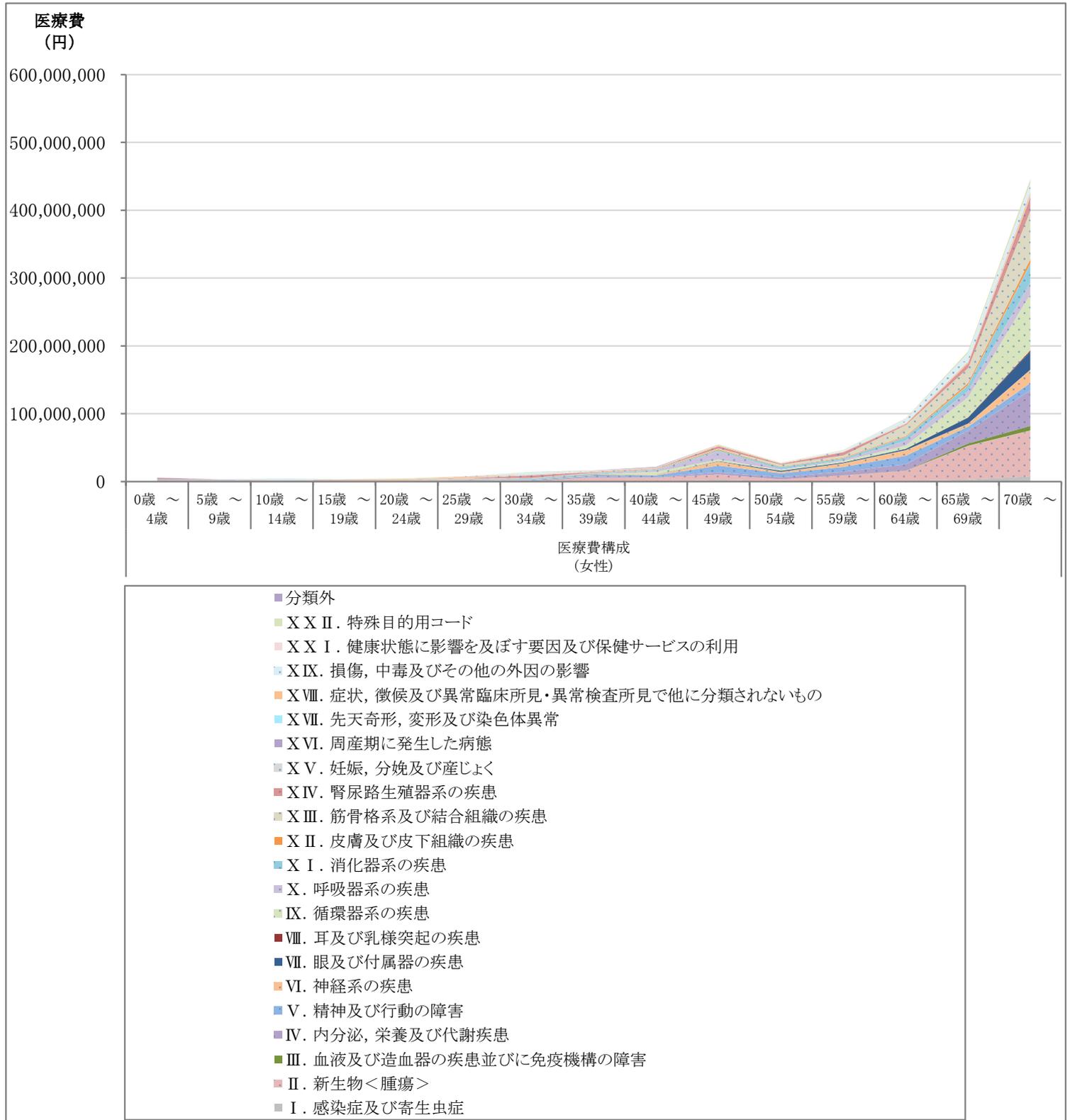
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

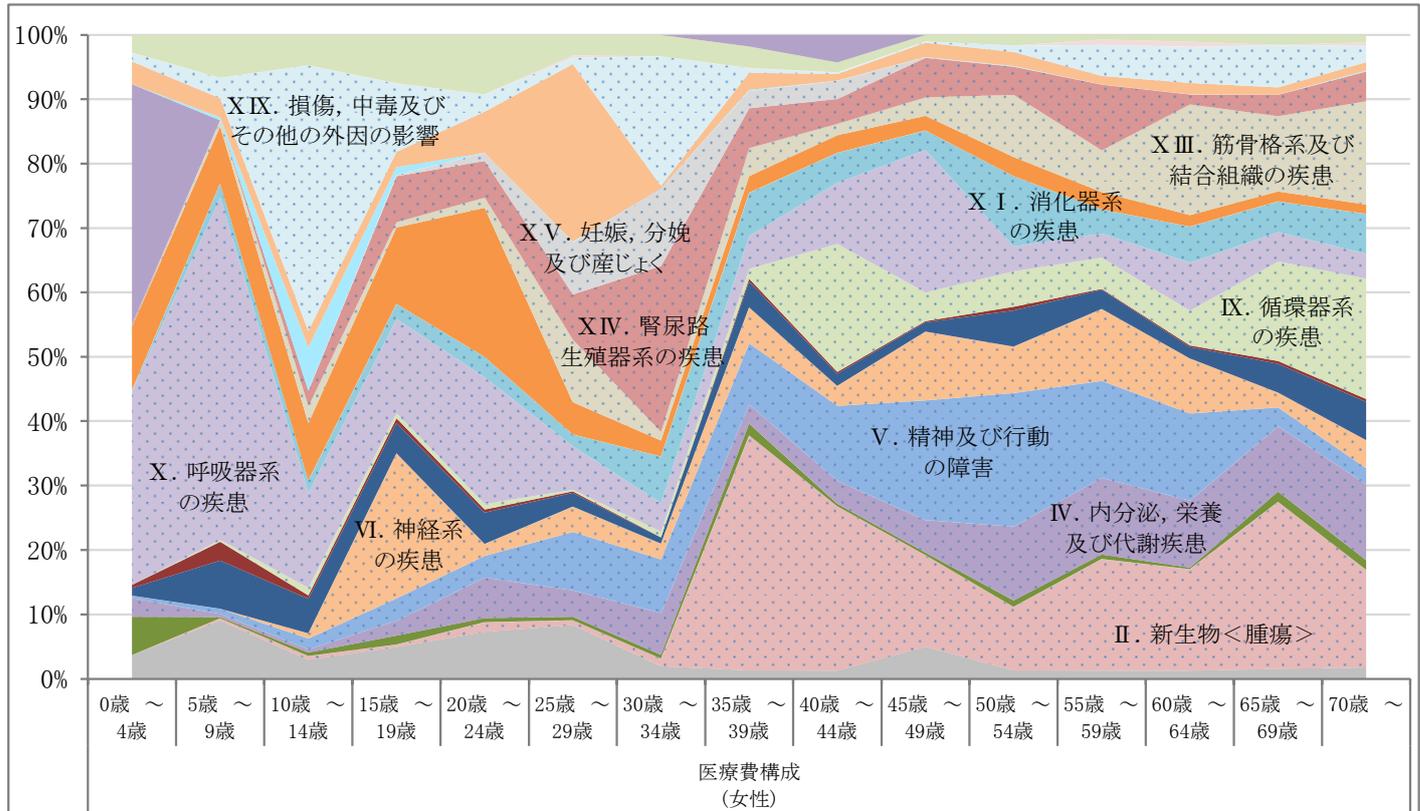
邑楽町国民健康保険の女性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(女性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「新生物<腫瘍>」、高年層では「筋骨格系及び結合組織の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	XVI. 周産期に発生した病態	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	I. 感染症及び寄生虫症
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	XXII. 特殊目的用コード
10歳～14歳	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	VII. 眼及び付属器の疾患
15歳～19歳	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XXII. 特殊目的用コード
20歳～24歳	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XXII. 特殊目的用コード	I. 感染症及び寄生虫症	XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
25歳～29歳	XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	I. 感染症及び寄生虫症	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
30歳～34歳	XIV. 腎尿路生殖系系の疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患
35歳～39歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖系系の疾患	VI. 神経系の疾患
40歳～44歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
45歳～49歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	XIV. 腎尿路生殖系系の疾患
50歳～54歳	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
55歳～59歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	XIV. 腎尿路生殖系系の疾患
60歳～64歳	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
70歳～	IX. 循環器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(5) 地区比較

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、地区毎に集計した。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,127,862	1.7%	14	2,028	13	552	10	21,971	19
II. 新生物<腫瘍>	168,222,120	23.2%	1	2,562	11	595	9	282,726	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,573,244	1.5%	15	1,071	16	276	16	38,309	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	61,676,155	8.5%	3	12,156	2	1,108	1	55,664	11
V. 精神及び行動の障害	50,019,953	6.9%	6	3,336	10	296	15	168,986	2
VI. 神経系の疾患	32,337,561	4.5%	10	5,148	6	499	13	64,805	9
VII. 眼及び付属器の疾患	23,737,356	3.3%	11	3,373	9	755	6	31,440	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,304,010	0.3%	18	594	18	190	17	12,126	22
IX. 循環器系の疾患	90,341,699	12.4%	2	13,638	1	1,075	2	84,039	5
X. 呼吸器系の疾患	54,006,909	7.4%	5	5,939	5	979	3	55,165	12
X I. 消化器系の疾患 ※	47,502,088	6.5%	7	8,263	3	930	4	51,078	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	14,096,899	1.9%	13	3,521	7	723	7	19,498	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	55,020,392	7.6%	4	7,317	4	883	5	62,311	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	38,068,675	5.2%	8	2,552	12	509	11	74,791	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	750,973	0.1%	20	23	21	11	20	68,270	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	207,464	0.0%	22	3	22	2	22	103,732	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,678,363	0.2%	19	69	19	24	19	69,932	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,584,727	2.4%	12	3,414	8	721	8	24,389	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	33,202,760	4.6%	9	1,260	14	386	14	86,018	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,685,887	0.4%	17	642	17	115	18	23,356	18
X X II. 特殊目的用コード	9,413,225	1.3%	16	1,127	15	501	12	18,789	21
分類外	342,178	0.0%	21	24	20	9	21	38,020	15
合計	725,900,500			34,059		2,071		350,507	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	904,017	1.0%	18	188	14	66	11	13,697	19
II. 新生物<腫瘍>	12,912,853	14.8%	2	294	12	73	10	176,888	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,430,827	3.9%	10	177	15	46	15	74,583	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,619,260	11.0%	4	1,793	2	144	2	66,800	9
V. 精神及び行動の障害	4,172,347	4.8%	7	531	7	39	16	106,983	4
VI. 神経系の疾患	3,968,180	4.5%	9	858	5	78	9	50,874	10
VII. 眼及び付属器の疾患	1,909,831	2.2%	12	495	8	96	6	19,894	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	246,711	0.3%	20	67	17	19	17	12,985	20
IX. 循環器系の疾患	14,154,106	16.2%	1	1,885	1	149	1	94,994	6
X. 呼吸器系の疾患	4,017,204	4.6%	8	624	6	117	5	34,335	13
X I. 消化器系の疾患 ※	6,605,583	7.6%	5	1,331	3	136	3	48,570	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,599,596	1.8%	14	400	10	81	8	19,748	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,249,229	11.7%	3	1,165	4	129	4	79,451	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,725,825	2.0%	13	327	11	64	12	26,966	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,441,622	1.6%	16	9	20	3	20	480,541	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,159,130	2.5%	11	7	21	1	21	2,159,130	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,161	0.0%	21	16	19	5	19	2,832	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,469,387	1.7%	15	432	9	84	7	17,493	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,125,587	5.9%	6	205	13	53	14	96,709	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	398,392	0.5%	19	57	18	11	18	36,217	12
X X II. 特殊目的用コード	1,286,733	1.5%	17	105	16	61	13	21,094	15
分類外	1,489	0.0%	22	2	22	1	21	1,489	22
合計	87,412,070			4,492		259		337,498	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	622,982	1.3%	15	180	12	47	10	13,255	18
II. 新生物<腫瘍>	4,833,707	9.7%	4	134	13	46	11	105,081	6
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	136,726	0.3%	18	56	16	17	16	8,043	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,866,000	11.8%	2	1,061	2	79	4	74,253	8
V. 精神及び行動の障害	3,745,214	7.5%	6	422	6	28	15	133,758	3
VI. 神経系の疾患	3,485,006	7.0%	8	500	5	38	12	91,711	7
VII. 眼及び付属器の疾患	2,599,025	5.2%	11	214	11	54	6	48,130	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	34,847	0.1%	20	20	18	8	18	4,356	22
IX. 循環器系の疾患	6,220,453	12.5%	1	1,134	1	85	1	73,182	9
X. 呼吸器系の疾患	2,854,824	5.7%	9	331	8	65	5	43,920	12
X I. 消化器系の疾患 ※	2,676,189	5.4%	10	673	4	81	2	33,039	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	964,226	1.9%	12	274	9	52	7	18,543	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,982,606	8.0%	5	707	3	81	2	49,168	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,778,675	11.6%	3	354	7	49	8	117,932	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	610,970	1.2%	16	11	20	2	19	305,485	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	264,150	0.5%	17	1	21	1	20	264,150	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	15,695	0.0%	21	16	19	1	20	15,695	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	817,437	1.6%	13	220	10	48	9	17,030	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,594,258	7.2%	7	95	14	33	14	108,917	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	67,168	0.1%	19	49	17	12	17	5,597	21
X X II. 特殊目的用コード	639,172	1.3%	14	58	15	35	13	18,262	15
分類外	6,080	0.0%	22	1	21	1	20	6,080	20
合計	49,815,410			2,937		170		293,032	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【新中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,404,537	1.5%	13	324	12	83	9	16,922	18
II. 新生物<腫瘍>	11,158,792	12.2%	3	295	13	74	10	150,794	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	806,313	0.9%	16	176	14	41	16	19,666	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,890,891	11.9%	4	1,782	2	154	1	70,720	8
V. 精神及び行動の障害	3,518,488	3.8%	10	556	7	43	15	81,825	4
VI. 神経系の疾患	4,129,887	4.5%	7	873	5	74	10	55,809	9
VII. 眼及び付属器の疾患	4,018,599	4.4%	8	494	9	116	5	34,643	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	498,988	0.5%	18	88	18	28	18	17,821	16
IX. 循環器系の疾患	11,402,147	12.4%	2	1,938	1	143	2	79,735	5
X. 呼吸器系の疾患	3,944,798	4.3%	9	716	6	125	4	31,558	11
X I. 消化器系の疾患 ※	9,557,222	10.4%	5	1,384	3	133	3	71,859	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,928,206	2.1%	11	516	8	106	7	18,191	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,123,623	8.9%	6	913	4	110	6	73,851	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	15,581,085	17.0%	1	368	11	59	13	264,086	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	616,300	0.7%	17	1	20	1	20	616,300	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	83,011	0.1%	20	11	19	3	19	27,670	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,423,187	1.6%	12	484	10	87	8	16,358	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,163,164	1.3%	14	175	15	54	14	21,540	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	312,391	0.3%	19	139	16	30	17	10,413	20
X X II. 特殊目的用コード	1,160,271	1.3%	15	135	17	67	12	17,317	17
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	91,721,900			4,842		276		332,326	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,946,303	1.9%	14	332	13	91	11	21,388	13
II. 新生物<腫瘍>	26,083,094	25.6%	1	415	12	97	9	268,898	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	576,236	0.6%	16	155	16	41	16	14,055	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,028,934	11.8%	3	2,111	1	169	1	71,177	5
V. 精神及び行動の障害	4,274,530	4.2%	7	479	10	44	15	97,148	3
VI. 神経系の疾患	2,771,207	2.7%	10	794	5	74	12	37,449	8
VII. 眼及び付属器の疾患	4,150,487	4.1%	8	569	8	136	5	30,518	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	288,618	0.3%	17	80	17	21	17	13,744	17
IX. 循環器系の疾患	18,774,526	18.4%	2	2,089	2	164	2	114,479	2
X. 呼吸器系の疾患	3,535,668	3.5%	9	745	6	156	3	22,665	11
X I. 消化器系の疾患 ※	5,879,576	5.8%	6	1,252	3	145	4	40,549	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,398,604	2.4%	11	537	9	113	7	21,227	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,637,900	6.5%	5	907	4	133	6	49,909	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,721,234	6.6%	4	440	11	70	13	96,018	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,300	0.0%	21	1	22	1	20	5,300	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,180	0.0%	20	3	20	1	20	12,180	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	20,688	0.0%	19	16	19	4	19	5,172	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,213,101	2.2%	12	576	7	99	8	22,355	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,178,977	2.1%	13	174	15	65	14	33,523	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	53,196	0.1%	18	71	18	15	18	3,546	21
X X II. 特殊目的用コード	1,397,143	1.4%	15	216	14	95	10	14,707	15
分類外	3,268	0.0%	22	2	21	1	20	3,268	22
合計	101,950,770			5,387		337		302,525	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【藤川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,560,496	4.9%	9	236	13	48	13	115,844	6
II. 新生物<腫瘍>	12,264,533	10.8%	3	282	12	72	8	170,341	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,466,590	1.3%	15	160	15	31	16	47,309	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,238,894	9.9%	5	1,871	2	139	1	80,855	9
V. 精神及び行動の障害	2,602,122	2.3%	12	443	8	37	15	70,328	11
VI. 神経系の疾患	2,201,669	1.9%	14	709	5	61	11	36,093	17
VII. 眼及び付属器の疾患	6,912,823	6.1%	7	500	7	100	6	69,128	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	150,180	0.1%	19	102	17	20	18	7,509	19
IX. 循環器系の疾患	14,032,541	12.3%	2	2,036	1	135	2	103,945	7
X. 呼吸器系の疾患	5,967,317	5.2%	8	628	6	103	5	57,935	14
X I. 消化器系の疾患 ※	7,050,383	6.2%	6	1,324	3	118	3	59,749	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,391,144	1.2%	16	382	11	73	7	19,057	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,675,652	16.4%	1	1,164	4	117	4	159,621	4
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	11,883,562	10.5%	4	424	9	66	9	180,054	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	644,727	0.6%	18	38	19	5	19	128,945	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,387,167	2.1%	13	401	10	66	9	36,169	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,395,889	3.9%	10	209	14	56	12	78,498	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	77,917	0.1%	20	104	16	26	17	2,997	20
X X II. 特殊目的用コード	3,836,061	3.4%	11	96	18	43	14	89,211	8
分類外	924,283	0.8%	17	15	20	2	20	462,142	1
合計	113,663,950			4,500		225		505,173	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	858,975	1.4%	13	228	12	40	10	21,474	12
II. 新生物<腫瘍>	12,481,243	20.2%	1	250	10	45	9	277,361	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	357,115	0.6%	15	110	15	20	16	17,856	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,633,712	12.3%	3	1,117	2	93	2	82,083	6
V. 精神及び行動の障害	3,201,049	5.2%	7	247	11	21	15	152,431	3
VI. 神経系の疾患	2,520,716	4.1%	9	437	5	38	11	66,335	7
VII. 眼及び付属器の疾患	3,431,783	5.5%	6	299	8	53	7	64,751	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	218,976	0.4%	18	55	17	14	18	15,641	15
IX. 循環器系の疾患	8,733,427	14.1%	2	1,243	1	101	1	86,470	5
X. 呼吸器系の疾患	847,920	1.4%	14	282	9	58	6	14,619	17
X I. 消化器系の疾患 ※	3,125,554	5.0%	8	791	3	83	3	37,657	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,479,303	2.4%	11	360	6	61	5	24,251	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,151,270	11.6%	4	645	4	73	4	97,963	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,677,463	10.8%	5	197	13	25	13	267,099	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	17,900	0.0%	19	12	19	2	19	8,950	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	901,818	1.5%	12	340	7	49	8	18,404	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,694,709	2.7%	10	109	16	32	12	52,960	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	249,608	0.4%	17	111	14	16	17	15,601	16
X X II. 特殊目的用コード	311,969	0.5%	16	41	18	22	14	14,180	18
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	61,894,510			2,672		155		399,319	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【石打】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	11,124,251	11.1%	4	360	12	84	11	132,432	2
II. 新生物<腫瘍>	14,350,676	14.3%	2	299	13	94	8	152,667	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	741,692	0.7%	16	107	17	31	16	23,926	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,328,124	12.3%	3	2,214	2	184	1	67,001	6
V. 精神及び行動の障害	3,898,847	3.9%	10	496	11	41	15	95,094	4
VI. 神経系の疾患	2,595,383	2.6%	11	751	5	65	13	39,929	9
VII. 眼及び付属器の疾患	6,403,696	6.4%	7	529	8	115	6	55,684	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	320,930	0.3%	17	114	16	28	17	11,462	17
IX. 循環器系の疾患	17,607,135	17.6%	1	2,462	1	177	2	99,475	3
X. 呼吸器系の疾患	4,528,371	4.5%	9	749	6	159	4	28,480	12
X I. 消化器系の疾患 ※	6,546,521	6.5%	6	1,409	3	168	3	38,967	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,524,339	1.5%	12	538	7	106	7	14,381	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,446,374	8.4%	5	1,032	4	130	5	64,972	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,129,400	6.1%	8	520	9	88	9	69,652	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,920	0.0%	20	1	20	1	20	2,920	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	28,513	0.0%	19	12	19	6	19	4,752	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	975,448	1.0%	14	504	10	85	10	11,476	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,523,328	1.5%	13	220	14	49	14	31,088	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	41,421	0.0%	18	107	17	19	18	2,180	20
X X II. 特殊目的用コード	918,751	0.9%	15	127	15	66	12	13,920	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	100,036,120			5,488		335		298,615	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,436,970	1.6%	15	1,362	12	371	9	17,350	18
II. 新生物<腫瘍>	60,201,998	14.6%	1	1,360	13	335	10	179,707	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,897,357	1.2%	16	732	15	172	15	28,473	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	45,232,322	11.0%	3	7,776	2	692	1	65,365	6
V. 精神及び行動の障害	32,772,123	8.0%	6	1,937	10	151	16	217,034	1
VI. 神経系の疾患	36,164,092	8.8%	4	3,288	6	293	12	123,427	3
VII. 眼及び付属器の疾患	15,297,649	3.7%	10	2,059	8	437	6	35,006	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,497,372	0.4%	18	375	18	95	17	15,762	19
IX. 循環器系の疾患	58,832,317	14.3%	2	8,222	1	651	2	90,372	4
X. 呼吸器系の疾患	27,016,070	6.6%	7	3,401	5	599	3	45,102	9
X I. 消化器系の疾患 ※	25,942,660	6.3%	8	5,117	3	589	4	44,045	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,679,251	1.9%	12	2,465	7	412	7	18,639	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	33,218,643	8.1%	5	4,192	4	533	5	62,324	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,072,657	6.1%	9	1,713	11	282	13	88,910	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	54,395	0.0%	20	8	21	4	20	13,599	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,190	0.0%	22	1	22	1	22	8,190	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	383,834	0.1%	19	51	19	15	19	25,589	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,605,953	1.8%	13	1,942	9	384	8	19,807	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13,248,627	3.2%	11	754	14	243	14	54,521	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,525,274	0.9%	17	553	17	93	18	37,906	11
X X II. 特殊目的用コード	6,771,193	1.6%	14	657	16	304	11	22,274	15
分類外	11,323	0.0%	21	11	20	3	21	3,774	22
合計	411,870,270			20,513		1,211		340,108	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【赤堀】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,088,407	2.3%	13	378	13	95	10	32,510	14
II. 新生物<腫瘍>	23,218,860	17.2%	2	491	12	104	9	223,258	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,741,676	2.8%	11	275	14	60	15	62,361	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,702,563	7.9%	5	2,024	2	184	1	58,166	10
V. 精神及び行動の障害	3,305,259	2.4%	12	581	10	50	16	66,105	7
VI. 神経系の疾患	4,696,886	3.5%	9	942	5	89	12	52,774	11
VII. 眼及び付属器の疾患	4,102,227	3.0%	10	509	11	106	8	38,700	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	207,347	0.2%	18	64	18	21	18	9,874	18
IX. 循環器系の疾患	26,128,193	19.4%	1	2,190	1	173	2	151,030	2
X. 呼吸器系の疾患	7,211,321	5.3%	8	768	6	146	5	49,393	12
X I. 消化器系の疾患 ※	13,986,672	10.4%	3	1,729	3	172	3	81,318	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,613,145	1.2%	16	587	8	121	6	13,332	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,308,954	9.1%	4	1,359	4	165	4	74,600	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,457,179	5.5%	7	586	9	92	11	81,056	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	951	0.0%	21	1	21	1	21	951	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	28,910	0.0%	19	24	19	3	19	9,637	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,660,764	1.2%	15	648	7	121	6	13,725	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,306,768	6.2%	6	258	15	73	14	113,791	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,446,006	1.1%	17	169	17	22	17	65,728	8
X X II. 特殊目的用コード	1,703,406	1.3%	14	181	16	86	13	19,807	15
分類外	6,166	0.0%	20	3	20	2	20	3,083	20
合計	134,921,660			5,530		317		425,620	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,574,612	1.1%	14	422	13	98	10	16,067	15
II. 新生物<腫瘍>	18,604,295	13.3%	2	446	12	100	9	186,043	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	855,624	0.6%	16	239	15	55	15	15,557	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14,723,794	10.5%	4	2,068	1	182	1	80,900	6
V. 精神及び行動の障害	15,228,392	10.9%	3	590	10	55	15	276,880	2
VI. 神経系の疾患	7,913,853	5.7%	7	927	5	87	11	90,964	4
VII. 眼及び付属器の疾患	5,805,288	4.1%	10	681	7	128	7	45,354	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	431,801	0.3%	17	51	19	23	17	18,774	14
IX. 循環器系の疾患	14,413,557	10.3%	5	1,973	2	173	2	83,315	5
X. 呼吸器系の疾患	6,067,623	4.3%	9	905	6	164	3	36,998	11
X I. 消化器系の疾患 ※	6,863,335	4.9%	8	1,377	3	155	4	44,280	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,997,588	1.4%	12	653	9	132	6	15,133	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,660,412	6.9%	6	1,292	4	147	5	65,717	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	29,161,203	20.8%	1	677	8	80	13	364,515	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	98,342	0.1%	18	55	18	4	19	24,586	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,499,574	1.1%	15	537	11	115	8	13,040	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,376,310	2.4%	11	248	14	68	14	49,652	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	74,220	0.1%	19	139	17	21	18	3,534	19
X X II. 特殊目的用コード	1,600,895	1.1%	13	183	16	83	12	19,288	13
分類外	1,422	0.0%	20	1	20	1	20	1,422	20
合計	139,952,140			5,424		346		404,486	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	49,879	0.3%	16	15	14	5	11	9,976	16
II. 新生物<腫瘍>	61,695	0.4%	14	4	18	3	15	20,565	14
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,785	0.1%	17	8	16	4	13	2,196	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,792,221	11.1%	3	117	3	9	4	199,136	3
V. 精神及び行動の障害	3,752,879	23.2%	2	115	4	9	4	416,987	2
VI. 神経系の疾患	6,587,347	40.7%	1	146	2	10	2	658,735	1
VII. 眼及び付属器の疾患	0	0.0%		0		0		0	
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	54,696	0.3%	15	26	11	2	16	27,348	11
IX. 循環器系の疾患	1,094,383	6.8%	4	107	5	9	4	121,598	4
X. 呼吸器系の疾患	665,438	4.1%	5	48	8	8	7	83,180	5
X I. 消化器系の疾患 ※	540,079	3.3%	6	151	1	11	1	49,098	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	393,484	2.4%	8	77	6	10	2	39,348	9
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	486,903	3.0%	7	54	7	8	7	60,863	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	266,179	1.6%	9	37	10	7	9	38,026	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,698	0.0%	18	6	17	2	16	1,349	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	103,880	0.6%	11	43	9	5	11	20,776	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	79,225	0.5%	12	22	13	4	13	19,806	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	73,308	0.5%	13	25	12	1	18	73,308	6
X X II. 特殊目的用コード	185,211	1.1%	10	12	15	7	9	26,459	12
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	16,198,290			296		15		1,079,886	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

4. 中分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	139,775,415	6.9%	774
2	0402	糖尿病	123,895,339	6.1%	2,281
3	1402	腎不全	118,349,565	5.8%	208
4	0901	高血圧性疾患	97,589,620	4.8%	2,388
5	1113	その他の消化器系の疾患	84,876,660	4.2%	1,783
6	0903	その他の心疾患	84,072,985	4.1%	982
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	65,241,102	3.2%	258
8	0606	その他の神経系の疾患	61,866,172	3.0%	1,284
9	0403	脂質異常症	54,897,267	2.7%	1,768
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,931,352	2.3%	199

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	97,589,620	2,388	41.8%
2	0402	糖尿病	123,895,339	2,281	39.9%
3	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,642,443	1,864	32.6%
4	1113	その他の消化器系の疾患	84,876,660	1,783	31.2%
5	0403	脂質異常症	54,897,267	1,768	30.9%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	19,128,032	1,484	26.0%
7	0703	屈折及び調節の障害	5,702,383	1,465	25.6%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,126,470	1,376	24.1%
9	2220	その他の特殊目的用コード	26,048,038	1,370	24.0%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	15,559,774	1,362	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	3,175,992	1	3,175,992
2	0209	白血病	22,049,917	16	1,378,120
3	1502	妊娠高血圧症候群	1,225,766	2	612,883
4	1402	腎不全	118,349,565	208	568,988
5	1602	その他の周産期に発生した病態	2,160,103	4	540,026
6	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	16,121,924	35	460,626
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	65,241,102	258	252,872
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,931,352	199	230,811
9	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2,068,939	9	229,882
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	41,406,189	181	228,763

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	2,035,337,590			96,140			5,717		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)		
											順位	
I. 感染症及び寄生虫症												
	45,699,291	2.2%		6,053	6.3%		1,580	27.6%		28,924		
0101	腸管感染症	2,327,512	0.1%	89	1,309	1.4%	54	395	6.9%	42	5,892	114
0102	結核	1,123,458	0.1%	102	166	0.2%	98	63	1.1%	92	17,833	83
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	862,104	0.0%	105	375	0.4%	84	211	3.7%	61	4,086	118
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,965,856	0.2%	71	1,209	1.3%	58	327	5.7%	49	15,186	90
0105	ウイルス性肝炎	7,754,544	0.4%	58	845	0.9%	62	270	4.7%	56	28,721	63
0106	その他のウイルス性疾患	4,811,555	0.2%	73	330	0.3%	87	202	3.5%	63	23,820	70
0107	真菌症	7,824,256	0.4%	57	1,670	1.7%	45	429	7.5%	40	18,238	82
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	5,285	0.0%	122	8	0.0%	117	1	0.0%	123	5,285	115
0109	その他の感染症及び寄生虫症	16,024,721	0.8%	37	1,121	1.2%	59	370	6.5%	47	43,310	48
II. 新生物<腫瘍>												
	364,393,866	17.9%		6,832	7.1%		1,638	28.7%		222,463		
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	29,814,352	1.5%	20	854	0.9%	61	302	5.3%	51	98,723	26
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	16,359,268	0.8%	35	841	0.9%	63	292	5.1%	53	56,025	35
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	16,121,924	0.8%	36	284	0.3%	92	35	0.6%	101	460,626	6
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	10,537,272	0.5%	47	294	0.3%	90	84	1.5%	87	125,444	21
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,931,352	2.3%	10	603	0.6%	75	199	3.5%	66	230,811	8
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	41,406,189	2.0%	14	787	0.8%	66	181	3.2%	71	228,763	10
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	11,853,510	0.6%	45	207	0.2%	94	91	1.6%	86	130,258	19
0208	悪性リンパ腫	9,701,099	0.5%	51	158	0.2%	99	43	0.8%	99	225,607	11
0209	白血病	22,049,917	1.1%	29	93	0.1%	107	16	0.3%	110	1,378,120	2
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	139,775,415	6.9%	1	3,131	3.3%	27	774	13.5%	21	180,588	14
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	20,843,568	1.0%	30	1,569	1.6%	48	640	11.2%	28	32,568	56
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害												
	27,592,185	1.4%		3,266	3.4%		794	13.9%		34,751		
0301	貧血	10,347,043	0.5%	48	2,026	2.1%	39	459	8.0%	39	22,543	72
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,245,142	0.8%	33	1,483	1.5%	51	500	8.7%	37	34,490	54
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患												
	203,732,870	10.0%		36,090	37.5%		3,137	54.9%		64,945		
0401	甲状腺障害	9,141,117	0.4%	53	2,416	2.5%	36	525	9.2%	35	17,412	84
0402	糖尿病	123,895,339	6.1%	2	18,364	19.1%	3	2,281	39.9%	2	54,316	36
0403	脂質異常症	54,897,267	2.7%	9	23,107	24.0%	2	1,768	30.9%	5	31,050	57
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	15,799,147	0.8%	38	6,223	6.5%	13	854	14.9%	20	18,500	81
V. 精神及び行動の障害												
	130,491,203	6.4%		9,733	10.1%		814	14.2%		160,309		
0501	血管性及び詳細不明の認知症	751,810	0.0%	107	153	0.2%	100	37	0.6%	100	20,319	77
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2,068,939	0.1%	93	61	0.1%	108	9	0.2%	113	229,882	9
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	65,241,102	3.2%	7	3,881	4.0%	25	258	4.5%	58	252,872	7

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,035,337,590	96,140	5,717

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	36,218,916	1.8%	16	5,499	5.7%	17	391	6.8%	43	92,631	29
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	15,563,008	0.8%	40	5,981	6.2%	14	523	9.1%	36	29,757	60
0506	知的障害<精神遅滞>	3,385,326	0.2%	82	424	0.4%	82	29	0.5%	104	116,735	23
0507	その他の精神及び行動の障害	7,262,102	0.4%	60	859	0.9%	60	98	1.7%	84	74,103	32
VI. 神経系の疾患		109,371,787	5.4%		15,373	16.0%		1,406	24.6%		77,789	
0601	パーキンソン病	12,386,246	0.6%	44	788	0.8%	65	59	1.0%	94	209,936	12
0602	アルツハイマー病	10,077,159	0.5%	50	590	0.6%	76	59	1.0%	94	170,799	15
0603	てんかん	19,252,118	0.9%	31	1,834	1.9%	42	150	2.6%	75	128,347	20
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,513,832	0.2%	80	108	0.1%	104	19	0.3%	108	184,939	13
0605	自律神経系の障害	2,276,260	0.1%	90	340	0.4%	86	46	0.8%	97	49,484	40
0606	その他の神経系の疾患	61,866,172	3.0%	8	13,711	14.3%	5	1,284	22.5%	12	48,182	41
VII. 眼及び付属器の疾患		78,368,764	3.9%		9,722	10.1%		2,096	36.7%		37,390	
0701	結膜炎	6,513,084	0.3%	65	4,538	4.7%	21	1,032	18.1%	14	6,311	110
0702	白内障	24,026,827	1.2%	26	3,119	3.2%	28	600	10.5%	32	40,045	51
0703	屈折及び調節の障害	5,702,383	0.3%	68	6,339	6.6%	11	1,465	25.6%	7	3,892	120
0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,126,470	2.1%	12	6,824	7.1%	10	1,376	24.1%	8	30,615	58
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		6,254,476	0.3%		1,636	1.7%		469	8.2%		13,336	
0801	外耳炎	563,650	0.0%	110	406	0.4%	83	148	2.6%	76	3,808	121
0802	その他の外耳疾患	442,132	0.0%	113	200	0.2%	95	109	1.9%	82	4,056	119
0803	中耳炎	762,437	0.0%	106	292	0.3%	91	104	1.8%	83	7,331	106
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	298,193	0.0%	116	132	0.1%	102	63	1.1%	92	4,733	116
0805	メニエール病	1,842,395	0.1%	95	575	0.6%	77	116	2.0%	79	15,883	87
0806	その他の内耳疾患	688,037	0.0%	109	113	0.1%	103	35	0.6%	101	19,658	78
0807	その他の耳疾患	1,657,632	0.1%	97	626	0.7%	72	202	3.5%	63	8,206	101
IX. 循環器系の疾患		281,734,484	13.8%		38,917	40.5%		3,035	53.1%		92,828	
0901	高血圧性疾患	97,589,620	4.8%	4	33,548	34.9%	1	2,388	41.8%	1	40,867	50
0902	虚血性心疾患	33,360,368	1.6%	19	5,677	5.9%	15	668	11.7%	26	49,941	39
0903	その他の心疾患	84,072,985	4.1%	6	6,280	6.5%	12	982	17.2%	16	85,614	30
0904	くも膜下出血	1,327,116	0.1%	99	45	0.0%	110	14	0.2%	111	94,794	28
0905	脳内出血	10,161,106	0.5%	49	183	0.2%	97	67	1.2%	90	151,658	16
0906	脳梗塞	24,954,389	1.2%	25	2,674	2.8%	33	308	5.4%	50	81,021	31
0907	脳動脈硬化(症)	3,492	0.0%	123	5	0.0%	122	2	0.0%	121	1,746	123
0908	その他の脳血管疾患	6,538,882	0.3%	64	626	0.7%	72	220	3.8%	60	29,722	61
0909	動脈硬化(症)	6,306,296	0.3%	66	1,785	1.9%	44	402	7.0%	41	15,687	88
0911	低血圧(症)	352,535	0.0%	114	107	0.1%	105	18	0.3%	109	19,585	79
0912	その他の循環器系の疾患	17,067,695	0.8%	34	1,869	1.9%	41	379	6.6%	45	45,033	46
X. 呼吸器系の疾患		120,663,463	5.9%		15,136	15.7%		2,679	46.9%		45,040	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	867,871	0.0%	103	536	0.6%	80	186	3.3%	69	4,666	117
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,714,300	0.2%	79	1,533	1.6%	50	601	10.5%	31	6,180	112
1003	その他の急性上気道感染症	6,673,667	0.3%	63	2,490	2.6%	34	872	15.3%	17	7,653	103

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,035,337,590	96,140	5,717

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	8,712,841	0.4%	55	630	0.7%	71	260	4.5%	57	33,511	55
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,916,761	0.2%	72	1,965	2.0%	40	655	11.5%	27	7,507	105
1006	アレルギー性鼻炎	15,685,576	0.8%	39	7,141	7.4%	9	1,344	23.5%	11	11,671	95
1007	慢性副鼻腔炎	3,438,158	0.2%	81	1,388	1.4%	53	387	6.8%	44	8,884	100
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	731,010	0.0%	108	297	0.3%	89	97	1.7%	85	7,536	104
1009	慢性閉塞性肺疾患	9,278,973	0.5%	52	1,577	1.6%	47	199	3.5%	66	46,628	43
1010	喘息	22,526,420	1.1%	28	3,939	4.1%	23	532	9.3%	34	42,343	49
1011	その他の呼吸器系の疾患	44,117,886	2.2%	11	2,965	3.1%	29	865	15.1%	18	51,003	37
X I . 消化器系の疾患		136,275,862	6.7%		24,801	25.8%		2,721	47.6%		50,083	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	15,474	0.0%	121	7	0.0%	120	5	0.1%	116	3,095	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	26,312	0.0%	120	7	0.0%	120	4	0.1%	117	6,578	109
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	4,239,918	0.2%	75	1,266	1.3%	57	202	3.5%	63	20,990	74
1105	胃炎及び十二指腸炎	15,559,774	0.8%	41	8,907	9.3%	7	1,362	23.8%	10	11,424	96
1106	痔核	2,051,775	0.1%	94	545	0.6%	79	120	2.1%	78	17,098	86
1107	アルコール性肝疾患	549,164	0.0%	111	212	0.2%	93	32	0.6%	103	17,161	85
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	865,798	0.0%	104	617	0.6%	74	76	1.3%	88	11,392	97
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,718,935	0.2%	78	467	0.5%	81	74	1.3%	89	50,256	38
1110	その他の肝疾患	5,236,422	0.3%	69	2,831	2.9%	32	721	12.6%	23	7,263	107
1111	胆石症及び胆のう炎	15,116,759	0.7%	42	779	0.8%	67	156	2.7%	73	96,902	27
1112	膵疾患	4,018,871	0.2%	76	567	0.6%	78	152	2.7%	74	26,440	66
1113	その他の消化器系の疾患	84,876,660	4.2%	5	17,515	18.2%	4	1,783	31.2%	4	47,603	42
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		37,065,785	1.8%		10,310	10.7%		1,990	34.8%		18,626	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	3,220,343	0.2%	84	1,469	1.5%	52	536	9.4%	33	6,008	113
1202	皮膚炎及び湿疹	19,128,032	0.9%	32	7,382	7.7%	8	1,484	26.0%	6	12,890	92
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	14,717,410	0.7%	43	5,482	5.7%	18	1,157	20.2%	13	12,720	93
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		173,961,958	8.5%		20,747	21.6%		2,509	43.9%		69,335	
1301	炎症性多発性関節障害	35,606,330	1.7%	17	3,933	4.1%	24	486	8.5%	38	73,264	33
1302	関節症	33,397,049	1.6%	18	5,533	5.8%	16	718	12.6%	24	46,514	45
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	23,319,938	1.1%	27	3,832	4.0%	26	635	11.1%	29	36,724	53
1304	椎間板障害	7,405,397	0.4%	59	1,567	1.6%	49	298	5.2%	52	24,850	68
1305	頸腕症候群	1,501,751	0.1%	98	1,274	1.3%	56	195	3.4%	68	7,701	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	6,771,090	0.3%	62	4,099	4.3%	22	699	12.2%	25	9,687	99
1307	その他の脊柱障害	7,243,408	0.4%	61	637	0.7%	70	184	3.2%	70	39,366	52
1308	肩の傷害<損傷>	3,370,208	0.2%	83	1,654	1.7%	46	272	4.8%	55	12,390	94
1309	骨の密度及び構造の障害	29,285,676	1.4%	21	5,270	5.5%	20	629	11.0%	30	46,559	44
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	26,061,111	1.3%	22	5,358	5.6%	19	1,027	18.0%	15	25,376	67

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,035,337,590	96,140	5,717

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※			患者一人当たりの医療費(円)	
							患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	154,523,137	7.6%		8,195	8.5%		1,391	24.3%		111,088	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	5,160,883	0.3%	70	770	0.8%	68	179	3.1%	72	28,832	62
1402 腎不全	118,349,565	5.8%	3	2,202	2.3%	37	208	3.6%	62	568,988	4
1403 尿路結石症	3,009,126	0.1%	86	344	0.4%	85	111	1.9%	81	27,109	64
1404 その他の腎尿路系の疾患	11,155,750	0.5%	46	2,938	3.1%	30	728	12.7%	22	15,324	89
1405 前立腺肥大(症)	6,114,933	0.3%	67	1,830	1.9%	43	226	4.0%	59	27,057	65
1406 その他の男性生殖器の疾患	345,263	0.0%	115	134	0.1%	101	51	0.9%	96	6,770	108
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,556,711	0.1%	88	734	0.8%	69	124	2.2%	77	20,619	76
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	7,830,906	0.4%	56	801	0.8%	64	362	6.3%	48	21,632	73
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	3,483,431	0.2%		55	0.1%		24	0.4%		145,143	
1501 流産	138,189	0.0%	117	14	0.0%	114	6	0.1%	115	23,032	71
1502 妊娠高血圧症候群	1,225,766	0.1%	101	8	0.0%	117	2	0.0%	121	612,883	3
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	2,119,476	0.1%	92	36	0.0%	112	20	0.3%	106	105,974	24
XVI. 周産期に発生した病態	2,651,114	0.1%		15	0.0%		6	0.1%		441,852	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	491,011	0.0%	112	8	0.0%	117	4	0.1%	117	122,753	22
1602 その他の周産期に発生した病態	2,160,103	0.1%	91	13	0.0%	115	4	0.1%	117	540,026	5
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,016,842	0.1%		326	0.3%		74	1.3%		40,768	
1701 心臓の先天奇形	62,807	0.0%	119	21	0.0%	113	10	0.2%	112	6,281	111
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	2,954,035	0.1%	87	309	0.3%	88	66	1.2%	91	44,758	47
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,642,443	1.9%		9,541	9.9%		1,864	32.6%		20,731	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,642,443	1.9%	15	9,541	9.9%	6	1,864	32.6%	3	20,731	75
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	77,889,602	3.8%		3,729	3.9%		1,116	19.5%		69,794	
1901 骨折	41,955,415	2.1%	13	1,290	1.3%	55	277	4.8%	54	151,464	17
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	4,656,491	0.2%	74	100	0.1%	106	45	0.8%	98	103,478	25
1903 熱傷及び腐食	3,769,600	0.2%	77	45	0.0%	110	25	0.4%	105	150,784	18
1904 中毒	1,754,287	0.1%	96	200	0.2%	95	116	2.0%	79	15,123	91
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	25,753,809	1.3%	24	2,431	2.5%	35	865	15.1%	18	29,773	59
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9,004,788	0.4%		2,166	2.3%		381	6.7%		23,635	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	68,843	0.0%	118	11	0.0%	116	7	0.1%	114	9,835	98
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	2,526	0.0%	124	5	0.0%	122	3	0.1%	120	842	124
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,035,337,590	96,140	5,717

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	8,933,419	0.4%	54	2,150	2.2%	38	372	6.5%	46	24,015	69
XXII. 特殊目的用コード		29,224,030	1.4%		2,938	3.1%		1,370	24.0%		21,331	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	3,175,992	0.2%	85	2	0.0%	124	1	0.0%	123	3,175,992	1
2220	その他の特殊目的用コード	26,048,038	1.3%	23	2,937	3.1%	31	1,370	24.0%	9	19,013	80
分類外		1,296,209	0.1%		59	0.1%		20	0.3%		64,810	
9999	分類外	1,296,209	0.1%	100	59	0.1%	109	20	0.3%	106	64,810	34

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 地区比較

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	64,121,825	8.8%	286
2	0901	高血圧性疾患	36,329,343	5.0%	842
3	0402	糖尿病	34,752,754	4.8%	796
4	1113	その他の消化器系の疾患	29,253,762	4.0%	603
5	1402	腎不全	27,918,838	3.8%	66
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,377,231	3.6%	87
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,282,316	3.6%	67
8	0903	その他の心疾患	23,354,816	3.2%	343
9	0606	その他の神経系の疾患	20,709,782	2.9%	458
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	20,427,066	2.8%	336

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【鶉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	5,853,665	6.7%	109
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	5,020,115	5.7%	35
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,957,326	5.7%	87
4	0901	高血圧性疾患	4,552,281	5.2%	121
5	1901	骨折	4,382,569	5.0%	18
6	0902	虚血性心疾患	3,621,443	4.1%	34
7	1301	炎症性多発性関節障害	3,153,358	3.6%	30
8	0606	その他の神経系の疾患	2,991,729	3.4%	75
9	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,869,490	3.3%	24
10	0403	脂質異常症	2,832,902	3.2%	84

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	4,085,660	8.2%	6
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,913,489	7.9%	20
3	0402	糖尿病	3,913,327	7.9%	62
4	0901	高血圧性疾患	3,593,509	7.2%	63
5	0606	その他の神経系の疾患	3,299,259	6.6%	35
6	1901	骨折	2,741,531	5.5%	11
7	0507	その他の精神及び行動の障害	2,091,289	4.2%	3
8	1302	関節症	1,997,569	4.0%	28
9	0403	脂質異常症	1,619,269	3.3%	42
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,561,939	3.1%	42

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【新中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	13,310,099	14.5%	6
2	1113	その他の消化器系の疾患	6,187,101	6.7%	102
3	0402	糖尿病	6,163,028	6.7%	101
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,651,552	5.1%	11
5	0901	高血圧性疾患	4,595,579	5.0%	106
6	0903	その他の心疾患	3,702,400	4.0%	49
7	0403	脂質異常症	3,596,328	3.9%	85
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,249,661	2.5%	23
9	0606	その他の神経系の疾患	2,216,207	2.4%	67
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,170,917	2.4%	75

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,540,769	12.3%	48
2	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	11,946,533	11.7%	17
3	0402	糖尿病	7,846,589	7.7%	123
4	0901	高血圧性疾患	5,774,882	5.7%	131
5	0903	その他の心疾患	5,597,773	5.5%	44
6	1402	腎不全	4,935,341	4.8%	11
7	1113	その他の消化器系の疾患	4,781,003	4.7%	89
8	0403	脂質異常症	3,019,765	3.0%	99
9	0905	脳内出血	2,898,663	2.8%	3
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,554,295	2.5%	14

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【藤川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	9,961,746	8.8%	11
2	0402	糖尿病	7,620,400	6.7%	103
3	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	6,877,031	6.1%	36
4	0903	その他の心疾患	5,229,434	4.6%	48
5	1302	関節症	5,195,581	4.6%	39
6	0901	高血圧性疾患	4,929,611	4.3%	118
7	1113	その他の消化器系の疾患	4,731,443	4.2%	84
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,722,116	3.3%	30
9	0702	白内障	3,677,145	3.2%	32
10	1903	熱傷及び腐食	3,614,837	3.2%	2

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,623,939	12.3%	6
2	1402	腎不全	5,771,318	9.3%	6
3	0402	糖尿病	5,131,161	8.3%	64
4	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,318,188	7.0%	29
5	0901	高血圧性疾患	3,392,990	5.5%	75
6	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	3,064,527	5.0%	2
7	0906	脳梗塞	2,999,348	4.8%	16
8	1113	その他の消化器系の疾患	2,106,483	3.4%	56
9	0403	脂質異常症	1,996,212	3.2%	58
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,971,676	3.2%	36

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【石打】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	8,023,501	8.0%	146
2	0903	その他の心疾患	7,314,223	7.3%	51
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,519,316	6.5%	40
4	0109	その他の感染症及び寄生虫症	6,518,562	6.5%	19
5	0901	高血圧性疾患	6,114,499	6.1%	143
6	1302	関節症	4,780,414	4.8%	33
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,565,088	4.6%	72
8	0105	ウイルス性肝炎	3,563,068	3.6%	15
9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,342,898	3.3%	8
10	0403	脂質異常症	3,238,234	3.2%	111

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	28,367,880	6.9%	503
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	23,211,326	5.6%	155
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	21,263,548	5.2%	56
4	0903	その他の心疾患	20,467,715	5.0%	218
5	0901	高血圧性疾患	18,680,668	4.5%	520
6	1402	腎不全	17,766,833	4.3%	45
7	0606	その他の神経系の疾患	17,516,806	4.3%	252
8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	15,446,835	3.8%	35
9	1113	その他の消化器系の疾患	12,441,261	3.0%	379
10	0403	脂質異常症	11,206,547	2.7%	400

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【赤堀】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1113	その他の消化器系の疾患	10,740,995	8.0%	108
2	0912	その他の循環器系の疾患	9,434,678	7.0%	27
3	0903	その他の心疾患	6,633,110	4.9%	73
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,532,061	4.8%	58
5	0209	白血病	5,805,471	4.3%	1
6	0402	糖尿病	5,752,434	4.3%	143
7	0901	高血圧性疾患	5,233,134	3.9%	135
8	1402	腎不全	4,554,808	3.4%	15
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	4,195,200	3.1%	47
10	0902	虚血性心疾患	4,014,361	3.0%	45

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	27,577,003	19.7%	17
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,612,360	9.7%	43
3	0402	糖尿病	10,417,062	7.4%	125
4	0903	その他の心疾患	7,029,851	5.0%	59
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,796,469	4.1%	17
6	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	5,421,820	3.9%	27
7	1113	その他の消化器系の疾患	5,377,738	3.8%	109
8	0901	高血圧性疾患	4,267,761	3.0%	129
9	0606	その他の神経系の疾患	4,253,803	3.0%	81
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,778,895	2.7%	86

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0603	てんかん	3,431,950	21.2%	8
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,650,619	16.4%	2
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1,981,905	12.2%	6
4	0506	知的障害<精神遅滞>	1,668,207	10.3%	5
5	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,559,532	9.6%	4
6	0903	その他の心疾患	666,286	4.1%	6
7	1113	その他の消化器系の疾患	475,881	2.9%	11
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	340,232	2.1%	5
9	1309	骨の密度及び構造の障害	319,182	2.0%	2
10	0606	その他の神経系の疾患	277,923	1.7%	5

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	36,329,343	842	40.7%
2	0402	糖尿病	34,752,754	796	38.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,584,727	721	34.8%
4	0403	脂質異常症	19,085,081	606	29.3%
5	1113	その他の消化器系の疾患	29,253,762	603	29.1%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	7,646,684	531	25.6%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,967,682	508	24.5%
8	2220	その他の特殊目的用コード	9,413,225	501	24.2%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	12,420,658	495	23.9%
10	1006	アレルギー性鼻炎	6,087,686	485	23.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【鶉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,552,281	121	46.7%
2	0402	糖尿病	5,853,665	109	42.1%
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,957,326	87	33.6%
4	0403	脂質異常症	2,832,902	84	32.4%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,469,387	84	32.4%
6	0606	その他の神経系の疾患	2,991,729	75	29.0%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	686,265	68	26.3%
8	1006	アレルギー性鼻炎	760,755	66	25.5%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,225,706	63	24.3%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	832,855	62	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,593,509	63	37.1%
2	0402	糖尿病	3,913,327	62	36.5%
3	1113	その他の消化器系の疾患	1,410,364	51	30.0%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	817,437	48	28.2%
5	1202	皮膚炎及び湿疹	609,536	43	25.3%
6	0403	脂質異常症	1,619,269	42	24.7%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,561,939	42	24.7%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	450,941	41	24.1%
9	0703	屈折及び調節の障害	160,006	40	23.5%
10	0606	その他の神経系の疾患	3,299,259	35	20.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【新中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,595,579	106	38.4%
2	1113	その他の消化器系の疾患	6,187,101	102	37.0%
3	0402	糖尿病	6,163,028	101	36.6%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,423,187	87	31.5%
5	1202	皮膚炎及び湿疹	1,087,637	86	31.2%
6	0403	脂質異常症	3,596,328	85	30.8%
7	0703	屈折及び調節の障害	250,485	80	29.0%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,170,917	75	27.2%
9	0606	その他の神経系の疾患	2,216,207	67	24.3%
9	2220	その他の特殊目的用コード	1,160,271	67	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	5,774,882	131	38.9%
2	0402	糖尿病	7,846,589	123	36.5%
3	0403	脂質異常症	3,019,765	99	29.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,213,101	99	29.4%
5	2220	その他の特殊目的用コード	1,397,143	95	28.2%
6	0703	屈折及び調節の障害	362,769	94	27.9%
7	1113	その他の消化器系の疾患	4,781,003	89	26.4%
8	1006	アレルギー性鼻炎	989,805	87	25.8%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,351,324	84	24.9%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,361,562	83	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【藤川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,929,611	118	52.4%
2	0402	糖尿病	7,620,400	103	45.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,731,443	84	37.3%
4	0403	脂質異常症	2,474,200	82	36.4%
5	0703	屈折及び調節の障害	356,593	75	33.3%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,603,646	69	30.7%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,387,167	66	29.3%
8	0606	その他の神経系の疾患	1,814,919	59	26.2%
9	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,215,269	58	25.8%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	738,359	55	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,392,990	75	48.4%
2	0402	糖尿病	5,131,161	64	41.3%
3	0403	脂質異常症	1,996,212	58	37.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	2,106,483	56	36.1%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	901,818	49	31.6%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	600,273	48	31.0%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	564,638	42	27.1%
8	0703	屈折及び調節の障害	146,872	39	25.2%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,971,676	36	23.2%
9	0606	その他の神経系の疾患	1,541,253	36	23.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【石打】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	8,023,501	146	43.6%
2	0901	高血圧性疾患	6,114,499	143	42.7%
3	0403	脂質異常症	3,238,234	111	33.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	2,413,303	104	31.0%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,137,224	86	25.7%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	975,448	85	25.4%
7	1006	アレルギー性鼻炎	792,745	83	24.8%
8	0703	屈折及び調節の障害	277,159	79	23.6%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	791,236	77	23.0%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,565,088	72	21.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	18,680,668	520	42.9%
2	0402	糖尿病	28,367,880	503	41.5%
3	0403	脂質異常症	11,206,547	400	33.0%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,605,953	384	31.7%
5	1113	その他の消化器系の疾患	12,441,261	379	31.3%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,294,861	316	26.1%
7	1006	アレルギー性鼻炎	3,649,619	314	25.9%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	3,646,216	310	25.6%
9	2220	その他の特殊目的用コード	6,771,193	304	25.1%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,560,865	299	24.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【赤堀】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	5,752,434	143	45.1%
2	0901	高血圧性疾患	5,233,134	135	42.6%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,660,764	121	38.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	10,740,995	108	34.1%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,005,085	96	30.3%
6	0403	脂質異常症	2,824,691	95	30.0%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	845,672	87	27.4%
8	2220	その他の特殊目的用コード	1,703,406	86	27.1%
9	0606	その他の神経系の疾患	3,215,151	85	26.8%
10	0703	屈折及び調節の障害	309,574	79	24.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,267,761	129	37.3%
2	0402	糖尿病	10,417,062	125	36.1%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,499,574	115	33.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	5,377,738	109	31.5%
5	0403	脂質異常症	2,845,614	101	29.2%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	1,045,518	98	28.3%
6	0703	屈折及び調節の障害	400,723	98	28.3%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,778,895	86	24.9%
9	2220	その他の特殊目的用コード	1,600,895	83	24.0%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,149,380	82	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	475,881	11	73.3%
2	1202	皮膚炎及び湿疹	124,231	9	60.0%
3	0603	てんかん	3,431,950	8	53.3%
4	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	200,573	7	46.7%
4	2220	その他の特殊目的用コード	185,211	7	46.7%
6	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,981,905	6	40.0%
6	0903	その他の心疾患	666,286	6	40.0%
6	0402	糖尿病	53,538	6	40.0%
9	0506	知的障害<精神遅滞>	1,668,207	5	33.3%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	340,232	5	33.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

5. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に関係する重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は4億7,084万円で医療費全体に占める割合は23.1%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	80,280,229	11.4%	390,564,329	29.4%	470,844,558	23.1%
生活習慣病以外	625,822,191	88.6%	938,670,841	70.6%	1,564,493,032	76.9%
合計(円)	706,102,420		1,329,235,170		2,035,337,590	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

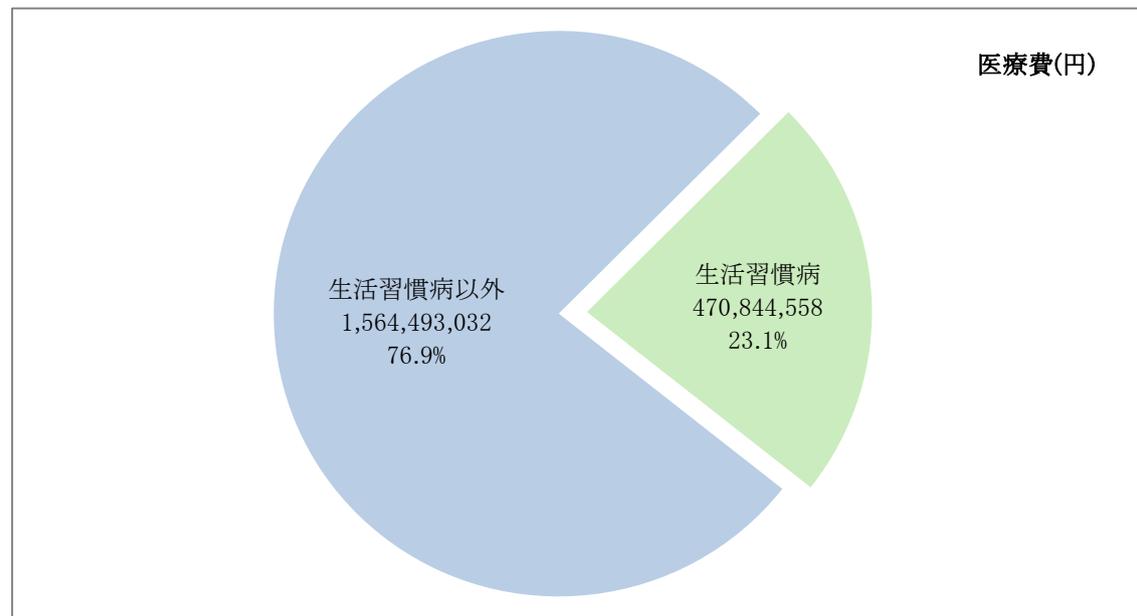
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

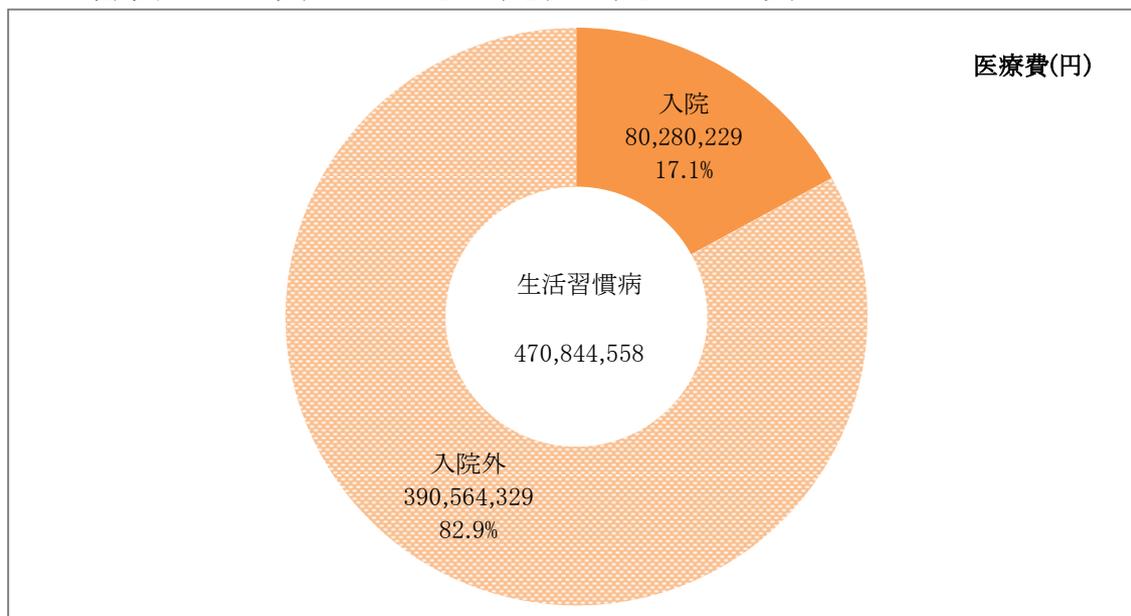
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は3,496人で、被保険者全体に占めるその割合は48.0%である。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	7,286	
B	医療機関受診者数(患者数)	5,733	78.7%
C	生活習慣病有 ※	3,496	48.0%
B-C	生活習慣病無 ※	2,237	30.7%
A-B	医療機関未受診者数	1,553	21.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

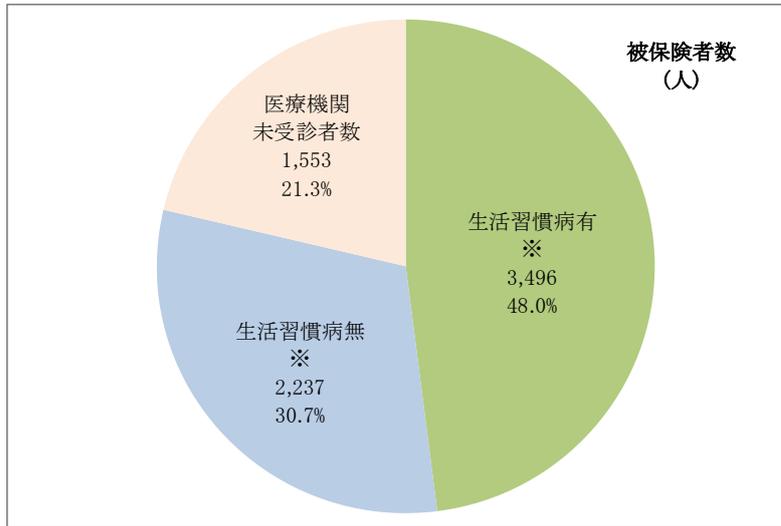
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

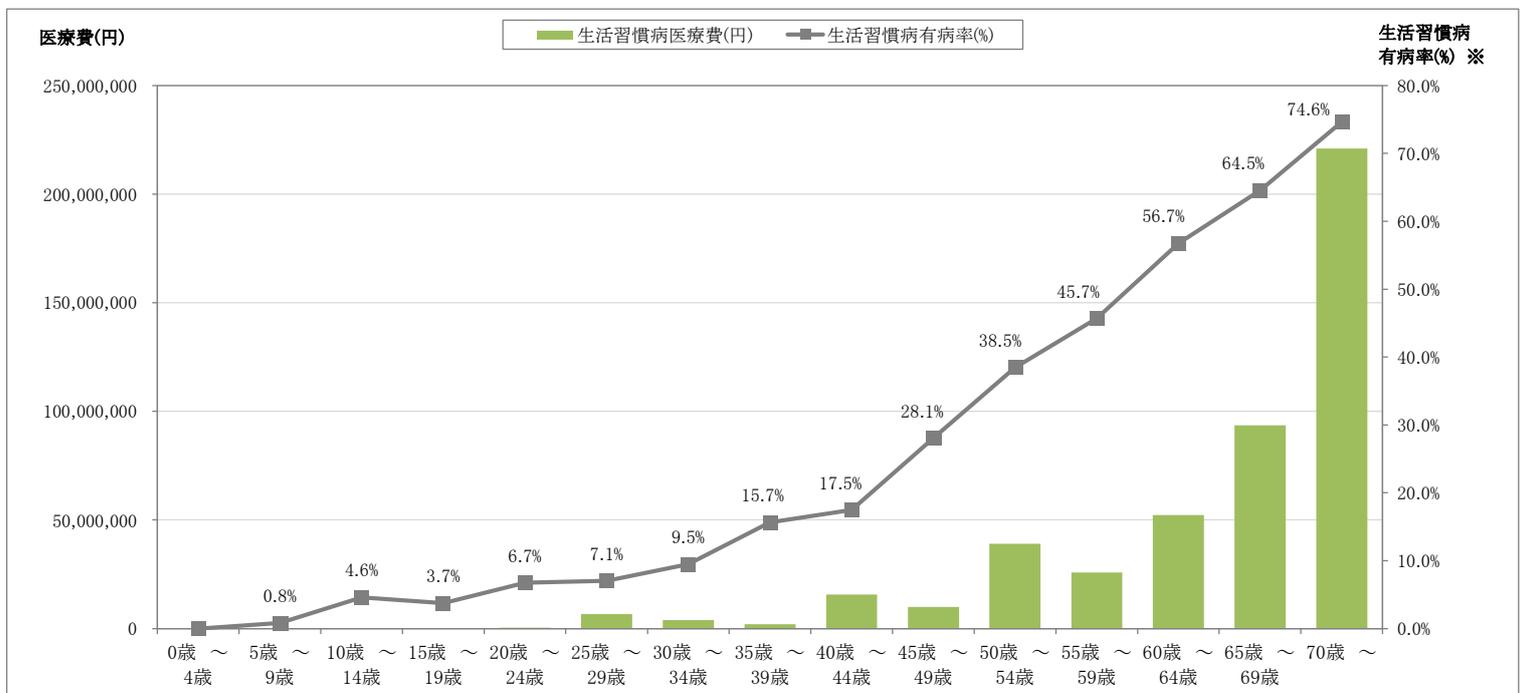
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

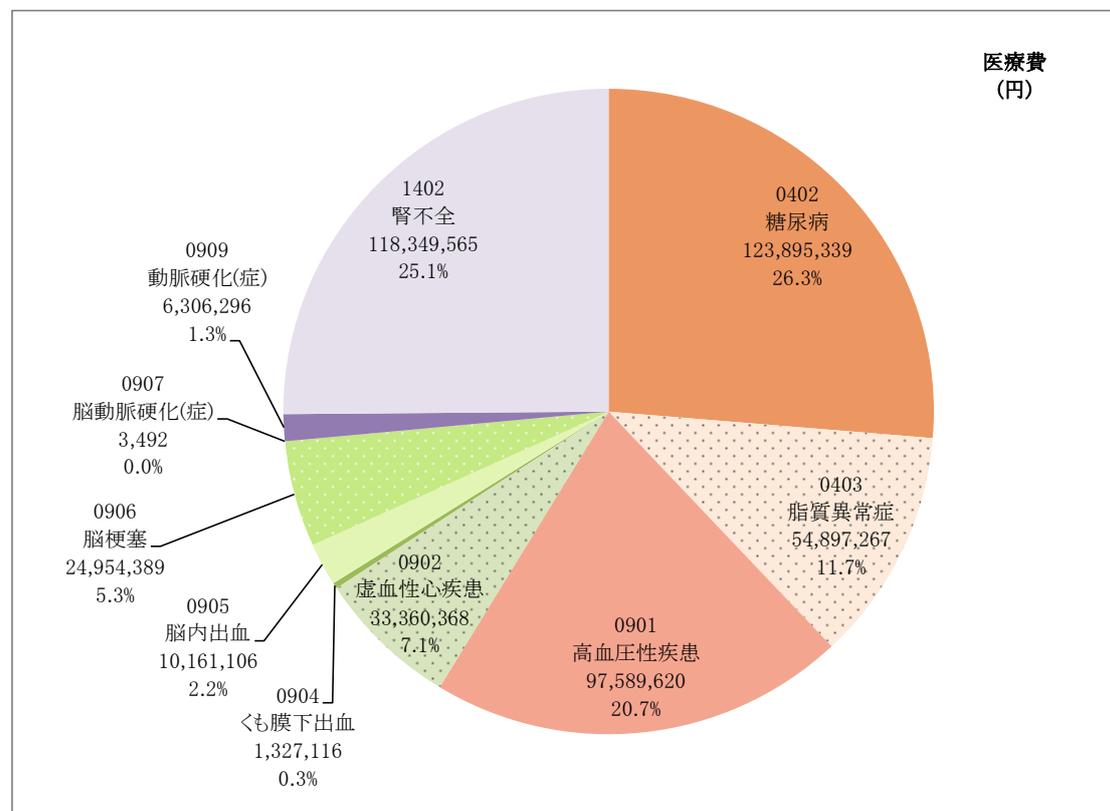
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	123,895,339	26.3%	1	2,281	31.3%	2	54,316	5
0403 脂質異常症	54,897,267	11.7%	4	1,768	24.3%	3	31,050	8
0901 高血圧性疾患	97,589,620	20.7%	3	2,388	32.8%	1	40,867	7
0902 虚血性心疾患	33,360,368	7.1%	5	668	9.2%	4	49,941	6
0904 くも膜下出血	1,327,116	0.3%	9	14	0.2%	9	94,794	3
0905 脳内出血	10,161,106	2.2%	7	67	0.9%	8	151,658	2
0906 脳梗塞	24,954,389	5.3%	6	308	4.2%	6	81,021	4
0907 脳動脈硬化(症)	3,492	0.0%	10	2	0.0%	10	1,746	10
0909 動脈硬化(症)	6,306,296	1.3%	8	402	5.5%	5	15,687	9
1402 腎不全	118,349,565	25.1%	2	208	2.9%	7	568,988	1
合計	470,844,558			3,496	48.0%		134,681	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

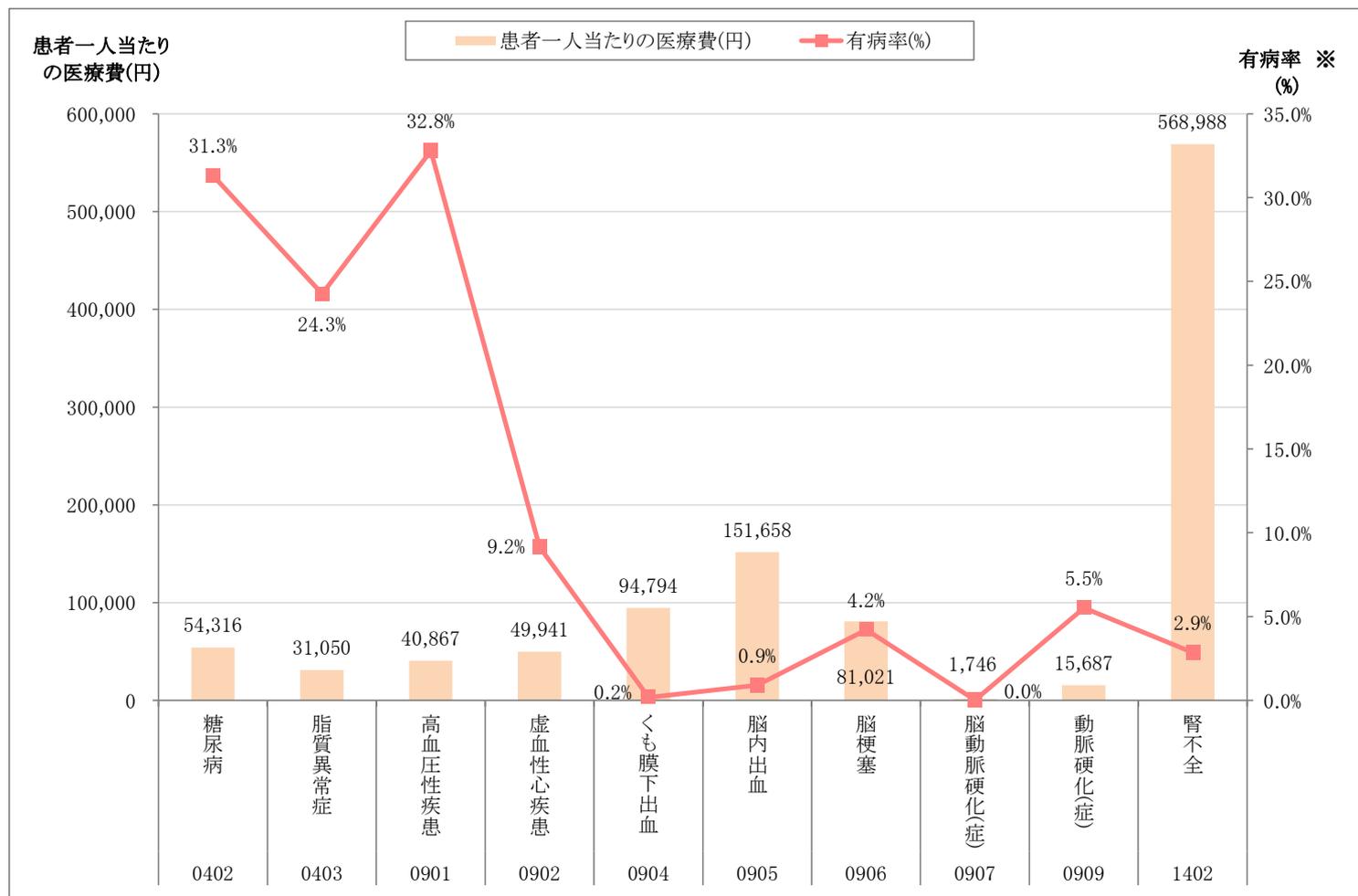
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

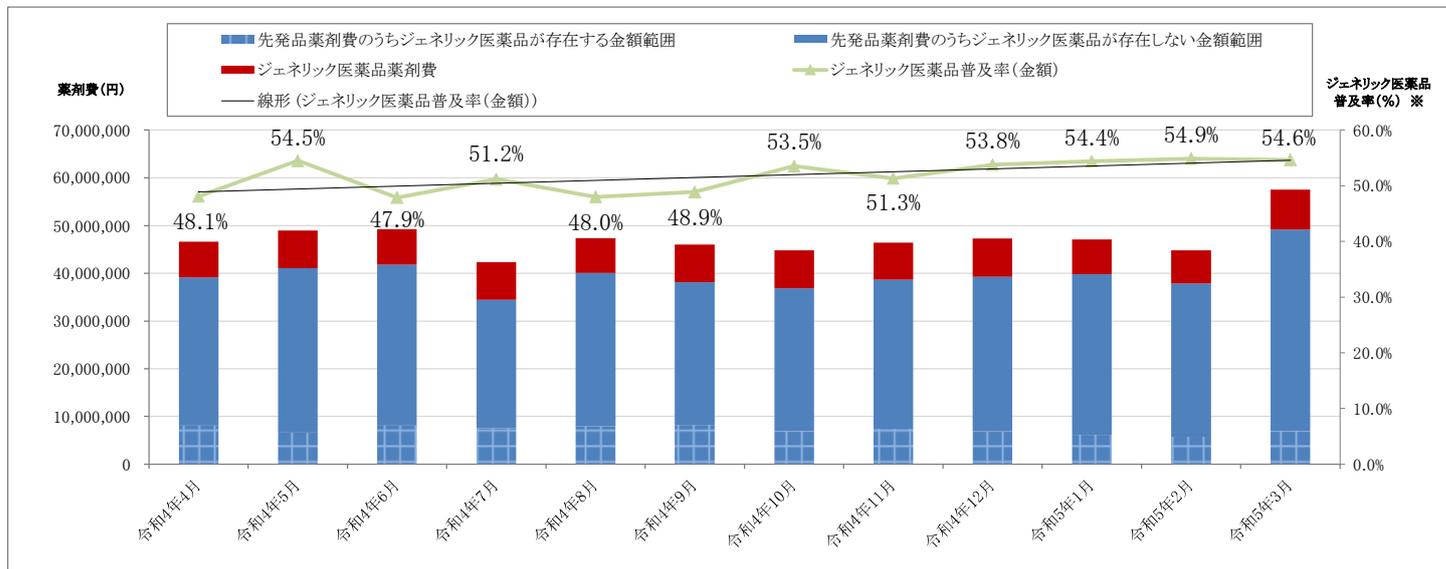
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

6. ジェネリック医薬品普及率

(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤費、ジェネリック医薬品薬剤費、全体の薬剤費総額に対するジェネリック医薬品薬剤費の割合を示す。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は51.6%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)



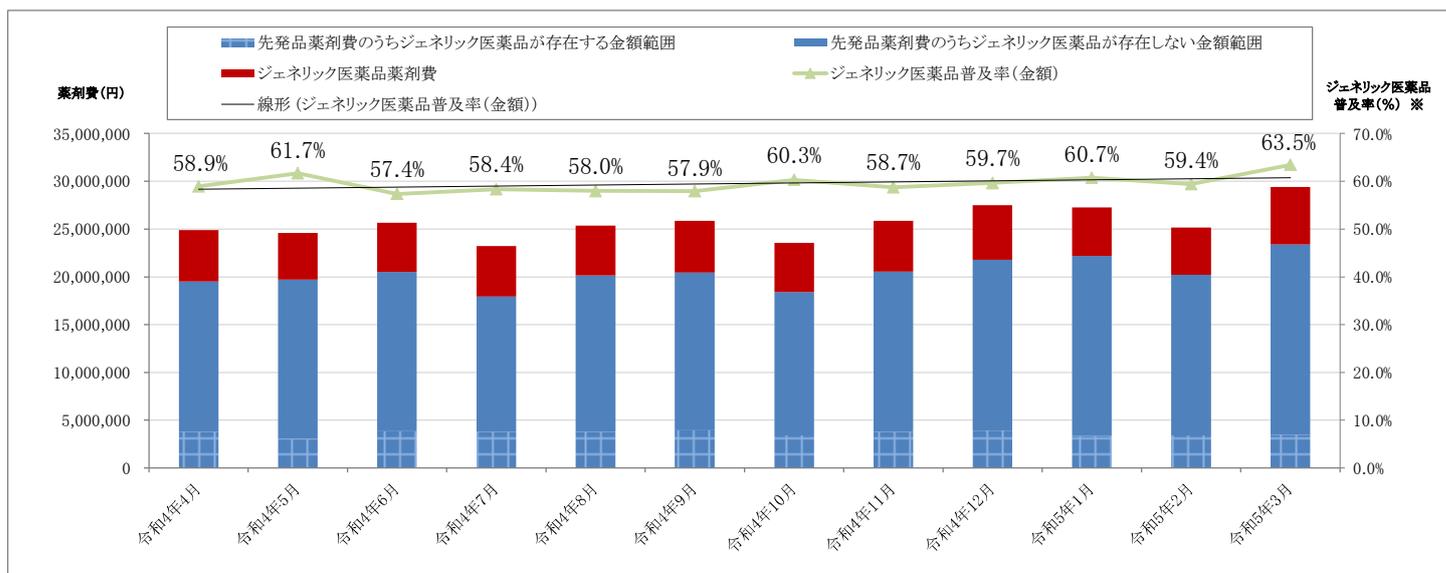
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

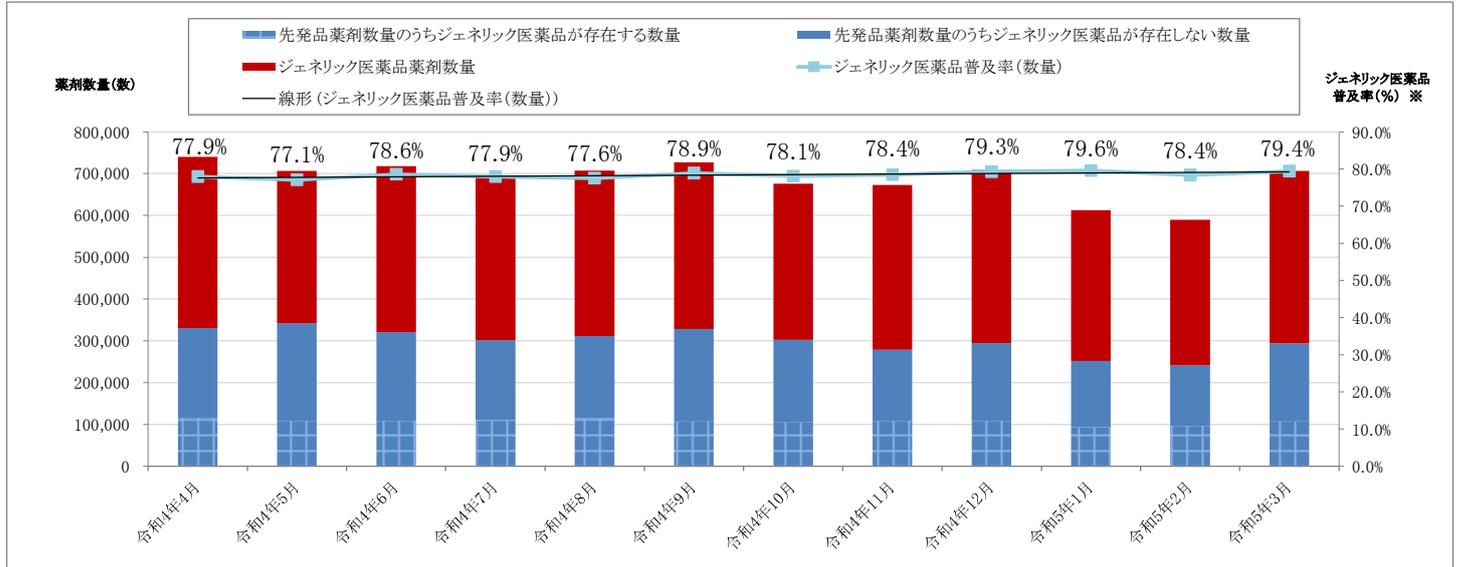
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は78.4%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



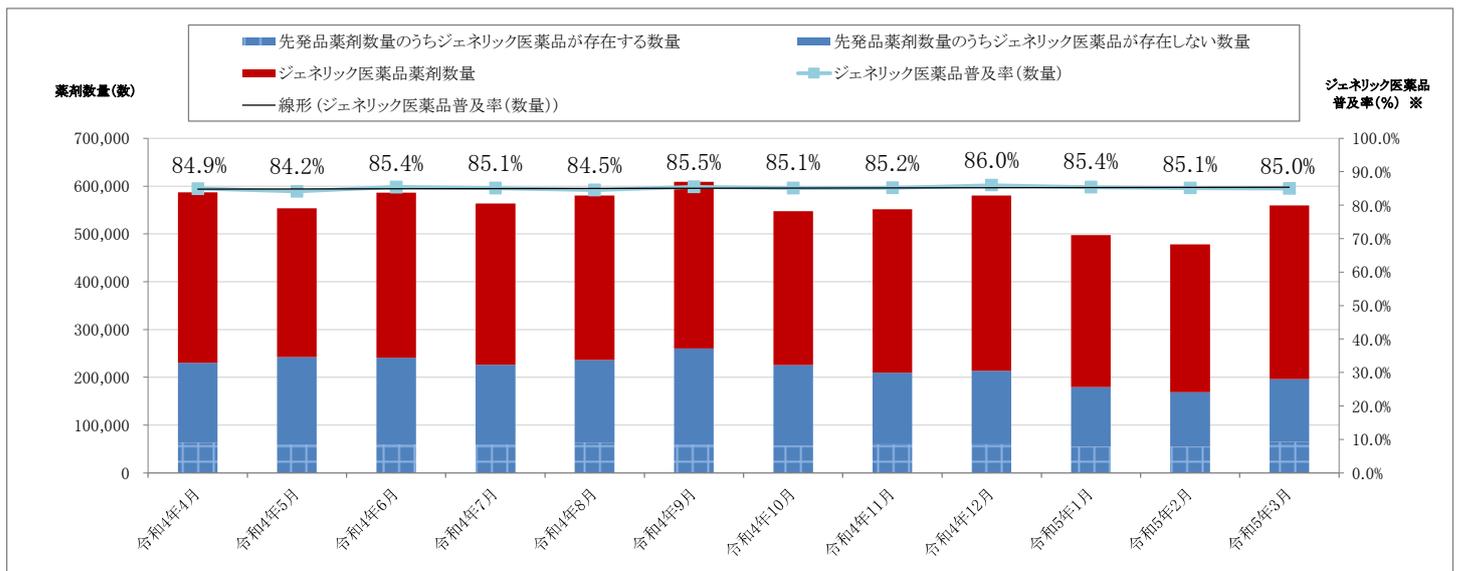
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

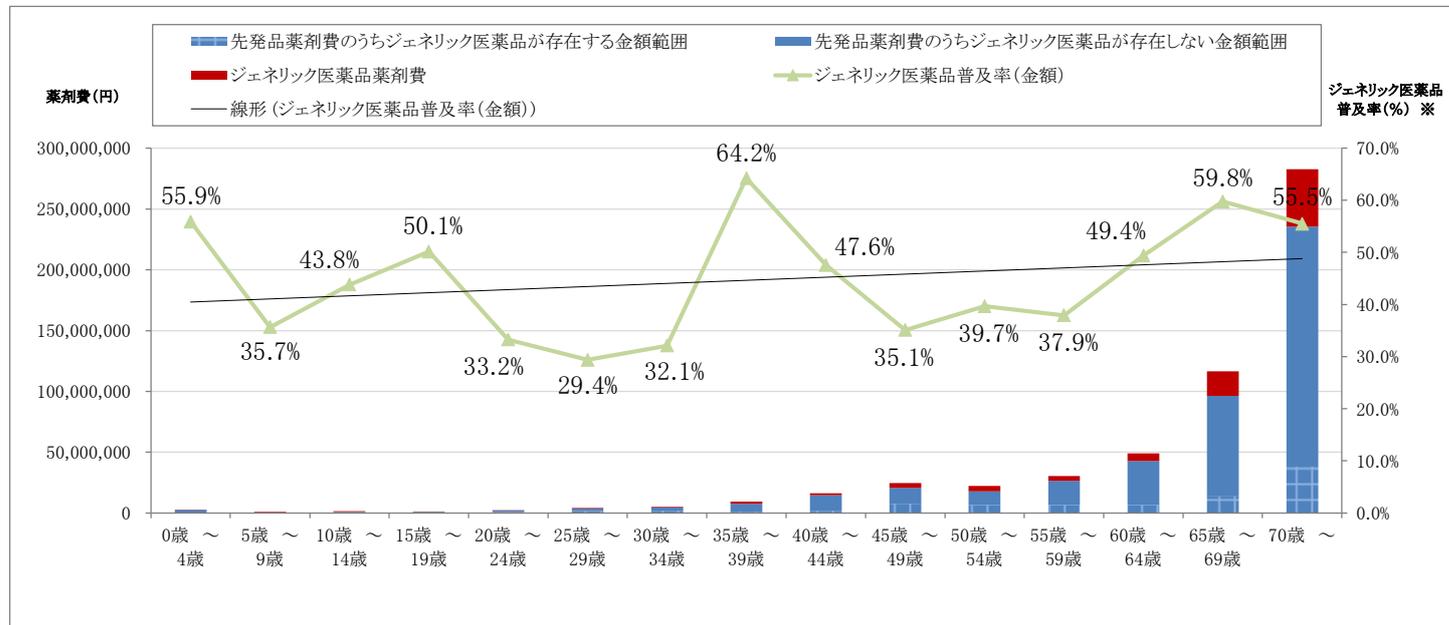
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

(3) 年齢階層別普及率

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト、金額ベース・数量ベース)を年齢階層別に示す。

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)

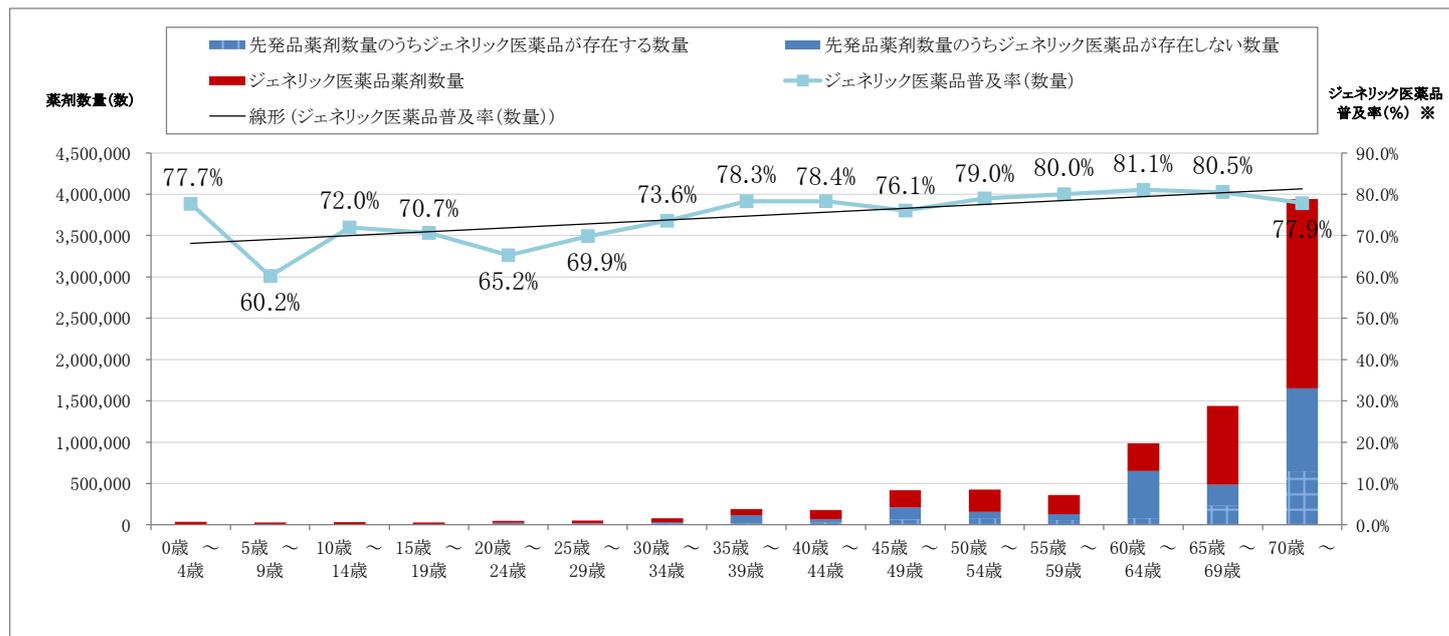


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

7. 特定健康診査結果分析

(1) 有所見者割合

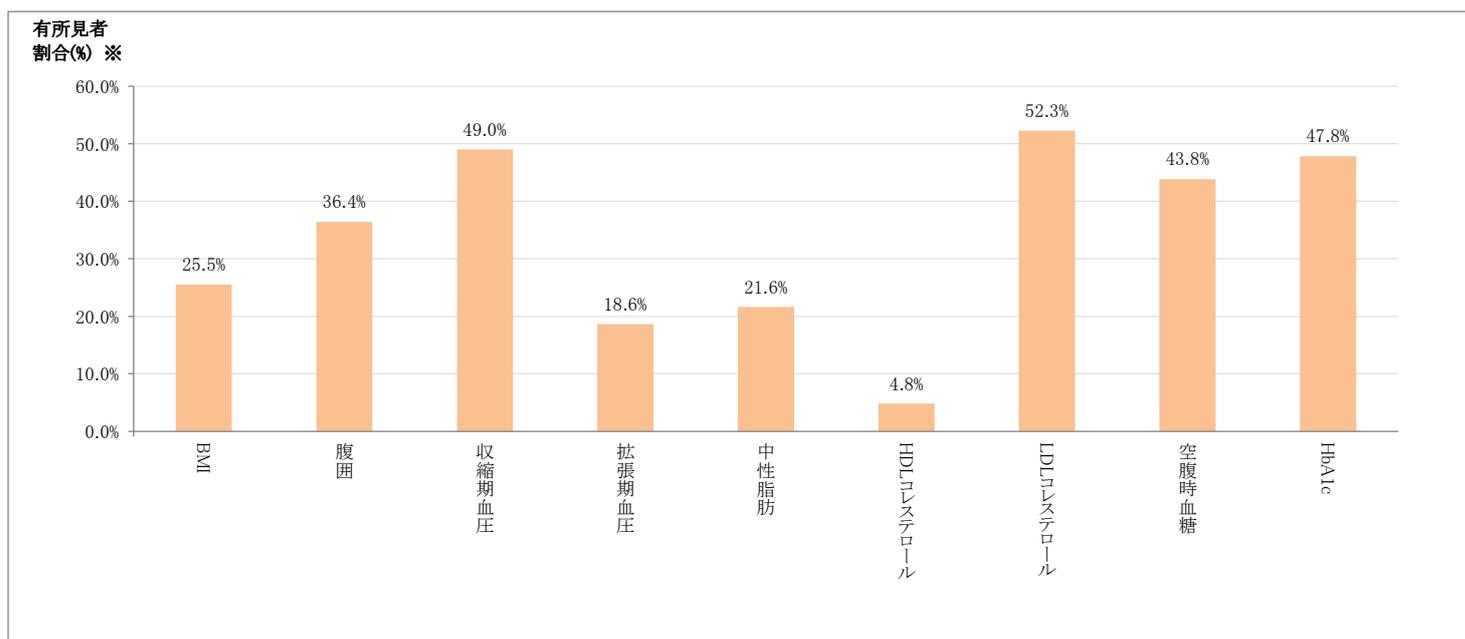
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下のとおりである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,370	2,370	2,368	2,369
有所見者数(人) ※	604	863	1,161	441
有所見者割合(%) ※	25.5%	36.4%	49.0%	18.6%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,370	2,370	2,370	1,782	2,370
有所見者数(人) ※	512	114	1,239	781	1,134
有所見者割合(%) ※	21.6%	4.8%	52.3%	43.8%	47.8%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

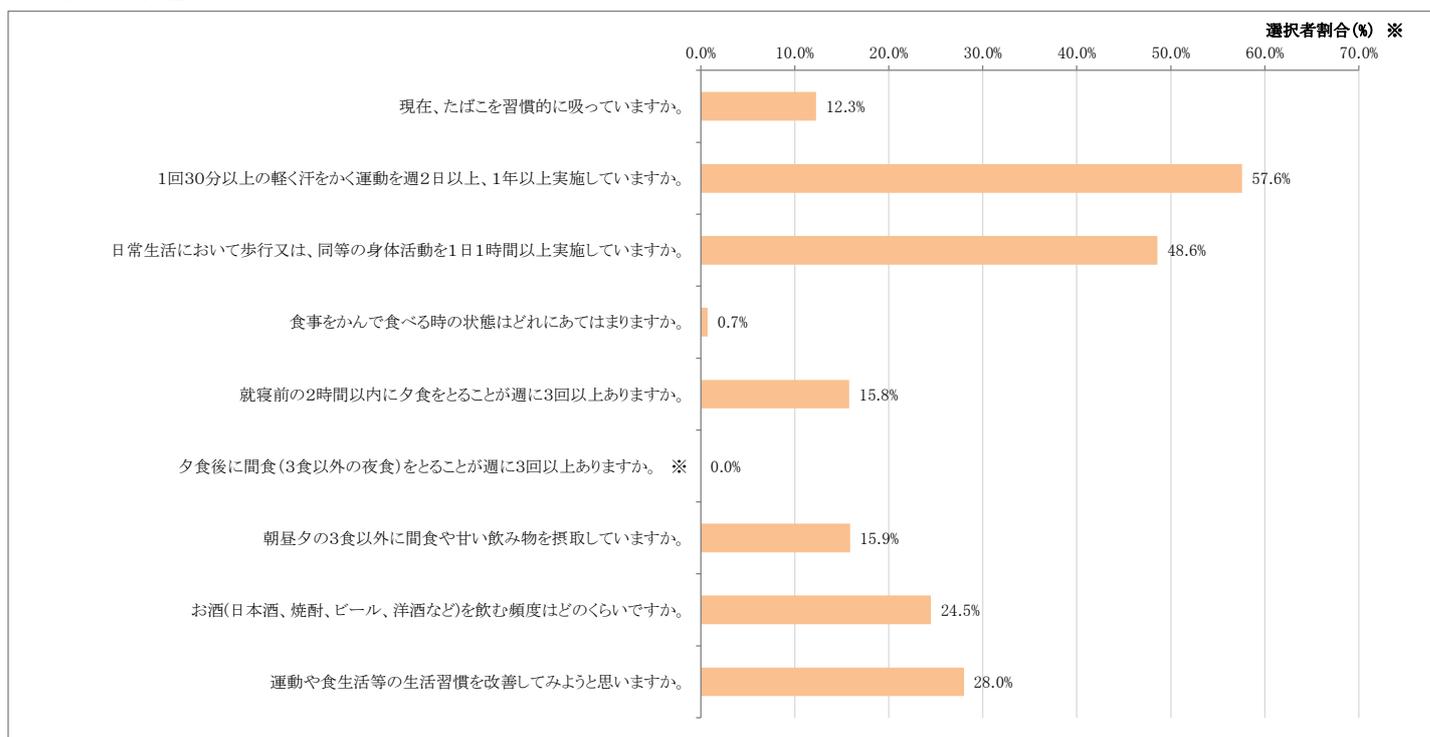
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)において、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問に対し、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合は以下のとおりである。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	2,370	2,366	2,366	2,213
選択者数(人) ※	291	1,362	1,149	16
選択者割合(%) ※	12.3%	57.6%	48.6%	0.7%

	食習慣		飲酒	生活習慣の改善
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ありますか。 ※	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。
質問の選択肢	「はい」	「はい」	「毎日」	「毎日」
質問回答者数(人) ※	2,214	0	2,215	2,364
選択者数(人) ※	350	0	352	579
選択者割合(%) ※	15.8%	0.0%	15.9%	24.5%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

※「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ありますか。」…平成30年度以降で廃止された質問項目。

8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況は以下のとおりである。基準該当は21.2%、予備群該当は11.8%である。

メタボリックシンドローム該当状況

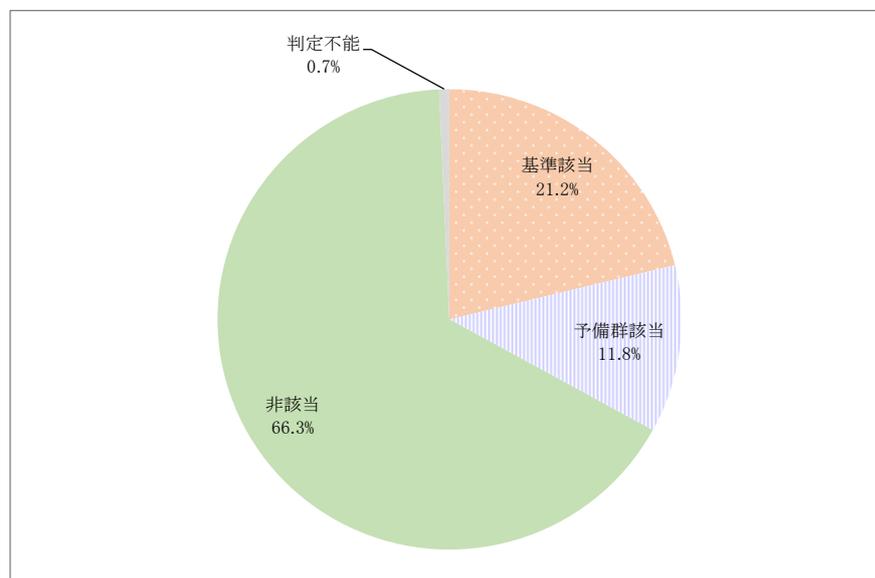
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	2,376	504	280	1,575	17
割合(%) ※	-	21.2%	11.8%	66.3%	0.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

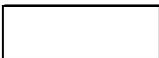
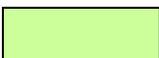
9. 健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下のとおり「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

健診受診者数:人

				尿蛋白区分					未測定	計
				A1	A2	A3				
				(-)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
GFR区分 (mL/分/ 1.73m ²)	G1	正常または 高値	≥ 90	140	6	1	0	0	0	147
	G2	正常または 軽度低下	60 ~ 89	1,580	45	14	3	1	2	1,645
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ~ 59	481	23	6	2	3	1	516
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ~ 44	35	3	9	3	1	0	51
	G4	高度低下	15 ~ 29	1	1	3	1	1	0	7
	G5	末期腎不全	< 15	2	0	0	1	0	1	4
	未測定				0	0	0	0	0	6
計				2,239	78	33	10	6	10	2,376

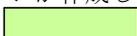
IV		=37人	1.6%
III		=77人	3.2%
II		=532人	22.4%
I		=1,720人	72.4%
不明		=10人	0.4%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

参考資料:一般社団法人 日本腎臓学会「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018」第1章 CKDの診断と意義 表1 CGA分類
株式会社東京医学社 ISBN:978-4-88563-293-8

※上記資料を用いて、株式会社データホライゾンが作成した。

死亡・末期腎不全・心血管死亡発症のリスクを  を基準に    の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

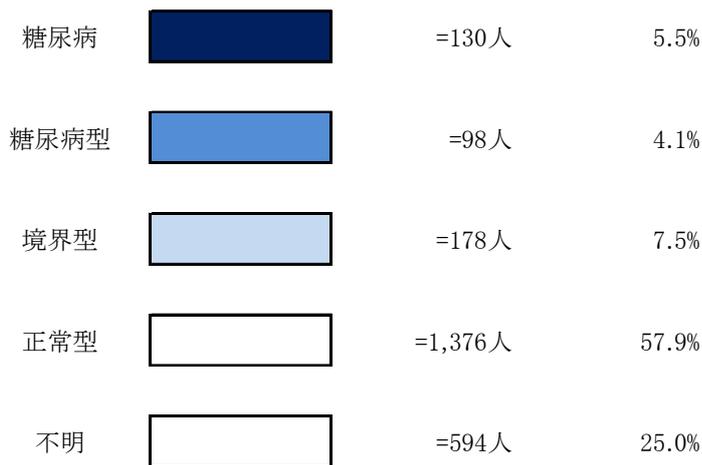
10. 健康診査データによる糖尿病診断

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下のとおり日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数(HbA1c×空腹時血糖)

健診受診者数：人

			HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)				未測定	計	
			正常	←—————→					糖尿病型
			~ 5.5%	5.6% ~	6.0% ~	6.5% ~			
空腹時血糖	正常	~ 99mg/dl	690	242	60	9	0	1,001	
	正常高値	100mg/dl ~	178	154	52	12	0	396	
	空腹時血糖異常	110mg/dl ~	40	68	70	29	0	207	
	糖尿病型	126mg/dl ~	5	9	34	130	0	178	
	未測定		323	152	61	52	6	594	
計			1,236	625	277	232	6	2,376	

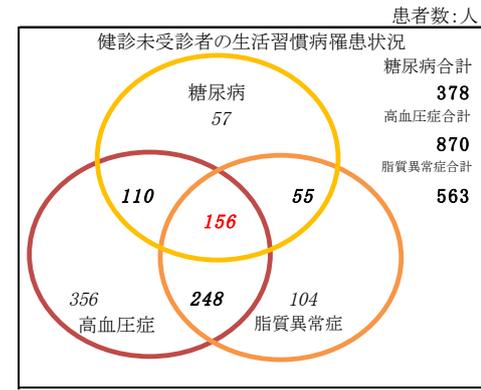


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

参考資料：一般社団法人 日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2019」
株式会社南江堂 ISBN:978-4-524-24148-4

11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	156	42,094,900	81,440,420	123,535,320	791,893
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	110	21,800,260	53,556,580	75,356,840	685,062
	糖尿病・脂質異常症	55	6,817,180	23,587,180	30,404,360	552,807
	高血圧症・脂質異常症	248	41,449,480	96,863,040	138,312,520	557,712
	合計	413	70,066,920	174,006,800	244,073,720	590,978
1疾病患者	糖尿病	57	27,060,680	21,124,280	48,184,960	845,350
	高血圧症	356	49,886,150	164,888,290	214,774,440	603,299
	脂質異常症	104	21,878,790	28,624,020	50,502,810	485,604
	合計	517	98,825,620	214,636,590	313,462,210	606,310

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

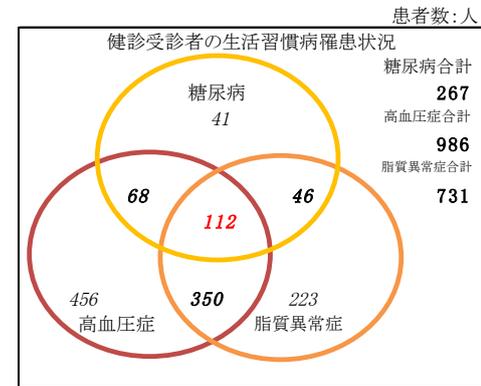
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	112	30,401,540	38,274,050	68,675,590	613,175
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	68	6,598,350	23,826,830	30,425,180	447,429
	糖尿病・脂質異常症	46	2,446,940	16,432,510	18,879,450	410,423
	高血圧症・脂質異常症	350	29,919,000	101,226,700	131,145,700	374,702
	合計	464	38,964,290	141,486,040	180,450,330	388,902
1疾病患者	糖尿病	41	2,253,700	14,035,950	16,289,650	397,309
	高血圧症	456	32,314,900	110,420,610	142,735,510	313,016
	脂質異常症	223	6,330,210	47,376,960	53,707,170	240,839
	合計	720	40,898,810	171,833,520	212,732,330	295,462

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の54.5%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の46.6%である。

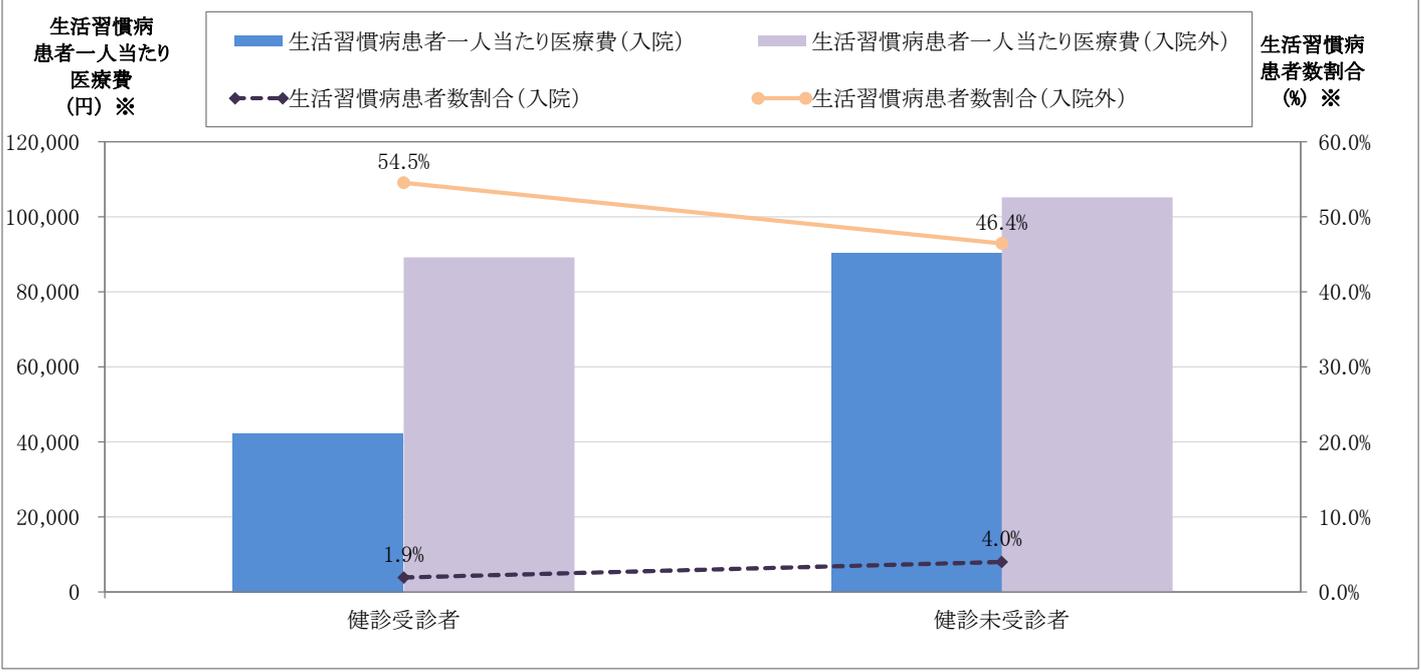
特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	2,376	50.5%	1,945,438	115,533,866	117,479,304
健診未受診者	2,332	49.5%	8,395,257	113,908,326	122,303,583
合計	4,708		10,340,695	229,442,192	239,782,887

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	46	1.9%	1,296	54.5%	1,296	54.5%	42,292	89,147	90,648
健診未受診者	93	4.0%	1,083	46.4%	1,086	46.6%	90,272	105,179	112,618
合計	139	3.0%	2,379	50.5%	2,382	50.6%	74,393	96,445	100,665

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。
 ※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
 ※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区別なく集計した実人数。
 ※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。
 ※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。
 ※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	297	29,695	3,353,861	3,383,556	5	59	59
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	896	27,642	2,487,047	2,514,689	8	71	71
	情報提供 (服薬有(質問))	1,165	1,887,783	108,787,134	110,674,917	32	1,155	1,155

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	297	5,939	56,845	57,348
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	896	3,455	35,029	35,418
	情報提供 (服薬有(質問))	1,165	58,993	94,188	95,822

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

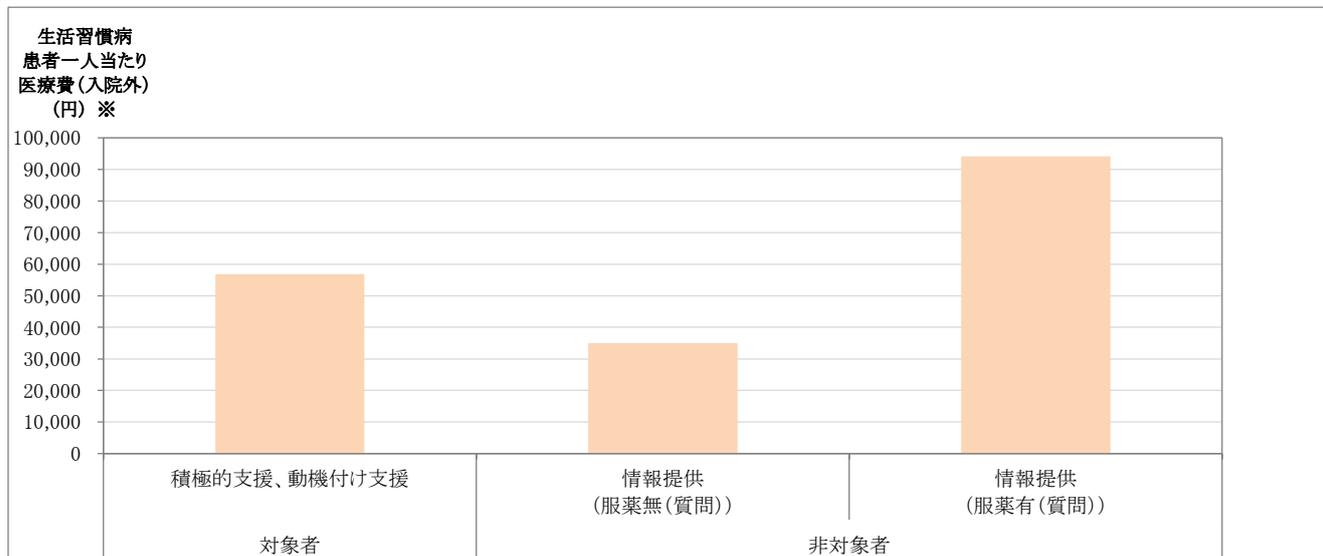
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費。

14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」「高齢による衰弱」に次ぐ第4位であり、全体の12.5%を占めている。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つである。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析し、現状把握する。

(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について以下に示す。骨折医療費は3,883万円で、医療費総計の2.0%を占めている。骨折医療費のうち、入院医療費は3,412万円、入院外医療費は470万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は100万円と高額である。

骨折医療費の状況

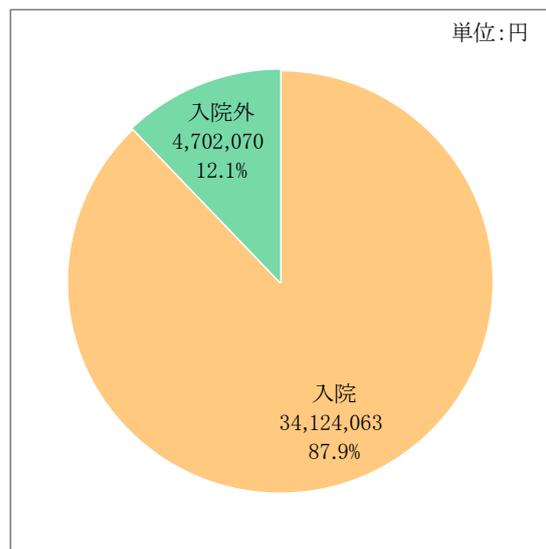
	A	B	B/A 医療費総計に 占める骨折医療費 の割合(%)	C 骨折患者数(人)	B/C 患者一人当たりの 骨折医療費(円)
	医療費総計(円)	骨折医療費(円)			
合計	1,896,117,060	38,826,133	2.0%	252	154,072
入院	659,656,670	34,124,063	5.2%	34	1,003,649
入院外	1,236,460,390	4,702,070	0.4%	248	18,960

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

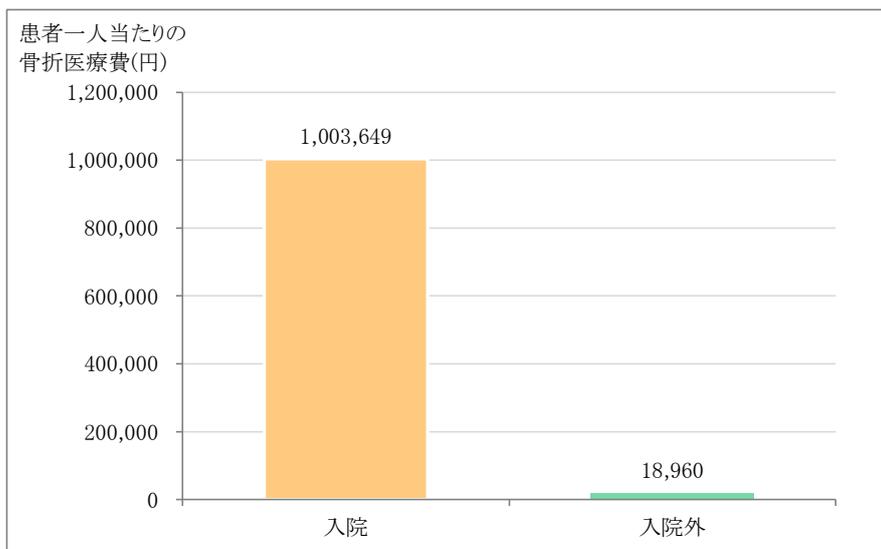
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

次に男女別の状況について示す。

骨折医療費3,883万円のうち、男性の医療費は1,557万円、女性の医療費は2,325万円であり、その構成比は男性40.1%、女性59.9%である。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では4.5%、男性2.8%、女性6.1%である。

男女別 骨折医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	38,826,133		252	154,072	4.5%
男性	15,573,991	40.1%	75	207,653	2.8%
女性	23,252,142	59.9%	177	131,368	6.1%

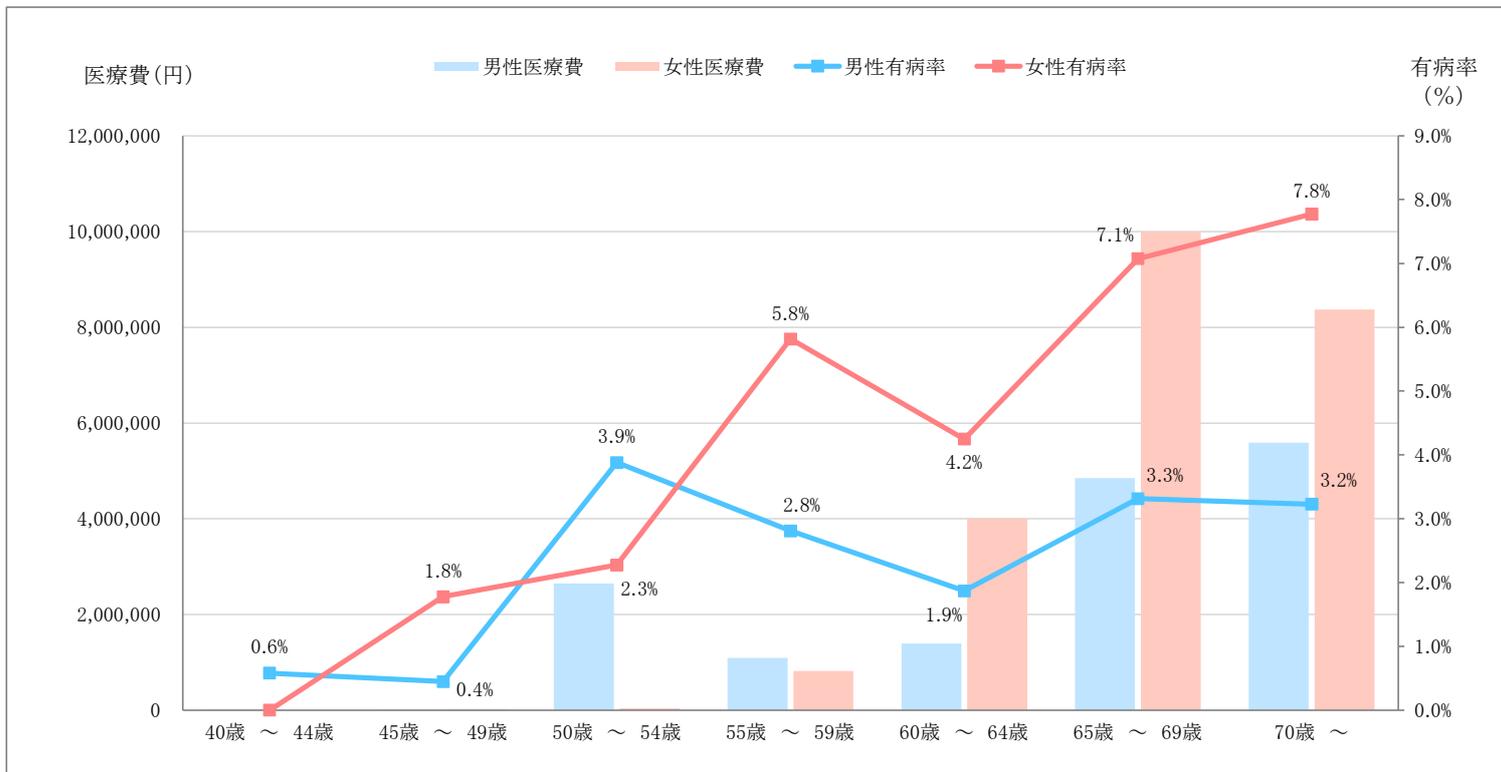
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされる。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」（「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」）である。

骨粗鬆症の医療費の状況について以下に示す。骨粗鬆症医療費は男女計で2,885万円、男性351万円、女性2,534万円であり、その構成比は男性12.2%、女性87.8%である。また、骨粗鬆症の有病率（40歳以上の被保険者に占める割合）は、男女計では11.0%、男性3.1%、女性18.4%である。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

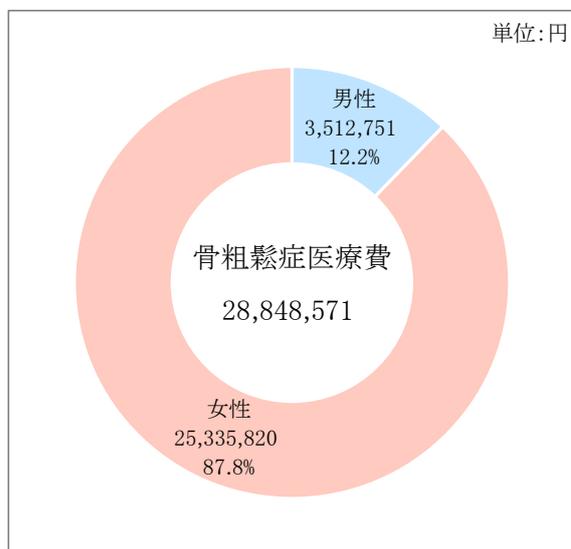
	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
合計	28,848,571		616	46,832	11.0%
男性	3,512,751	12.2%	83	42,322	3.1%
女性	25,335,820	87.8%	533	47,534	18.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



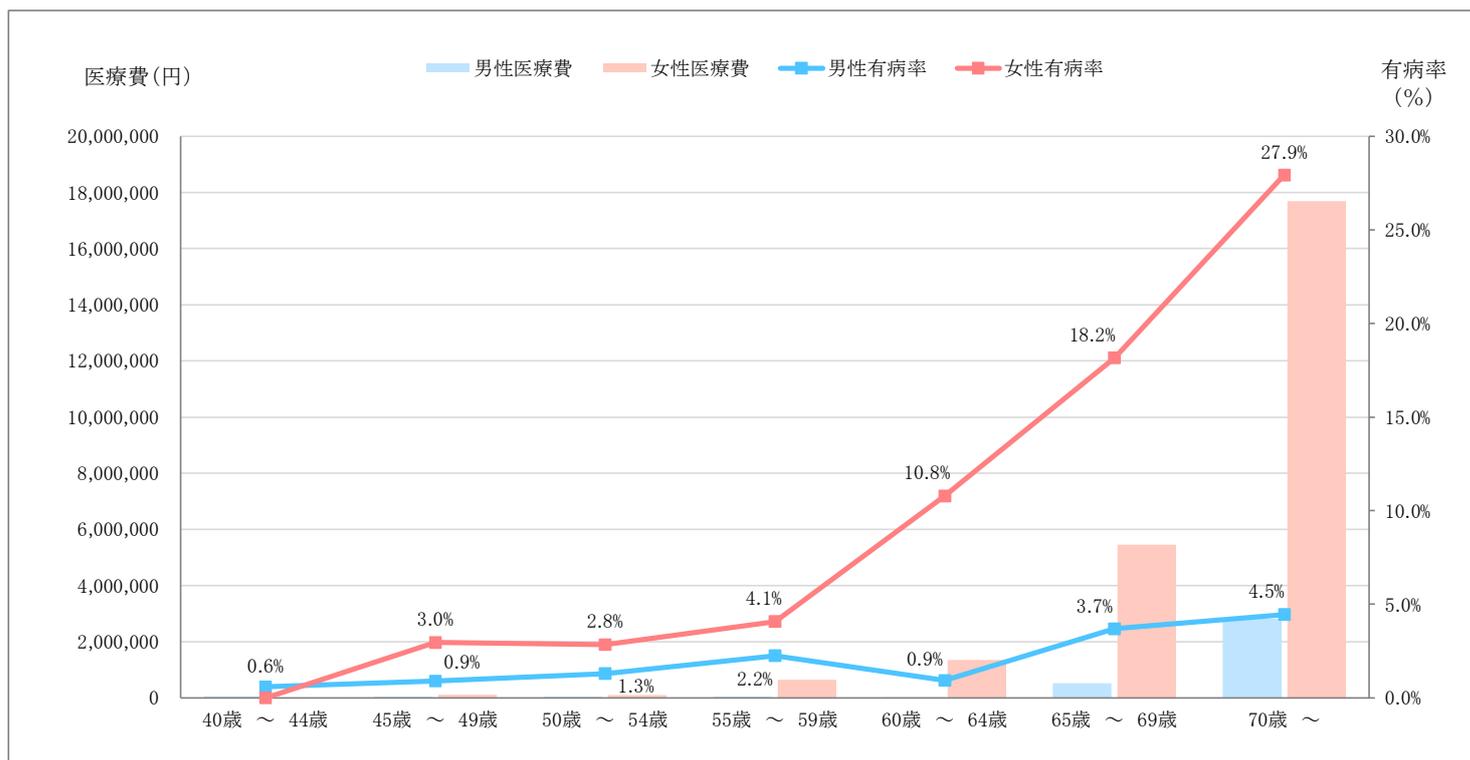
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高い。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われる。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認する。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は102人であり、患者全体の16.6%を占めている。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数(人)	構成比(%)
骨粗鬆症患者全体	616	
骨粗鬆症関連骨折あり	102	16.6%
骨粗鬆症関連骨折なし	514	83.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について以下に示す。医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たり医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」である。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
骨粗鬆症関連骨折	18,636,268		102	182,709
椎体骨折	7,784,435	41.8%	67	116,186
上腕骨近位部骨折	709,026	3.8%	4	177,257
骨盤骨折	687,216	3.7%	7	98,174
肋骨骨折	88,117	0.5%	10	8,812
橈骨遠位端骨折	1,201,754	6.4%	9	133,528
大腿骨近位部骨折	8,000,833	42.9%	11	727,348
下腿骨骨折	164,887	0.9%	9	18,321
脆弱性骨折	0	0.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることである。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要であるが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっている。ここでは令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析した。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では7.1%、男性10.9%、女性6.7%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当している。

骨粗鬆症患者の治療状況

	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)	治療薬服用中患者数(人)			治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)
			継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)	
合計	616	464	431	33	7.1%
男性	83	46	41	5	10.9%
女性	533	418	390	28	6.7%

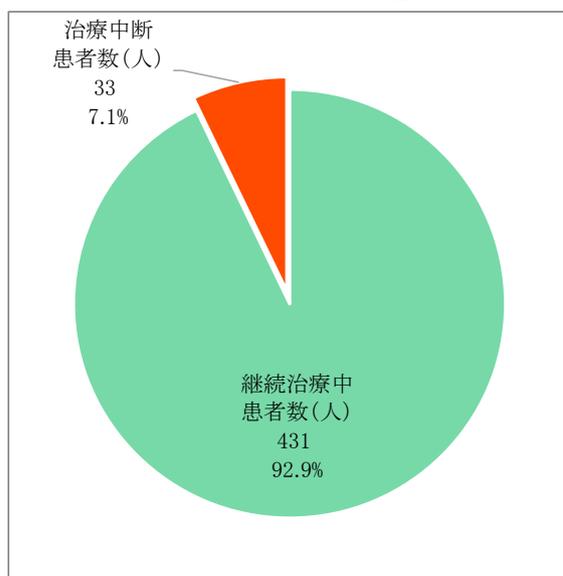
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

その他(参考資料)

大分類要素別集計

大分類による疾病別医療費統計(入院のみ)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,247,361	2.4%	10	110	14	80	12	215,592	13
II. 新生物<腫瘍>	148,696,045	21.1%	1	324	6	172	5	864,512	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,539,303	1.5%	14	116	13	79	13	133,409	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,035,498	2.3%	11	338	5	191	4	83,955	19
V. 精神及び行動の障害	72,178,217	10.2%	3	279	7	66	14	1,093,609	1
VI. 神経系の疾患	46,604,033	6.6%	6	374	4	127	10	366,961	8
VII. 眼及び付属器の疾患	12,311,415	1.7%	13	52	16	37	16	332,741	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	852,775	0.1%	21	14	19	9	19	94,753	18
IX. 循環器系の疾患	115,752,482	16.4%	2	397	3	213	3	543,439	4
X. 呼吸器系の疾患	38,519,649	5.5%	8	251	9	136	8	283,233	10
X I. 消化器系の疾患 ※	43,389,615	6.1%	7	440	2	262	2	165,609	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,711,762	0.2%	19	82	15	49	15	34,934	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	58,275,562	8.3%	5	245	10	141	6	413,302	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,262,944	3.4%	9	150	12	86	11	282,127	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,255,739	0.5%	17	9	20	7	20	465,106	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,292,030	0.3%	18	5	21	4	21	573,008	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,107,186	0.2%	20	16	18	11	18	100,653	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,011,386	2.3%	12	258	8	139	7	115,190	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	61,747,514	8.7%	4	222	11	128	9	482,402	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,028,776	0.7%	16	39	17	21	17	239,466	12
X X II. 特殊目的用コード	10,281,706	1.5%	15	503	1	347	1	29,630	21
分類外	1,422	0.0%	22	1	22	1	22	1,422	22
合計	706,102,420			1,194		520		1,357,889	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(入院外のみ)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	28,451,930	2.1%	12	5,943	13	1,542	10	18,451	15
II. 新生物<腫瘍>	215,697,821	16.2%	1	6,508	12	1,616	9	133,476	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,052,882	1.3%	15	3,150	15	767	16	22,233	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	187,697,372	14.1%	2	35,752	2	3,112	1	60,314	6
V. 精神及び行動の障害	58,312,986	4.4%	10	9,454	9	788	15	74,001	4
VI. 神経系の疾患	62,767,754	4.7%	9	14,999	5	1,372	11	45,749	9
VII. 眼及び付属器の疾患	66,057,349	5.0%	8	9,670	8	2,096	6	31,516	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,401,701	0.4%	17	1,622	18	464	17	11,642	20
IX. 循環器系の疾患	165,982,002	12.5%	3	38,520	1	3,014	2	55,070	7
X. 呼吸器系の疾患	82,143,814	6.2%	7	14,885	6	2,641	4	31,103	12
X I. 消化器系の疾患 ※	92,886,247	7.0%	6	24,361	3	2,673	3	34,750	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	35,354,023	2.7%	11	10,228	7	1,967	7	17,974	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	115,686,396	8.7%	5	20,502	4	2,485	5	46,554	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	130,260,193	9.8%	4	8,045	11	1,372	11	94,942	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	227,692	0.0%	22	46	21	22	20	10,350	22
X VI. 周産期に発生した病態 ※	359,084	0.0%	21	10	22	4	22	89,771	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,909,656	0.1%	19	310	19	72	19	26,523	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,631,057	1.7%	13	9,283	10	1,820	8	12,435	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16,142,088	1.2%	16	3,507	14	1,064	14	15,171	18
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,976,012	0.3%	18	2,127	17	376	18	10,575	21
X X II. 特殊目的用コード	18,942,324	1.4%	14	2,435	16	1,159	13	16,344	17
分類外	1,294,787	0.1%	20	58	20	19	21	68,147	5
合計	1,329,235,170			94,946		5,695		233,404	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(男性のみ)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	27,529,895	2.5%	12	2,868	13	742	10	37,102	15
II. 新生物<腫瘍>	201,828,427	18.4%	1	3,421	12	761	9	265,215	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,163,194	1.5%	15	1,634	14	385	15	41,982	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	107,411,205	9.8%	4	17,287	2	1,478	1	72,673	8
V. 精神及び行動の障害	72,067,010	6.6%	6	4,517	7	358	16	201,304	2
VI. 神経系の疾患	61,335,178	5.6%	8	7,359	5	633	12	96,896	6
VII. 眼及び付属器の疾患	35,705,182	3.3%	11	3,663	11	816	8	43,756	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,453,847	0.2%	18	586	18	186	17	13,193	20
IX. 循環器系の疾患	152,813,437	14.0%	2	19,445	1	1,453	2	105,171	5
X. 呼吸器系の疾患	63,052,526	5.8%	7	7,053	6	1,241	4	50,808	12
X I. 消化器系の疾患 ※	84,332,136	7.7%	5	12,643	3	1,295	3	65,121	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,256,014	1.7%	14	4,467	8	848	6	21,528	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	54,316,795	5.0%	9	7,718	4	1,005	5	54,047	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	110,245,415	10.1%	3	4,344	10	582	13	189,425	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	399,900	0.0%	20	5	21	3	21	133,300	4
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,837,091	0.2%	19	157	19	31	19	59,261	10
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,775,972	2.1%	13	4,369	9	836	7	27,244	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	40,601,292	3.7%	10	1,397	16	474	14	85,657	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,331,458	0.5%	17	1,060	17	176	18	30,292	16
X X II. 特殊目的用コード	15,786,426	1.4%	16	1,476	15	690	11	22,879	18
分類外	75,340	0.0%	21	32	20	16	20	4,709	21
合計	1,094,317,740			43,763		2,685		407,567	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(女性のみ)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,169,396	1.9%	13	3,185	13	838	10	21,682	17
II. 新生物<腫瘍>	162,565,439	17.3%	1	3,411	12	877	9	185,365	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,428,991	1.2%	16	1,632	15	409	16	27,944	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	96,321,665	10.2%	4	18,803	2	1,659	1	58,060	10
V. 精神及び行動の障害	58,424,193	6.2%	5	5,216	9	456	15	128,123	5
VI. 神経系の疾患	48,036,609	5.1%	8	8,014	6	773	12	62,143	8
VII. 眼及び付属器の疾患	42,663,582	4.5%	10	6,059	7	1,280	6	33,331	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,800,629	0.4%	17	1,050	18	283	17	13,430	22
IX. 循環器系の疾患	128,921,047	13.7%	2	19,472	1	1,582	2	81,492	6
X. 呼吸器系の疾患	57,610,937	6.1%	6	8,083	5	1,438	4	40,063	12
X I. 消化器系の疾患 ※	51,943,726	5.5%	7	12,158	4	1,426	5	36,426	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,809,771	2.0%	12	5,843	8	1,142	7	16,471	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	119,645,163	12.7%	3	13,029	3	1,504	3	79,551	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	44,277,722	4.7%	9	3,851	11	809	11	54,731	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,483,431	0.4%	19	55	20	24	20	145,143	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,251,214	0.2%	20	10	22	3	22	750,405	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,179,751	0.1%	22	169	19	43	19	27,436	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,866,471	1.7%	14	5,172	10	1,028	8	15,434	21
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	37,288,310	4.0%	11	2,332	14	642	14	58,081	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,673,330	0.4%	18	1,106	17	205	18	17,919	19
X X II. 特殊目的用コード	13,437,604	1.4%	15	1,462	16	680	13	19,761	18
分類外	1,220,869	0.1%	21	27	21	4	21	305,217	2
合計	941,019,850			52,377		3,032		310,363	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(0歳～4歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	433,301	2.7%	7	105	5	36	4	12,036	13
II. 新生物<腫瘍>	16,115	0.1%	17	5	14	3	13	5,372	18
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	355,210	2.2%	8	7	13	1	18	355,210	3
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	180,155	1.1%	11	5	14	4	11	45,039	5
V. 精神及び行動の障害	80,347	0.5%	13	12	12	4	11	20,087	9
VI. 神経系の疾患	15,771	0.1%	18	3	17	2	16	7,886	15
VII. 眼及び付属器の疾患	327,011	2.1%	9	56	6	26	6	12,577	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	153,192	1.0%	12	53	7	19	8	8,063	14
IX. 循環器系の疾患	0	0.0%		0		0		0	
X. 呼吸器系の疾患	5,739,016	36.1%	1	752	1	82	1	69,988	4
X I. 消化器系の疾患 ※	76,749	0.5%	14	38	8	13	9	5,904	17
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,449,066	15.4%	3	436	2	63	2	38,874	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	60,617	0.4%	15	3	17	2	16	30,309	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	36,870	0.2%	16	5	14	3	13	12,290	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,642,924	16.6%	2	14	10	5	10	528,585	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,388,539	8.7%	4	13	11	3	13	462,846	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,174,234	7.4%	5	127	3	31	5	37,879	7
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	180,269	1.1%	10	35	9	24	7	7,511	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	584,834	3.7%	6	121	4	42	3	13,925	10
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	15,894,220			1,134		97		163,858	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(5歳～9歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	538,255	7.0%	5	109	5	41	5	13,128	4
II. 新生物<腫瘍>	13,717	0.2%	14	3	16	3	13	4,572	16
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,885	0.2%	15	8	13	3	13	4,295	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	34,904	0.5%	12	8	13	3	13	11,635	7
V. 精神及び行動の障害	194,770	2.5%	8	23	10	6	11	32,462	2
VI. 神経系の疾患	9,000	0.1%	17	1	18	1	18	9,000	9
VII. 眼及び付属器の疾患	832,707	10.9%	2	151	3	53	2	15,711	3
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	185,183	2.4%	9	61	8	23	8	8,051	11
IX. 循環器系の疾患	12,490	0.2%	16	3	16	2	16	6,245	14
X. 呼吸器系の疾患	3,902,924	51.0%	1	682	1	103	1	37,892	1
X I. 消化器系の疾患 ※	197,353	2.6%	7	68	7	24	7	8,223	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	653,655	8.5%	3	212	2	53	2	12,333	5
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	62,369	0.8%	11	15	11	10	10	6,237	15
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,398	0.1%	18	4	15	2	16	2,199	18
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	27,770	0.4%	13	9	12	4	12	6,943	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	181,498	2.4%	10	76	6	27	6	6,722	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	220,833	2.9%	6	44	9	22	9	10,038	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	562,609	7.4%	4	149	4	47	4	11,970	6
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	7,647,320			1,012		106		72,145	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(10歳～14歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	440,779	3.4%	9	120	6	36	5	12,244	12
II. 新生物<腫瘍>	630,583	4.9%	6	15	18	8	14	78,823	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	36,585	0.3%	18	18	17	7	18	5,226	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	176,932	1.4%	13	31	12	8	14	22,117	8
V. 精神及び行動の障害	729,768	5.7%	4	94	8	11	11	66,343	3
VI. 神経系の疾患	204,242	1.6%	12	55	9	8	14	25,530	7
VII. 眼及び付属器の疾患	622,665	4.9%	7	177	3	59	2	10,554	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	85,461	0.7%	17	31	12	19	8	4,498	18
IX. 循環器系の疾患	99,847	0.8%	16	24	16	11	11	9,077	14
X. 呼吸器系の疾患	2,590,794	20.3%	2	487	1	91	1	28,470	6
X I. 消化器系の疾患 ※	135,239	1.1%	15	49	10	18	9	7,513	16
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,125,587	8.8%	3	327	2	58	3	19,407	9
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	498,147	3.9%	8	34	11	14	10	35,582	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	147,205	1.2%	14	26	15	9	13	16,356	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	328,027	2.6%	10	30	14	8	14	41,003	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	283,367	2.2%	11	141	4	35	7	8,096	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,013,326	31.4%	1	119	7	36	5	111,481	1
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	242	0.0%	19	2	19	1	19	242	19
X X II. 特殊目的用コード	635,254	5.0%	5	122	5	50	4	12,705	11
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	12,784,050			1,115		113		113,133	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(15歳～19歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	338,779	3.8%	8	82	8	36	5	9,411	10
II. 新生物<腫瘍>	24,689	0.3%	18	4	18	4	16	6,172	17
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	58,658	0.7%	15	21	15	10	12	5,866	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	113,489	1.3%	13	22	14	18	9	6,305	16
V. 精神及び行動の障害	503,139	5.6%	6	100	6	9	13	55,904	2
VI. 神経系の疾患	1,923,430	21.6%	2	105	5	9	13	213,714	1
VII. 眼及び付属器の疾患	339,344	3.8%	7	109	4	40	4	8,484	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	28,505	0.3%	17	8	17	4	16	7,126	15
IX. 循環器系の疾患	101,911	1.1%	14	31	12	7	15	14,559	7
X. 呼吸器系の疾患	2,258,353	25.4%	1	249	1	80	1	28,229	4
X I. 消化器系の疾患 ※	220,715	2.5%	11	70	9	28	6	7,883	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	865,733	9.7%	3	193	2	50	2	17,315	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	118,263	1.3%	12	25	13	15	10	7,884	13
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	267,761	3.0%	9	47	11	15	10	17,851	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,860	0.1%	19	1	20	1	19	4,860	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	46,410	0.5%	16	10	16	4	16	11,603	9
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,798	2.6%	10	112	3	27	7	8,622	11
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	838,990	9.4%	4	60	10	27	7	31,074	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,260	0.0%	20	2	19	1	19	1,260	20
X X II. 特殊目的用コード	621,243	7.0%	5	99	7	49	3	12,678	8
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	8,908,330			740		119		74,860	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(20歳～24歳)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	490,261	2.9%	10	91	10	44	6	11,142	12
II. 新生物<腫瘍>	149,442	0.9%	15	26	15	15	14	9,963	15
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	39,794	0.2%	18	22	16	16	11	2,487	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,098,667	12.2%	2	108	6	29	8	72,368	2
V. 精神及び行動の障害	659,969	3.8%	8	95	9	13	15	50,767	4
VI. 神経系の疾患	6,341,771	37.0%	1	116	5	16	11	396,361	1
VII. 眼及び付属器の疾患	346,471	2.0%	12	100	8	34	7	10,190	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	44,457	0.3%	17	16	17	9	17	4,940	17
IX. 循環器系の疾患	155,374	0.9%	14	51	14	12	16	12,948	9
X. 呼吸器系の疾患	1,276,083	7.4%	5	272	1	80	1	15,951	7
X I. 消化器系の疾患 ※	667,737	3.9%	7	182	3	46	5	14,516	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,319,521	7.7%	4	214	2	57	2	23,149	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	584,626	3.4%	9	78	11	16	11	36,539	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	317,296	1.9%	13	64	12	28	9	11,332	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	53,099	0.3%	16	13	18	5	18	10,620	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	419,663	2.4%	11	145	4	48	4	8,743	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,515,756	8.8%	3	58	13	23	10	65,902	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	670,213	3.9%	6	107	7	54	3	12,411	10
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	17,150,200			943		138		124,277	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(25歳～29歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	870,937	4.3%	9	108	9	36	5	24,193	10
II. 新生物<腫瘍>	90,008	0.4%	17	22	17	14	14	6,429	19
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	56,334	0.3%	19	45	14	13	16	4,333	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,465,206	12.3%	2	141	6	27	10	91,304	3
V. 精神及び行動の障害	1,204,711	6.0%	5	210	1	23	11	52,379	5
VI. 神経系の疾患	640,576	3.2%	11	183	4	20	13	32,029	8
VII. 眼及び付属器の疾患	477,244	2.4%	13	69	12	29	8	16,457	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	104,806	0.5%	15	31	16	14	14	7,486	17
IX. 循環器系の疾患	71,608	0.4%	18	40	15	11	17	6,510	18
X. 呼吸器系の疾患	904,532	4.5%	7	194	3	72	1	12,563	14
X I. 消化器系の疾患 ※	2,097,665	10.5%	4	200	2	41	4	51,163	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	883,185	4.4%	8	181	5	52	2	16,984	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,111,294	5.5%	6	87	10	28	9	39,689	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,037,369	25.1%	1	110	8	32	6	157,418	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	663,881	3.3%	10	15	18	5	18	132,776	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	91,200	0.5%	16	11	19	3	19	30,400	9
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,439,012	12.2%	3	130	7	30	7	81,300	4
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	219,726	1.1%	14	54	13	22	12	9,988	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	32,513	0.2%	20	9	20	3	19	10,838	15
X X II. 特殊目的用コード	576,383	2.9%	12	77	11	45	3	12,809	13
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	20,038,190			927		147		136,314	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(30歳～34歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	434,585	1.4%	14	100	10	38	6	11,436	15
II. 新生物<腫瘍>	203,054	0.7%	17	38	16	16	14	12,691	14
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	86,162	0.3%	18	71	13	12	15	7,180	21
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,447,644	4.7%	9	192	5	38	6	38,096	10
V. 精神及び行動の障害	2,400,666	7.8%	5	229	4	25	12	96,027	6
VI. 神経系の疾患	2,035,202	6.6%	6	276	2	30	9	67,840	7
VII. 眼及び付属器の疾患	232,264	0.8%	16	82	12	30	9	7,742	20
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	73,117	0.2%	19	22	17	9	16	8,124	19
IX. 循環器系の疾患	532,581	1.7%	13	56	15	9	16	59,176	8
X. 呼吸器系の疾患	7,126,893	23.1%	1	259	3	74	1	96,309	5
X I. 消化器系の疾患 ※	1,926,121	6.2%	7	285	1	46	3	41,872	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	896,319	2.9%	11	185	6	44	4	20,371	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,159,997	3.8%	10	128	7	40	5	29,000	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	3,710,019	12.0%	2	112	9	34	8	109,118	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,689,710	5.5%	8	8	20	3	18	563,237	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,190	0.0%	21	1	21	1	21	8,190	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	17,062	0.1%	20	11	19	2	19	8,531	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	243,164	0.8%	15	119	8	29	11	8,385	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,078,421	10.0%	3	70	14	20	13	153,921	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,910,843	9.4%	4	22	17	2	19	1,455,422	1
X X II. 特殊目的用コード	688,706	2.2%	12	93	11	48	2	14,348	13
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	30,900,720			1,065		134		230,602	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(35歳～39歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	506,467	2.0%	14	132	10	43	5	11,778	17
II. 新生物<腫瘍>	6,037,520	23.3%	1	90	14	32	13	188,673	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	370,746	1.4%	16	90	14	22	16	16,852	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,887,860	7.3%	5	277	5	43	5	43,904	6
V. 精神及び行動の障害	2,556,274	9.9%	2	352	3	26	15	98,318	3
VI. 神経系の疾患	2,171,306	8.4%	3	362	2	35	11	62,037	5
VII. 眼及び付属器の疾患	1,364,293	5.3%	7	131	11	40	8	34,107	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	158,077	0.6%	19	46	17	14	17	11,291	18
IX. 循環器系の疾患	864,030	3.3%	11	166	9	33	12	26,183	11
X. 呼吸器系の疾患	1,739,643	6.7%	6	347	4	85	1	20,466	13
X I. 消化器系の疾患 ※	2,126,588	8.2%	4	393	1	63	2	33,755	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,262,911	4.9%	8	262	6	49	4	25,774	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,020,294	3.9%	10	213	7	37	10	27,576	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,214,123	4.7%	9	130	12	39	9	31,131	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	425,010	1.6%	15	9	19	5	18	85,002	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	26,060	0.1%	20	12	18	4	19	6,515	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	798,842	3.1%	12	194	8	53	3	15,072	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	313,522	1.2%	17	64	16	30	14	10,451	19
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,497	0.0%	21	2	21	2	20	1,249	21
X X II. 特殊目的用コード	757,740	2.9%	13	99	13	43	5	17,622	14
分類外	293,697	1.1%	18	4	20	1	21	293,697	1
合計	25,897,500			1,585		159		162,877	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(40歳～44歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	614,622	1.2%	14	146	12	47	7	13,077	15
II. 新生物<腫瘍>	5,930,975	11.3%	4	118	13	37	14	160,297	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	136,308	0.3%	18	95	14	26	15	5,243	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,831,424	5.4%	7	447	5	59	5	47,990	8
V. 精神及び行動の障害	9,307,342	17.8%	2	674	1	43	12	216,450	4
VI. 神経系の疾患	2,049,384	3.9%	8	532	3	45	8	45,542	9
VII. 眼及び付属器の疾患	931,679	1.8%	11	200	11	58	6	16,063	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	87,952	0.2%	19	44	17	14	17	6,282	18
IX. 循環器系の疾患	5,681,254	10.9%	5	324	7	39	13	145,673	6
X. 呼吸器系の疾患	3,046,819	5.8%	6	474	4	93	1	32,761	10
X I. 消化器系の疾患 ※	5,992,059	11.5%	3	555	2	72	2	83,223	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,090,691	2.1%	10	368	6	60	4	18,178	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,810,141	3.5%	9	321	8	65	3	27,848	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	9,982,993	19.1%	1	226	10	44	11	226,886	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	616,300	1.2%	13	1	20	1	20	616,300	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	756	0.0%	21	1	20	1	20	756	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	358,558	0.7%	16	249	9	45	8	7,968	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	263,465	0.5%	17	61	16	25	16	10,539	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12,782	0.0%	20	10	19	5	18	2,556	20
X X II. 特殊目的用コード	598,283	1.1%	15	82	15	45	8	13,295	14
分類外	924,283	1.8%	12	15	18	2	19	462,142	2
合計	52,268,070			2,216		189		276,551	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(45歳～49歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,059,073	3.6%	9	259	12	72	11	42,487	8
II. 新生物<腫瘍>	8,948,758	10.6%	4	296	11	68	12	131,599	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	277,472	0.3%	15	174	14	42	15	6,606	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,890,249	7.0%	5	815	5	104	3	56,637	6
V. 精神及び行動の障害	20,375,911	24.1%	1	1,073	2	74	10	275,350	1
VI. 神経系の疾患	9,543,630	11.3%	3	1,142	1	84	6	113,615	4
VII. 眼及び付属器の疾患	1,542,533	1.8%	13	238	13	68	12	22,684	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	159,489	0.2%	17	36	17	14	17	11,392	16
IX. 循環器系の疾患	4,496,245	5.3%	7	878	4	83	7	54,172	7
X. 呼吸器系の疾患	13,145,794	15.6%	2	651	6	111	1	118,431	3
X I. 消化器系の疾患 ※	4,439,790	5.3%	8	991	3	110	2	40,362	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,970,850	2.3%	11	513	8	91	4	21,658	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,653,578	3.1%	10	640	7	91	4	29,160	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,698,170	5.6%	6	414	9	75	9	62,642	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	25,653	0.0%	20	5	20	1	20	25,653	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	33,053	0.0%	19	14	19	5	19	6,611	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,692,583	2.0%	12	353	10	77	8	21,982	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	193,232	0.2%	16	69	16	30	16	6,441	20
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	43,728	0.1%	18	29	18	6	18	7,288	17
X X II. 特殊目的用コード	1,272,199	1.5%	14	141	15	68	12	18,709	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	84,461,990			3,545		257		328,646	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(50歳～54歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,535,567	3.2%	9	282	12	80	10	44,195	11
II. 新生物<腫瘍>	4,287,892	3.9%	8	240	13	78	11	54,973	9
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	647,093	0.6%	17	136	16	40	16	16,177	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,645,284	9.6%	5	1,322	1	136	2	78,274	6
V. 精神及び行動の障害	18,584,897	16.8%	2	962	5	67	14	277,387	1
VI. 神経系の疾患	5,083,755	4.6%	7	996	4	87	8	58,434	8
VII. 眼及び付属器の疾患	2,835,520	2.6%	11	308	11	91	7	31,160	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	236,417	0.2%	18	79	17	23	17	10,279	18
IX. 循環器系の疾患	14,855,708	13.4%	3	1,133	3	121	4	122,774	3
X. 呼吸器系の疾患	2,552,557	2.3%	12	619	7	133	3	19,192	15
X I. 消化器系の疾患 ※	11,919,534	10.8%	4	1,298	2	141	1	84,536	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,520,044	2.3%	13	441	9	87	8	28,966	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,393,662	4.9%	6	664	6	107	5	50,408	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	20,381,808	18.4%	1	511	8	76	12	268,182	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	22,159	0.0%	19	8	19	4	19	5,540	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,930,997	1.7%	14	416	10	98	6	19,704	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,153,218	2.8%	10	146	15	43	15	73,331	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	878,737	0.8%	16	65	18	10	18	87,874	4
X X II. 特殊目的用コード	1,287,067	1.2%	15	152	14	72	13	17,876	16
分類外	3,014	0.0%	20	2	20	1	20	3,014	20
合計	110,754,930			4,153		294		376,717	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(55歳～59歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,034,483	1.1%	15	259	13	67	11	15,440	17
II. 新生物<腫瘍>	12,732,799	13.3%	3	264	12	72	10	176,844	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	401,855	0.4%	17	109	16	30	16	13,395	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,602,962	11.0%	4	1,558	1	144	1	73,632	6
V. 精神及び行動の障害	14,493,373	15.1%	1	809	6	54	14	268,396	1
VI. 神経系の疾患	9,206,694	9.6%	5	1,190	4	90	7	102,297	4
VII. 眼及び付属器の疾患	2,031,786	2.1%	12	331	10	77	9	26,387	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	217,402	0.2%	18	66	18	18	17	12,078	19
IX. 循環器系の疾患	6,364,931	6.6%	6	1,379	2	126	2	50,515	7
X. 呼吸器系の疾患	4,403,296	4.6%	9	614	7	121	4	36,391	11
X I. 消化器系の疾患 ※	5,811,961	6.0%	7	1,257	3	122	3	47,639	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,417,740	2.5%	11	438	9	91	6	26,569	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,506,989	5.7%	8	814	5	118	5	46,669	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	13,830,384	14.4%	2	308	11	64	12	216,100	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,920	0.0%	21	1	21	1	21	2,920	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	63,951	0.1%	19	32	19	3	19	21,317	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,357,923	1.4%	13	512	8	81	8	16,764	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,821,523	4.0%	10	174	14	49	15	77,990	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	465,419	0.5%	16	96	17	11	18	42,311	10
X X II. 特殊目的用コード	1,296,364	1.3%	14	120	15	57	13	22,743	14
分類外	4,565	0.0%	20	10	20	2	20	2,283	21
合計	96,069,320			4,063		261		368,082	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(60歳～64歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,231,622	2.2%	11	471	12	105	11	40,301	13
II. 新生物<腫瘍>	23,438,006	12.1%	3	463	13	113	10	207,416	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,076,044	2.1%	12	264	14	58	15	70,277	7
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,271,218	8.9%	5	2,896	1	261	1	66,173	8
V. 精神及び行動の障害	25,982,629	13.4%	2	755	8	58	15	447,976	1
VI. 神経系の疾患	14,850,590	7.7%	6	1,355	5	116	9	128,022	4
VII. 眼及び付属器の疾患	3,295,270	1.7%	13	622	11	140	6	23,538	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	402,271	0.2%	18	112	17	30	17	13,409	19
IX. 循環器系の疾患	14,245,594	7.4%	7	2,892	2	242	2	58,866	10
X. 呼吸器系の疾患	8,490,688	4.4%	9	988	6	182	5	46,652	11
X I. 消化器系の疾患 ※	13,095,036	6.8%	8	1,816	3	214	3	61,192	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,269,331	1.2%	15	692	9	135	8	16,810	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,973,503	9.3%	4	1,390	4	196	4	91,702	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	30,065,941	15.6%	1	667	10	95	12	316,484	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,047	0.0%	21	1	20	1	20	1,047	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	72,672	0.0%	19	55	19	3	19	24,224	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,003,300	1.6%	14	781	7	136	7	22,083	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,656,159	4.0%	10	245	15	85	14	90,072	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	824,484	0.4%	17	112	17	19	18	43,394	12
X X II. 特殊目的用コード	2,034,701	1.1%	16	166	16	89	13	22,862	16
分類外	1,724	0.0%	20	1	20	1	20	1,724	20
合計	193,281,830			6,877		426		453,713	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(65歳～69歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,178,961	2.5%	12	1,156	13	262	10	38,851	13
II. 新生物<腫瘍>	95,025,425	23.5%	1	1,444	11	341	7	278,667	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,942,556	1.5%	15	533	15	142	15	41,849	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	42,630,959	10.5%	3	8,424	2	667	2	63,914	7
V. 精神及び行動の障害	11,424,204	2.8%	11	1,422	12	118	16	96,815	3
VI. 神経系の疾患	13,553,912	3.4%	10	2,852	6	246	12	55,097	8
VII. 眼及び付属器の疾患	14,073,182	3.5%	9	1,888	7	359	6	39,201	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,094,595	0.3%	17	302	18	79	17	13,856	18
IX. 循環器系の疾患	59,184,599	14.6%	2	9,080	1	671	1	88,204	4
X. 呼吸器系の疾患	20,725,055	5.1%	7	2,932	5	441	5	46,996	10
X I. 消化器系の疾患 ※	25,146,479	6.2%	5	4,958	3	517	3	48,639	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,584,672	1.4%	16	1,822	8	335	8	16,671	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	39,787,971	9.8%	4	4,459	4	492	4	80,870	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	19,287,546	4.8%	8	1,533	10	255	11	75,637	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	181,256	0.0%	19	21	19	9	19	20,140	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,918,024	1.7%	14	1,809	9	324	9	21,352	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	25,056,642	6.2%	6	786	14	211	14	118,752	2
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	833,813	0.2%	18	453	17	70	18	11,912	19
X X II. 特殊目的用コード	7,896,395	2.0%	13	475	16	222	13	35,569	14
分類外	6,234	0.0%	20	2	20	2	20	3,117	20
合計	404,532,480			19,775		1,005		402,520	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(70歳～)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,991,599	2.0%	12	2,633	13	637	10	29,814	14
II. 新生物<腫瘍>	206,864,883	21.7%	1	3,804	11	834	7	248,039	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,094,483	1.6%	14	1,673	15	372	15	40,577	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	105,455,917	11.0%	3	19,844	2	1,596	2	66,075	7
V. 精神及び行動の障害	21,993,203	2.3%	11	2,923	12	283	16	77,714	3
VI. 神経系の疾患	41,742,524	4.4%	9	6,205	5	617	12	67,654	6
VII. 眼及び付属器の疾患	49,116,795	5.1%	6	5,260	7	992	5	49,513	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,223,552	0.3%	17	729	18	180	18	17,909	17
IX. 循環器系の疾患	175,068,312	18.3%	2	22,860	1	1,668	1	104,957	2
X. 呼吸器系の疾患	42,761,016	4.5%	8	5,616	6	931	6	45,930	11
X I. 消化器系の疾患 ※	62,422,836	6.5%	5	12,641	3	1,266	4	49,307	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,756,480	1.2%	15	4,026	10	765	9	15,368	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	96,220,507	10.1%	4	11,876	4	1,278	3	75,290	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	45,541,254	4.8%	7	4,038	9	620	11	73,454	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	951	0.0%	21	1	21	1	21	951	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	717,927	0.1%	19	99	19	21	19	34,187	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,608,480	1.8%	13	4,377	8	823	8	21,395	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	27,364,520	2.9%	10	1,744	14	469	13	58,347	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,998,470	0.3%	18	1,364	16	251	17	11,946	19
X X II. 特殊目的用コード	9,742,039	1.0%	16	935	17	439	14	22,191	15
分類外	62,692	0.0%	20	25	20	11	20	5,699	20
合計	954,748,440			46,990		2,272		420,224	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

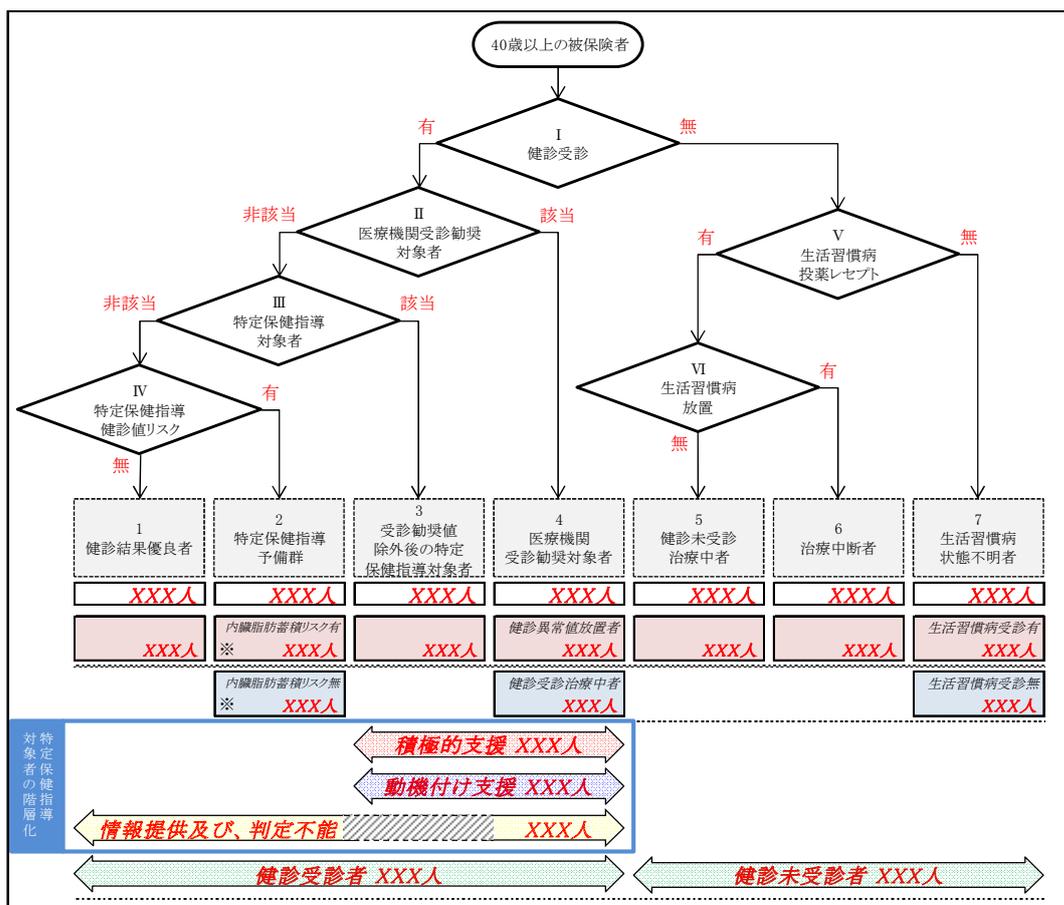
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	带状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膝癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		